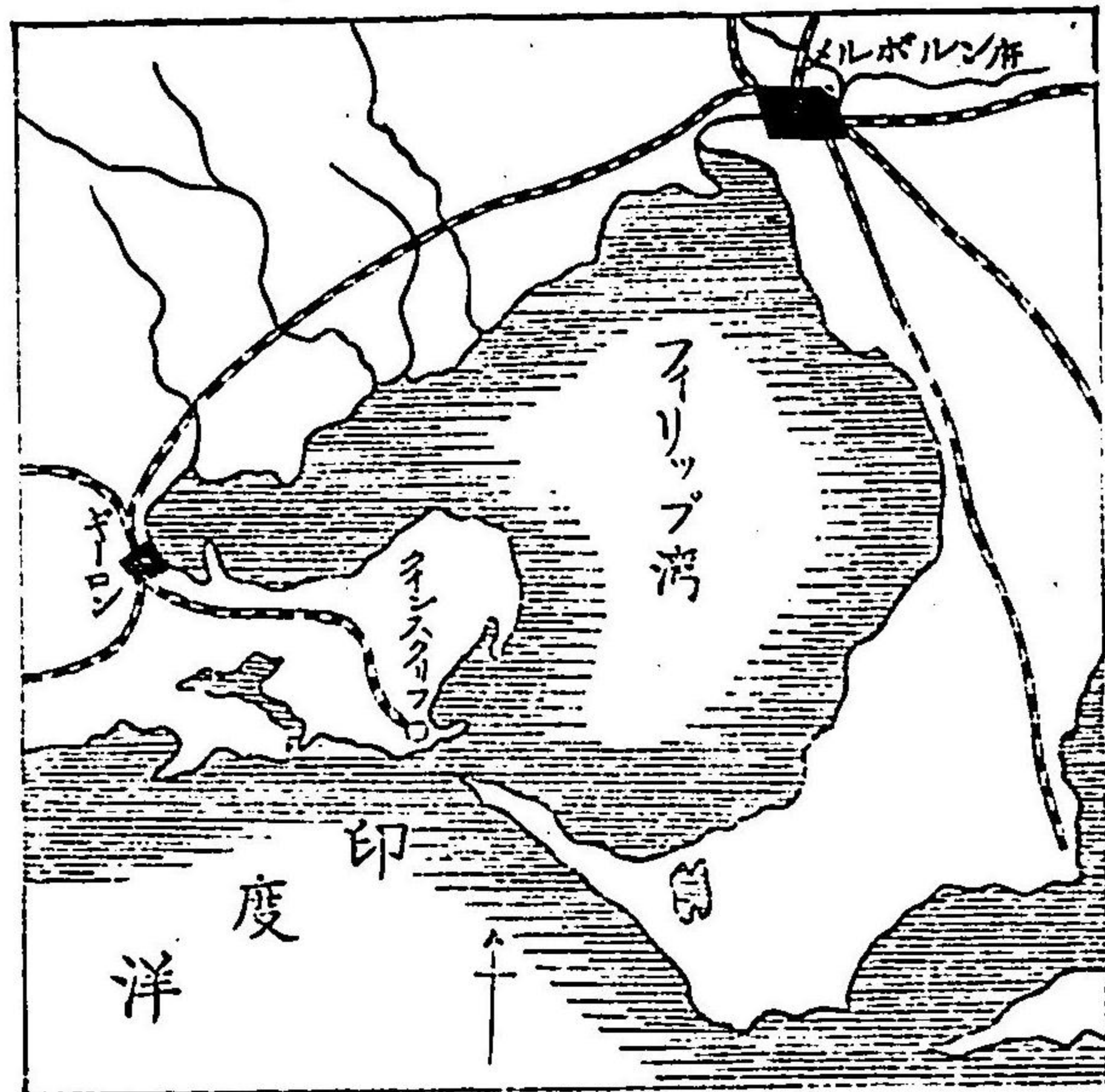


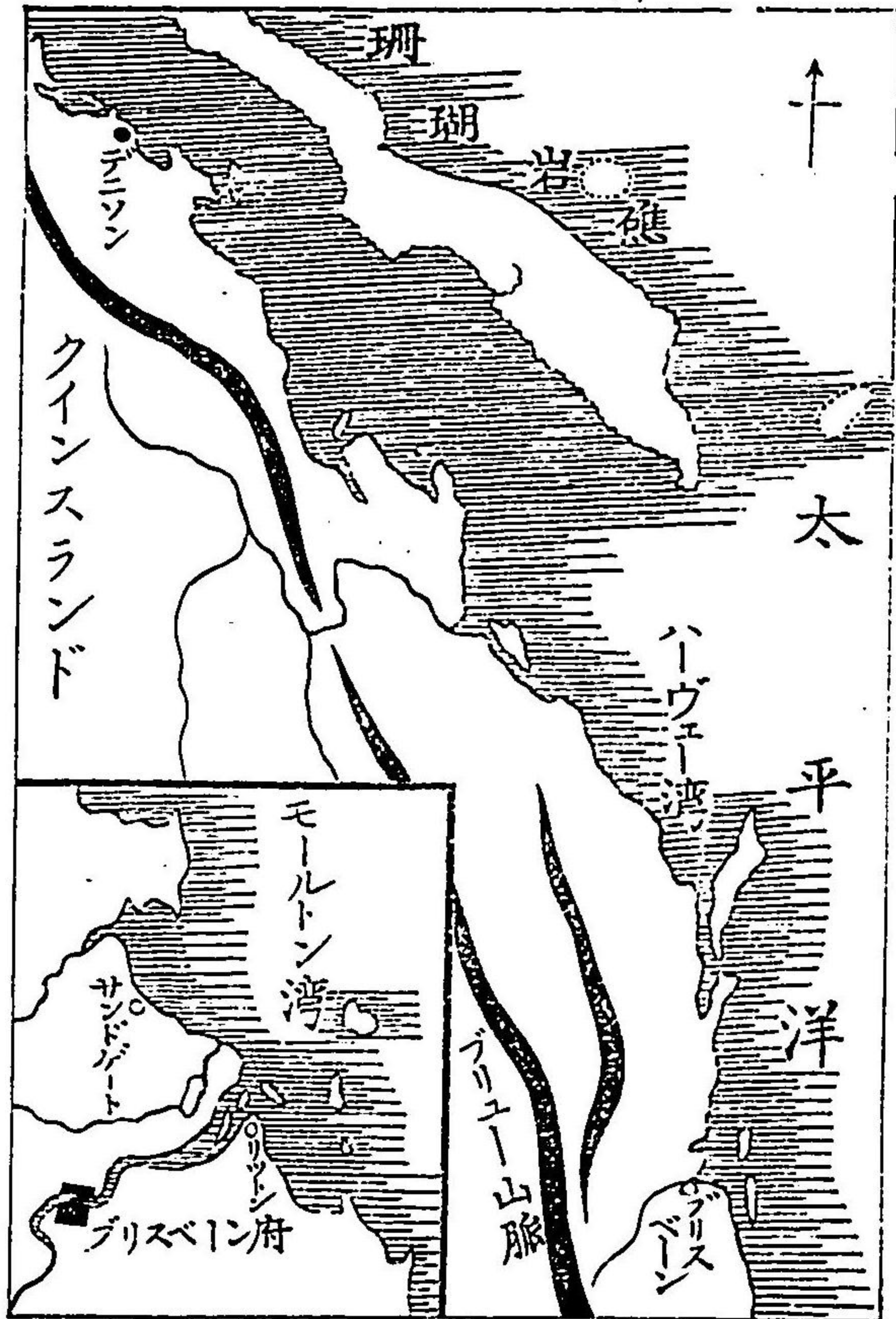
牧羊、採金、農業を主とし、英語を國語とし、宗教は新教最も盛んなり。○政治は英國の殖民地なるを以て、五部共に英國女王の勅任したる太守を以て、地方の政務を總理し、上下兩院を以て各部の立法議會を設く。



(圖之近附ンルボルメ)

首府メルボルンは人口四十四萬、商工業の盛んなること濠洲第一に位し、

グヰクトリアは大陸の東南隅の地方にして、北西部は不毛の地多きも、東南部は土肥ぬ、物産は羊毛を主とし、外に家畜、革皮、金、麥粉、砂糖等あり、



(圖之岸東ドンラスンイク)

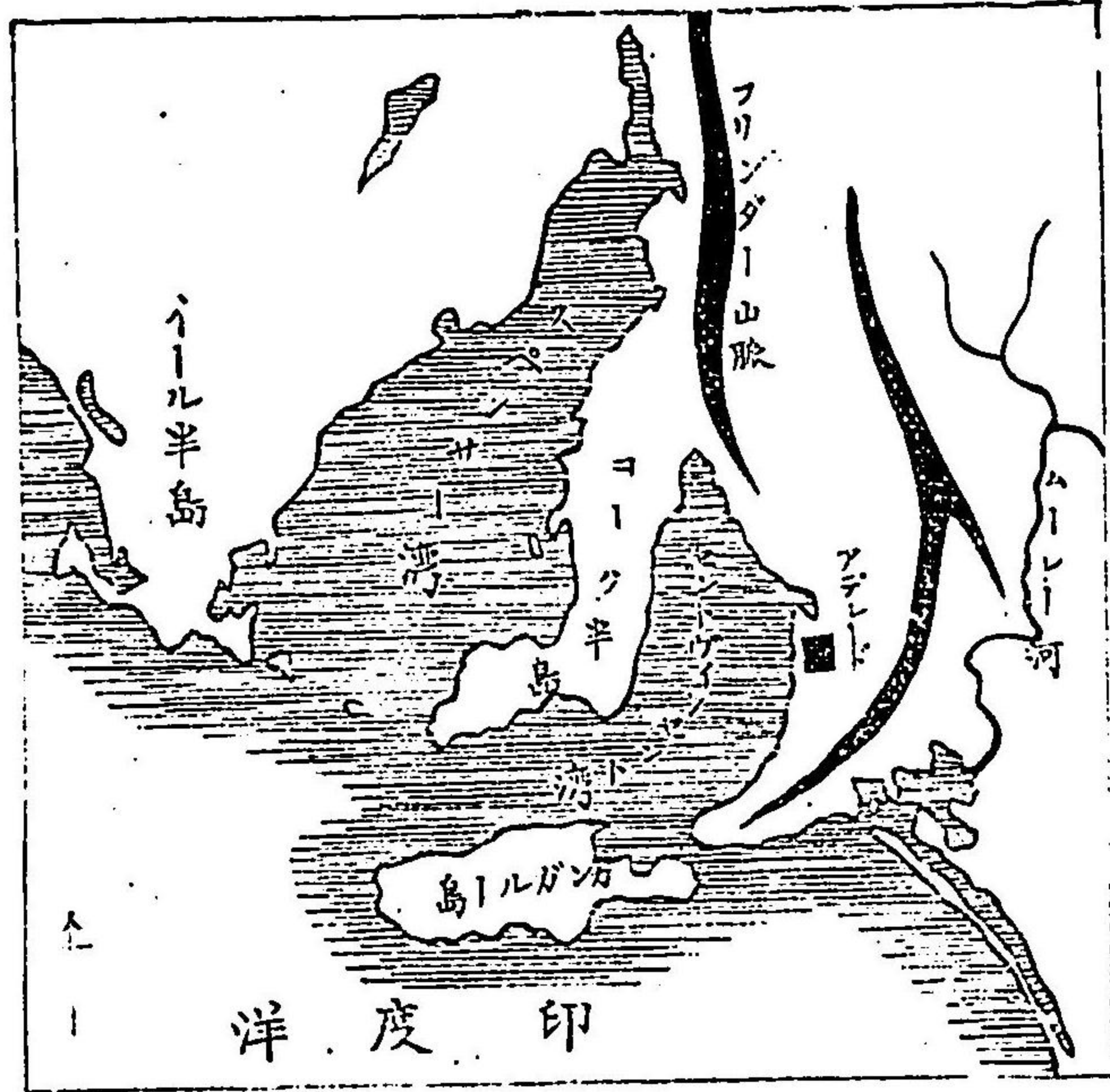
はメルボルンへ航行五百七十海里あり、外に、メートランド、ニューカッス

壯大なる大學校及び圖書館あり、横濱より航程五千八十海里、我が國は此所に名譽領事を置く、その他、サンドハースト、バルラット、ギーロン等の都會あり、

新南ウエールスは、グヰクトリアの北の地方にして、濠洲最舊の殖民地なるを以て、農業、牧養盛んに、産物は半ばを英國に輸出す、首府シドニー



川等は共に商工業盛んなり。



(圖之近附ドレデア)

深林廣く面積の二分の一を占むるも、牧養甚だ盛んに、羊毛は輸出の主要品たり、首府ブリスマベーンは人口五萬餘、タウンズヴィルは人口八千五百、共に金鑛、羊毛の輸出を以て著はる、木曜島サウスデーはヨーク岬の北端の小島なれども、近海は珊瑚、真珠の産あり、我

が國人の出稼する者六百人許あり、シドニーよりブリスマベーンへ航程五百十海里、ブリスマベーンよりタウンズヴィルへ五百六十海里、タウンズヴィルより木曜島へ六百五十海里あり。

南オーストラリアは濠洲の中央を南より北に貫ける地方にして、北部は元と北領ノーザンテリトリと稱し、南緯二十六度を限り境界せしが、今は、合して一となり、大部荒蕪の地多きも、處々に金田に富む所あり、南部は概ね地肥、人煙稠し、首府アデレードは、人口十三萬餘、東南岸に位し、銅、鐵、金、羊毛、小麦、葡萄酒等を英國に輸出す、メルボルンへ航程五百十海里あり。

西オーストラリアは大陸の西部、東經百二十九度以西の全部を稱し、多くは不毛の平野にして、東北部のキンバリー地方は五千方里の面積を有し、處々に金田あると、平原綠草の繁茂して、牧羊に適すると、真珠の採收あるとにより、近時、移民を増殖せり、首府パースは人口一萬五千餘、西南岸に位し、金、銀、銅、鉛、錫、石炭の諸鑛、及び羊毛、木材、革皮、真珠等を輸出し、酒類、鐵器等を輸入すると多し、外に、フレイマントルは人口一萬に充たざれども、商業



盛んなり。

(ロ) タスマニア島

タスマニア島はバックス海峡を距て、濠洲の東南に位し、面積一萬七千四百餘方里、人口六十二萬餘あり、内地は山岳多く、高き者五千尺以上に聳ゆるも、東部は平坦にして牧場に適す、此の地は氣候温かに、降雨多く、空氣常に清澄なるを以て、南半球中の健康所と稱す、島民の生業は濠洲と同じく、牧羊、農業、採金業最も盛んに、首府ホーバートは南岸に位し、人口僅かに三萬に足らざれども、羊毛、金、鐵、石炭、麥、材木、果實の輸出夥し。○本島は西曆千六百四十二年、利蘭のタスマン氏が發見せし所に係り、千八百四年に、英國の殖民地となり、英國

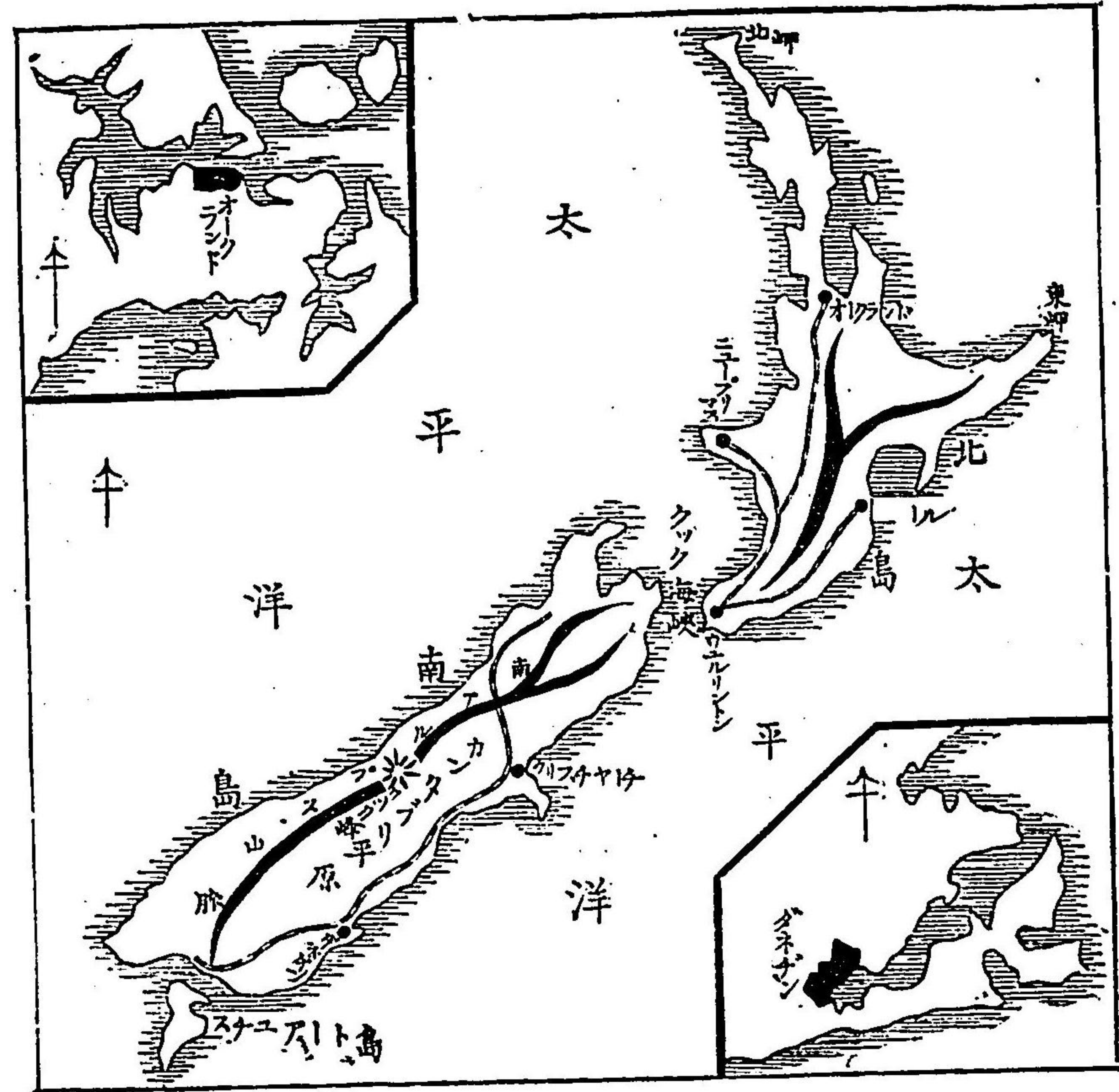
女王の勅任したる太守を以て政治を行ひ、上下兩院を以て立法議會を組織す。

(ハ) ニュージールランド島

ニュージールランド島は濠洲大陸の東南、千二百海里の洋中に横はる大島にして、クック海峡を以て、南島と北島とに分かれ、その南のスタチュアート島を合せ、面積一萬七千四百餘方里、人口六十三萬あり。

地形は東北より西南に、全長四百二十里に亘り、海岸線千二百五十里に達し、幅廣き處、八十里あり、内地は一般に山岳に富み、クック峯最も高く一萬二千三百五十尺に峙立ち、カンタブリーの平原は、南島の東部に、全土三分の二を領す、此の島は、位置、地勢より、氣候、風土に至るまで、一に我が國に酷類せるを以て又「南洋の小日本」の稱あり。





(圖 之 島 ド ン ラ ー ジ ー ニ)

住民は濠洲  
大陸と同じ  
く、牧羊、採金  
業、農業を主  
とし、森林は  
全島の半ば  
を占む。物産  
は羊毛を第  
一とし、金、銀、  
安質母尼滿  
俺、石炭等の

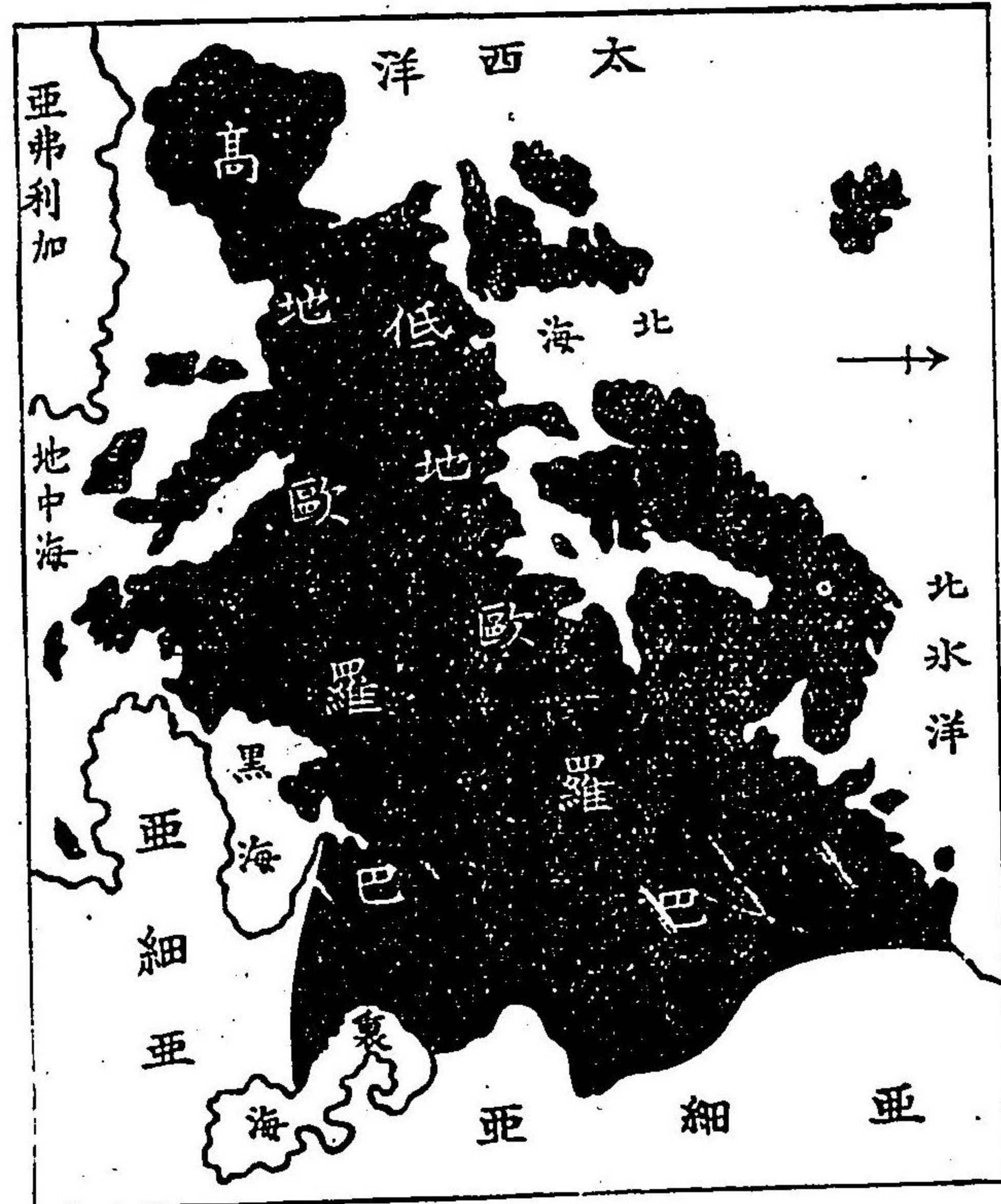
諸鑛、罐詰肉類、革皮、乾酪、材木、黃蠟、麥等、之れに亞ぐ。オークラ  
ンドは人口五萬、北島の北岸に位す、ウェリントンには人口  
三萬三千、全島の首府にして、北島の南岸、クック灣に臨み第  
一の海港たり、外に、ダ子ヂン、クリスチャーチ等は人口四萬  
以上を有せる海港なり。○本島はポリネシア群島より移住  
せし、マオリスと稱する土人の本領なりしが、今は、僅かに四  
萬を餘し、外に、濠洲土人あり、全部英國の殖民地にして、英人  
の子孫最も多く、本國派遣の太守政治を行ひ、上下兩院の立  
法議會を設く、

第四章 歐羅巴洲

北緯三十六度二十三分—七十一度六分長き所千餘里



西經九度二十八分—東經六十度五十分廣き所千四百餘里  
面積六十三萬二千九百方里人口三億五千七百八十六萬



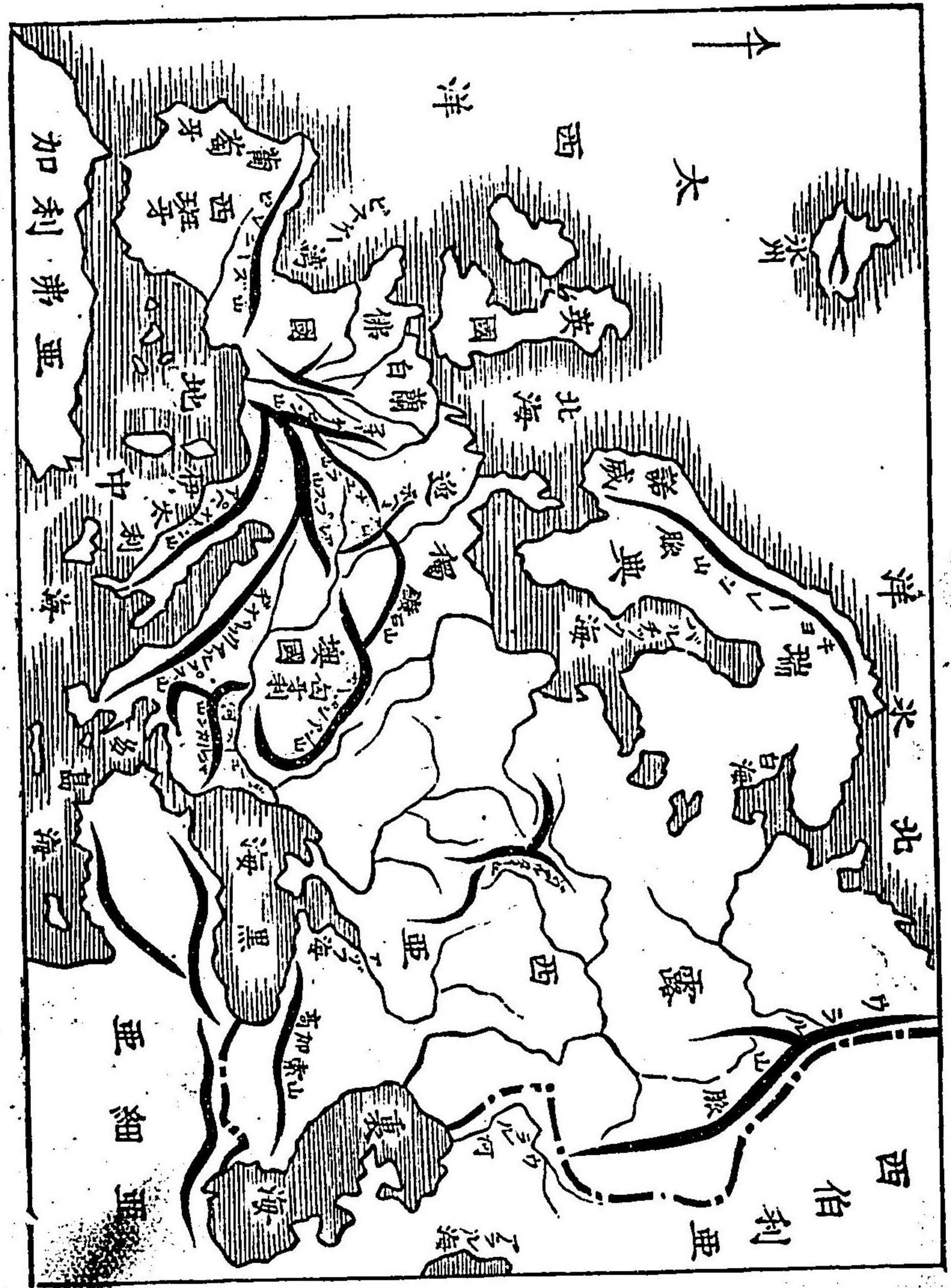
(圖 之 人 婦 裝 洋)

歐羅巴は我が國人が常に西洋と稱する本國にして、亞細亞の西部に附着し、形も恰も洋裝婦人も

が、南に面し亞細亞洲に立てる狀をなす、北は北氷洋に瀕し、東はウラル山脈、ウラル河及び裏海を以て亞細亞に界し、南は高加索山脈、黒海を以て亞細亞に、地中海を以て亞弗利加に對し、西部は一帶大西洋に面す、全部六十三萬餘方里の面積、三億五千餘萬の人口は、分かれて露西亞、瑞典、挪威、丁抹、獨逸、佛蘭西、白耳義、和蘭、英吉利、西班牙、葡萄牙、瑞西、伊太利、奧太利、匈牙利、土耳其、希臘、ルーマニア、ブリカリア、東ルーメリア、セルヴァ、ア、モンテネグロ等の諸國となれり。

歐亞大山脈は亞細亞よりボスフォラス海峽を渡り、バルカン山脈を起しブルガリア、東ルーメリアを限り、西に趨き、ダニエーブの鐵門を渡り、東に折れカーパシアン山脈と





(圖) 之 洲 巴 羅 歐 (歐)

なり、弓状に匈牙利を抱き、再びダニューブ河を越えアルプス山脈に續きて、本洲第一の高地となり、西に走せ又南に趨き、伊國、佛國の界を分かち、餘脈更に、佛國の南部に伏し、ピレネー山脈に連なりて、佛國、西國の間を劃れるが故に、地理學上全部を南北の二部に分かつを便とす。

南部歐羅巴は地勢大體に山地多く、殆ど三個の半島より成る、その最も東にあるはバルカン山脈、中央に聳ゆるが故に、取て以てバルカン半島と稱す、三半島の中央にあるは、全部アルプスの支脈なる、アペニン山脈より成れる高原にして、伊太利之れを領す、半島の最西はピレネー山脈の南に當る大半島にして、アイベリア山脈東部に亘れるが故に、アイベリア半島と稱し、西班牙、葡萄牙の二國之れを分領す。○北部歐羅巴は地勢一般に廣大なる平原より成り、東の露國に於て殊に低平を極む、されど、山岳處々

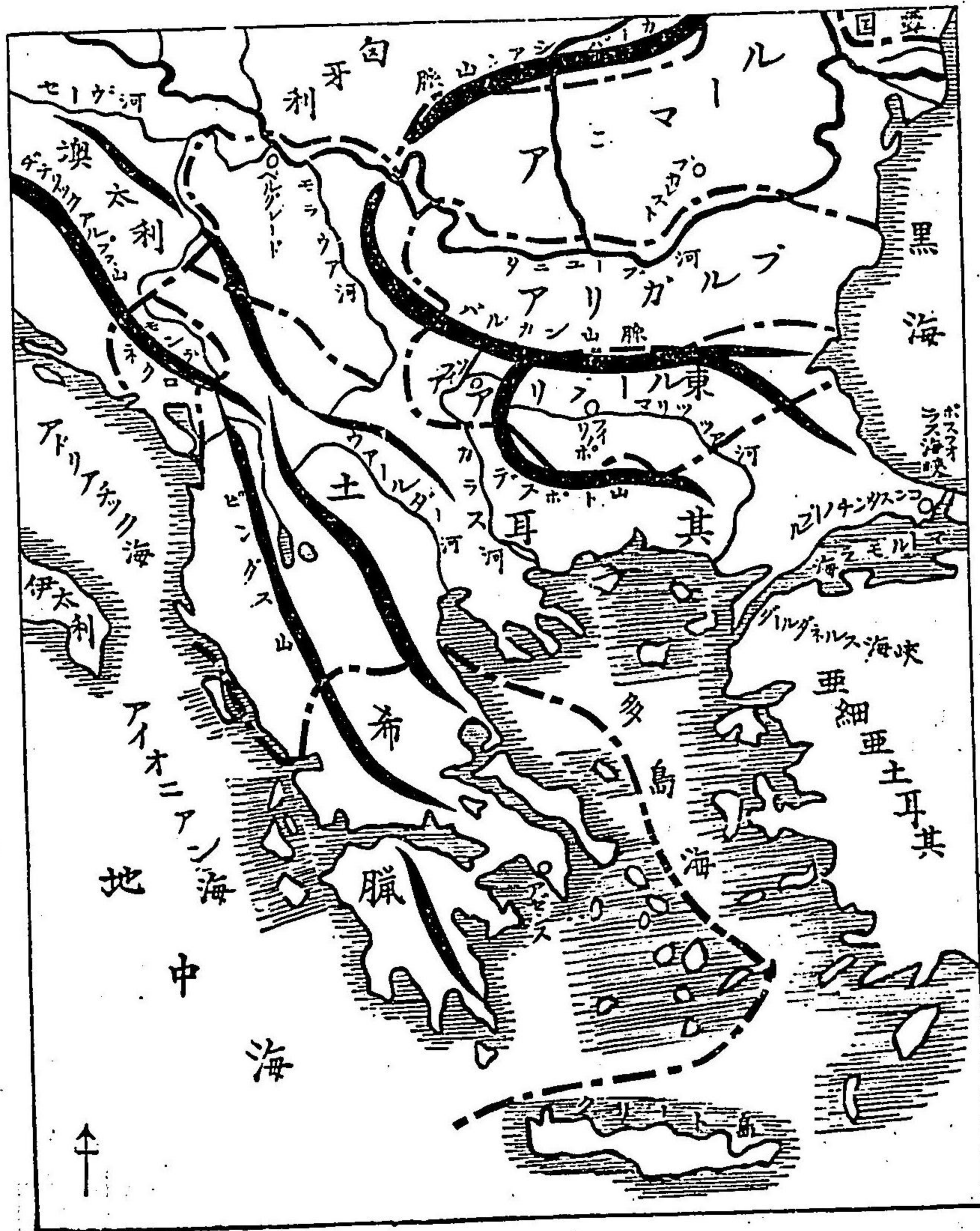


に起伏し、アルプスの北、ボヘミアの西のヒヒテム山は、ボヘミア山脈、チュ  
 ラ山脈、チューリーリッゲン山脈、鑽石山脈の四脈を分派し、露國の東にはウラ  
 ル山脈、スカンヂ子ヴ#ア半島中央にはキョーレン山脈あり。

(一) バルカン半島

地中海に突出せる、南歐最東の半島をバルカン半島と稱す、北は露國及び  
 埃太利、匈牙利に続き、三方は全く海に面す、ルーマニア、ブルガリア、東ル  
 メリア、セルヴ#ア、モンテネグロ、土耳其、希臘の七國に分かれ、面積三萬二  
 千方里、人口千八百六十餘萬あり。

地勢は西にデナリツク、アルプス山脈、埃太利より來りてモ  
 ンテネグロの四周を繞り、更にピンダス山脈に續きて、希臘  
 の南端に亘り、東にバルカン山脈、半島を横斷してカーパシ  
 アン山脈に續けるを以て、大部は山地に屬し、低地も拔海二



(圖之島半ンカルバ)



千五百尺に達し、モラヴァ、イスカー、マリツツア、ヴァルダ  
 ール等の諸河は、流程皆短し、されど、ルーマニアはダニュー  
 ブ河の流域に屬するを以て、地一般に低平なり。

半島の中央は、北緯四十二度に當るを以て、我が國の渡島に  
 等しけれども、寒暑共に劇し、されど、バルカン山南は温暖に  
 して、殊に希臘は海風を受くると多きが故に、歐洲最暖部の  
 一に位す。○住民はスラヴォニツク民族殆ど過半を占むる  
 も、土耳其族、希臘族、アールメニア族、猶太族等もあり、宗教は  
 スラヴォニツク族、希臘族は主に希臘教を奉じ、土耳其族、ア  
 ールメニア族は回教を信ず。

ルーマニア、ブルガリア、東ルーマニア、セルヴニア、モンテネ

グロは、元々、土耳其の屬土なりしが、露土戦争の結果より、ル  
 ーマニアは立憲王政となり、ブルガリアは公爵の君主を戴  
 きて、土耳其の附庸國となり、東ルーマニアはブルガリアと  
 同一の君主を戴き、セルヴニア、モンテネグロは各自立憲王  
 政となれり、土耳其は古へより君主獨裁にして、コーランの  
 教典に基づきて國政を料理し、嘗て立憲代議制を宣言せし  
 が、國習の久しき未だ實行するに至らず、また、露國と戦争の  
 結果は、國勢いたく疲弊し、歳入は歳出を償ふに足らず、僅か  
 に外債を募り、或は官吏の俸給を減じて、その急を補ふ、希臘  
 は、元々、土耳其の領土なりしが、虐政の餘り、國民漸く獨立を  
 企て、英、佛、露の聲援を藉りて、西曆千八百三十二年に、獨立し



て今日の立憲王政こなれり、されど、國勢未だ振はず、加ふるに、近時、クリート島の施政に就き、土耳其と戦端を開き、國事益、悲運に傾けり。

ルーマニアはダニユーブ下流の北岸を占め、面積八千餘方里、人口五百八十萬あり、全地一面に平原にして、農耕に適すれども、北部は森林に富み、住民は農業、牧養を主とす、産物は穀物を第一とし、外に、材木、牛、馬、羊等あり、鑛物は石炭、石腦油は北部に豊かなれども、採掘未だ著しからず、ブカレストは國の首都にして、埃太利と陸路貿易の要區なり。

ブルガリア及び、東ルーマニアはルーマニアと土耳其との間に夾まり、東ルーマニアはブルガリアに合せしより、又南ブルガリアと稱し、面積合せて六千四百方里、人口三百四十萬あり、二國共ニ小麦、玉蜀黍を出だすこと夥しく、ソフィアはブルガリアの首府にして、フキリッポボリスは東ルーマニアの首府なり。

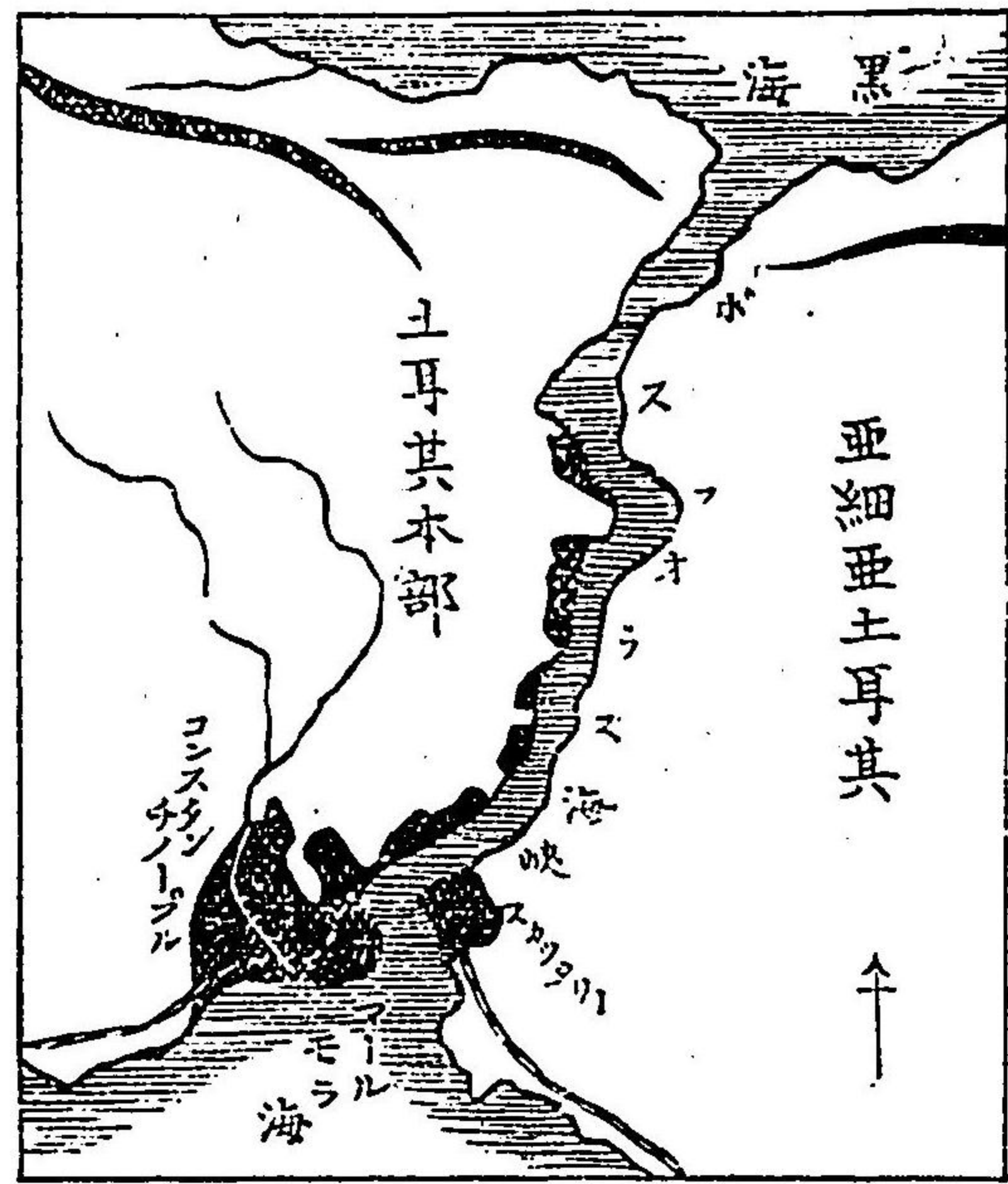
セルヴニアはブルガリアの西に位し、面積三千餘方里、人口二百三十萬あり、全土山地多く、森林は國の大半を領すれども、地肥え、麥、麻、葡萄等を産し、牧養甚だ盛んに、豚、羊、牛、毛皮は輸出の主要を占む、ベルグレードは國の首府にして、ダニユーブ河畔に位し、貿易盛んなり。

モンテネグロは、<sup>アドリア</sup>ヤチツク海の海岸、埃土の間に夾まり、面積僅かに六百萬方里、人口二十萬に過ぎず、全地山嶽多くして、森林に富み、住民は牧養を主とし、牛、羊、豚、山羊、毛皮、乾酪は重要輸出品たり、首府をセチンエと云ふ。

土耳其は又オットマン帝國と稱し、面積一萬二千方里、人口四百七十餘萬あり、されど、第十四世紀の頃は、國勢頗る盛んにして、バルカン半島を始め、領土廣く亞細亞、亞弗利加に跨り、世界に雄視せし強國なりしが、今は漸く亞細亞、土耳其を保てるのみ、住民は農耕、牧養を主とし、殊に山羊の飼養最も盛んなり、産物は麥、米、煙草等多く、鑛物は鐵、岩鹽、鉛、大理石等あるも、採掘未だ發達せず、外に、葡萄酒、薔薇油の製造、綿布、毛布の諸織物あり、我が國とは未だ通商條約を結ばざるも、嘗て軍艦を我れに派して、好修を求めしが、



歸路紀州灘に於て難破しせしより、我が國は特に軍艦を以て、その生存者を送還せしかば、爾來、稍消息を通せり、されど、貿易は未だ盛んならず、僅かに我が國の陶漆器を輸入するのみ、コンスタンチノーブルは人口八十七



(圖之ルブノチンタスノコ)

カ等の都會あり。希臘は土耳其の南にある小國にして、面積四千二百方里、人口二百餘萬に

萬國の首府にして、マルモラ海に臨み、地中海より黒海に通ずる咽喉を扼し、船舶港内に四集し、商業甚だ盛んに、國王の宮殿、回教の堂塔、セント、ソフィアの大寺院等觀るべき者多し、外に、アドリアノーブル、サロニ

過ぎざれども、歐洲の祖國として、三千餘年前の昔に於て、文學技藝已に發達して、歐洲の蠻野を照せしとあり、住民多くは航海業、商業に従事し、農産物は橄欖、葡萄、綿、煙草等を主とし、殊に乾葡萄は一年の輸出二百萬磅以上に達す、外に、牧養、蠶業等よく行はる、アゼンヌは國の首府にして、現今、歐洲開化の基をなせし處たり。

(二) 露西亞

北緯四十度—七十度 東經十八度—六十一度  
面積三十六萬四千方里 人口九千八百六十一萬

歐洲の東部、南は暖海より、北は氷海に擴がれる大平原を露西亞と稱し、全部洋裝婦人の腰より裾に至る大部を占む、北は北氷洋に臨み、東はウラル山脈、乌拉ル河を以て亞細亞に界し、南は高加索山脈、黒海を以て亞細亞、土耳其、波斯に對し、西はバルチック海、獨逸、埃太利、ルーマニアと、瑞典の一部とに接す、分ちて露國本部、フィンランド、ポーランド、内部高加索の四部とす。



沿海は北に白海<sup>ホワイトシー</sup>を以て北氷洋に通じ、西にフィンランド、リガ、ボスニアの三灣はバルチック海の支派をなし、南にアゾフ海、黒海を以て地中海に通じ、東南に裏海を控ふるも、海岸の屈曲に乏し。○地勢は亞細亞の境上にウラル、高加索の兩山脈及び西南部にカーパシアン山脈の支脈あるのみにして、内地は多く平原をなし、僅かにヴァルダイ丘陵、中央に六百尺の起伏を以て東西に亘り、ドン、ヴォルガ、ヴヰスチユラ、ニール、ペナヨラ、ドナ、オチガ等諸流の分水界を成す、丘陵以北はタンドラと稱する、沼澤多き濕地にして、氣候寒く、草木生ぜず、東南、裏海の沿岸よりウラル河、ヴォルガ河下流の灌域は、砂質の草原遠く横はり、野民多くは遊牧を事とす

れども、西南部は黒土深く三尺より二十尺に達して、穀物能く稔るを以て、此の國寶庫の名あり。○氣候は北の寒風、南の暖風を遮ぎる者なきを以て、各地寒暑共に強く、白海の沿岸に位せるアルカングルは、夏期甚だ熱く、平均温度我が東京より稍涼し、されど、裏海の沿岸に立てるアストラカンは、夏期又東京ごその温度を同うす、之れを要するに、各地大陸性氣候を有し、寒暑の差、本洲中最も甚だし、雨量は夏期に豊かなれども、黒海、裏海の附近は甚だ乾燥なり。物産は農産物最も多く、耕地の面積は、全土百分の二十一に過ぎざれども、國民の九割は農耕に従事し、麥、玉蜀黍、麻、苧、甜菜、煙草等は黒土層地方に取り、モスコー以北の地は、松、柏、樺木、樅、榲等の材木



を出だす、鑛物は金、白金最も夥しく、外に、石炭、鐵、銅、亞鉛等あれども、産額未だ多からず、されど、高加索地方の石油は西歐及東洋に輸出し、牧養は草野地方に行はる、我が國との貿易は、米、陶器、漆器、絹帛、綿布等を輸入し、石油を輸出す。○住民は大抵スラヴ<sup>スラヴ</sup>ニツク民族なれども、北方にラップス人、東南に蒙古人、フィンランド灣の南部にチュートン民族<sup>チュートン</sup>、ドン河領にコサック人等あり。宗教はスラヴ<sup>スラヴ</sup>ニツク民族は希臘教、ポーランド人は舊教、フィンランド人は新教、蒙古人は回教を奉ず、されど、希臘教を以て國教と定め、皇帝を以てその統御者とせり。

首府聖彼得堡<sup>セントペートルスボルグ</sup>は彼得大帝が、西曆千七百三年に創設せし都

會にして、人口凡そ百四萬、フィンランド灣頭に位し、各國の船舶出入劇し、クロンスタートはフィンランド灣の小島に立ち、聖彼得堡の港口を扼し、その鐵道砲臺は堅固なること、天下無雙と稱す、モスコーは人口八十三萬、國の舊都にして、京城の南東、百六十餘里に位し、内國貿易甚だ盛んなり、外に、オデッサ、リガ、アストラカ<sup>ン</sup>、ワールソー等の都會あり、交通は直に太平洋に接せざること、冬期海面河口の氷結によりて、多少の妨害を免がれざれども、土地平坦なるを以て、河流緩く水量多く、水路航運に適する者、三萬三千五百哩に達し、運河亦千四百五十哩あり、加ふるに鐵道は主要の幹線のみにして、一萬七千餘哩を敷設せり。○政體は無限の君主專制に



して、立法、行政、司法の大權は悉く皇帝の意思にありて帝意は則ち法なり。全國を六十八州の行政區に分かてごも、フィンランドは別に皇帝を大公として、立憲政治を施し、内部高加索は、外部と共に行政を同うす、陸軍は常備兵八十餘萬、海軍は甲鐵艦三十五隻を備ふ。安政元年、我が國と條約を結び、聖彼得堡府に我が公使館を置き、オデッサには我が名譽領事あり。

領土は亞細亞洲に於ける西伯利亞全部より、洲の中央大部を領し、面積合せて百四十五萬方里、人口亦一億二千餘萬を有せり。

(三) スカンデナヴィア半島

北緯五十五度二十分—七十一度十一分 東經五度—三十一度

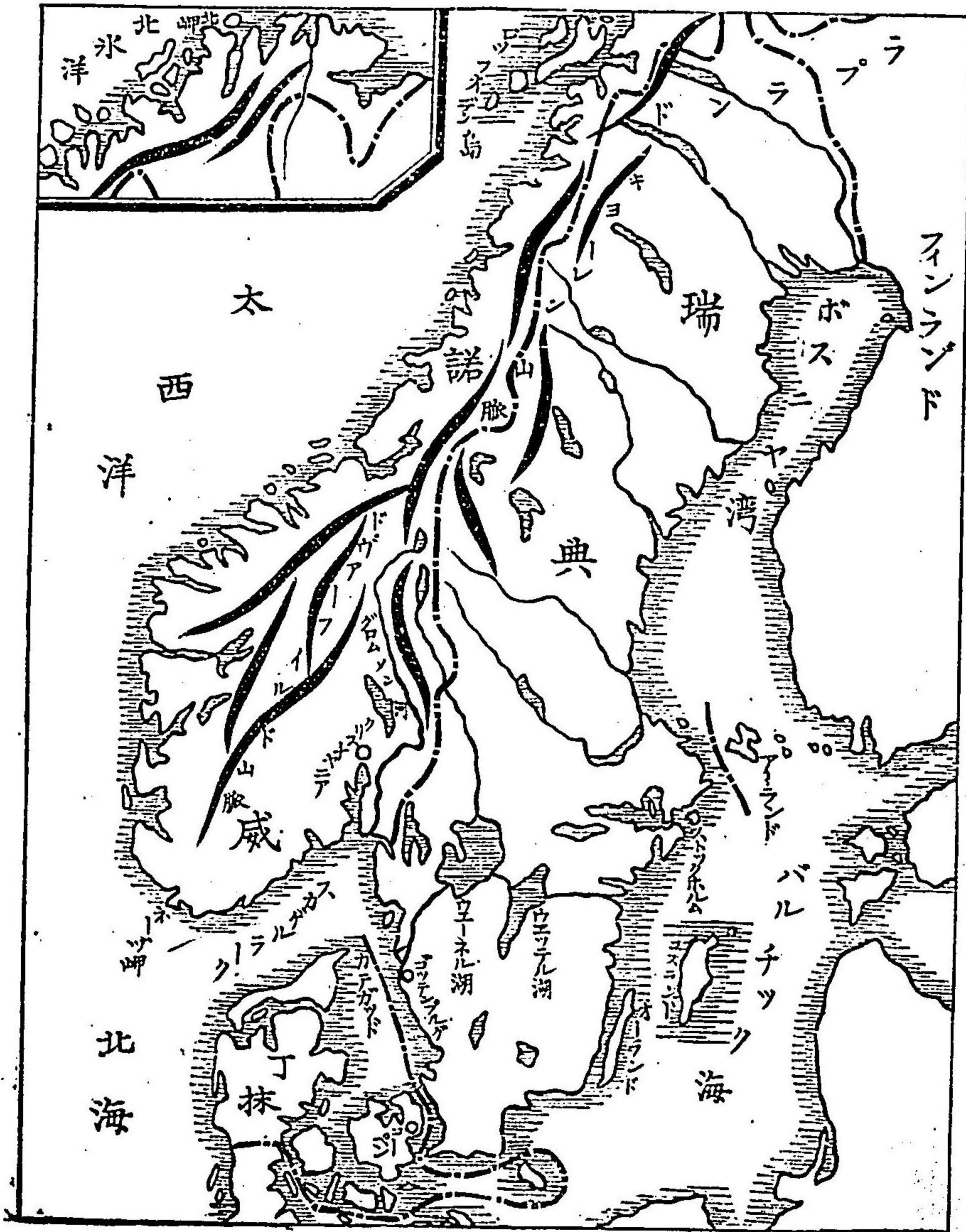
面積瑞典は二萬九千方里 諾威は二萬一千方里  
人口瑞典は四百八十四萬 諾威は二百餘萬

露國の西北より、西南に、イ字狀に海中に突出せる半島をスカンデナヴィアと稱す、北は北氷洋に面し、東はラブラントに續きて、ボスニア灣、バルチック海に瀕し、南はスカゲルラーク、カテガット、ザウランドの三海峡を距てて丁抹に對し、西は太平洋に洗はる、全部を二國に分ち、東を瑞典、西を諾威とし、キョーレン山脈を以て、その界を限る、面積合せて五萬方里、人口六百八十萬あり。

地の大部は南より北に、低き岩石質の高原より成り、ドヴァーフィールド山脈はキョーレン山脈に續きて、半島の分水界をなせるを以て、諾威は山岳多きも、瑞典は平野遠く、著しき山岳を見ず、湖水はウエーテル、ウエツテル、マラール等最大なり。○半島の南端は、我が千島のアライト島よりも、遙に北



に横はるが故に、寒さ強く、九月より六月に至り、地水氷結すれども、諾威の沿岸は灣流の感化を受け、氣候温暖なり。物産は木材、鑛物、水産物最も豊かに、木材は瑞典の地、到る處その生育に適するこ、岩質上に生じ、成長遅きが故に、材質堅緻なるこにより、各國に聲價を博し、今は、世界の木材國と稱せらる。鑛物亦瑞典に夥しく、鐵、銅、銀、白銅等の内、殊に鐵は品質敢て英國産に劣らず。水産物は諾威に盛んに、許多の大口魚、鯡を産す、殊にロツフォデン群島の附近は、世界無比の好漁場とす。○住民はチュートン民族のスカンデナヴィア派に屬し、外に、ラップス族、フィンズ族等あり、宗教は皆耶蘇新教を奉ず。



(スウェーデン半島之圖)



ストツクホルムは瑞典の首府にして、九個の島上に跨り、光景頗る明媚なり、クリスチヤニアはノルウェーの首府にして、同名の澳頭に位し、木材、水産物の輸出盛んなり、外に、ベルゲン港は肝油の輸出を以て著はる、ゴッテンブルグは、ウエーテル湖の口を扼し、且つカテガット海峡を距て、丁抹に對し、商工の盛んなるを首府を凌げり、交通は道路開け、運河處々に通じ、瑞典は五千餘哩、ノルウェーは千餘哩の鐵道あり、されど、地大陸と遠ざかれるを以て、國外の交通は概ね海路に依り、ノルウェーの如きは、航運に従事する者、人口の比較上、遙に他國の右に出で、船舶亦甚だ夥し。○政體は立憲王政にして、二國共に一王を戴き、各自獨立して立法議會を組織す、その中央政府は

ストツクホルムにあるを以て、ノルウェーは毎年參議官中より、委員二人を選び、國務大臣一人と共に中央政府に駐在す、明治元年、我が國と條約を結び、露國駐在の我が公使、二國の事務を兼ね、

#### (四) ジヤットランド半島

瑞典の南にあるジヤットランド半島と、その東のジーランド、フリーデラーランド、及び英國の西北洋中にある、フェロー諸島を合せて丁抹と稱す、南の一部僅かに獨逸と界を接し、北東は三海峡を距て、スカンデナヴィア半島に對し、ジーランド、ラーランドの二島を以てバルチック海を扼し、西は北海に面す、面積二千五百万方里、人口二百二十萬あり。

沿海は處々に長き狹澳ありて、海岸延長し、リム狹澳の如きは、ジヤットランドの北部を東西に貫き、且つ各島互に接近



せるを以て、海峽甚だ多く、小ベルト、ランゲランド、ベルト等は皆著名の海峽なり、就中、海底の最も深きは大ベルトにして、軍艦多く此處を航通すれども、商船はサウランド海峽を航す。○地勢は一帶に歐洲大平原の北部を成し、東は土肥えるも、西は砂地多く耕作に適せず、されど、島嶼は果穀能く豊熟し、此の國寶庫の名あり。

氣候は地、北方に偏すれども、三方に海を繞らすを以て稍溫暖にして、降雨多し。物産は各種の麥類最も夥しく、牧養亦盛んに行はれ、牛、馬、羊、豚等の家畜、及び乳油、牛酪等は輸出の要部を占め、鑛物は唯少許の泥炭あるのみ。○住民はスカンデナヴィア派に屬し、五分の三は農耕を事とす。宗教は一般に

新教を奉ず、教育は頗る能く普及し、文字を知らざる者は、殆ど皆無なりと云ふ。

ヨーロッパヘーゲンは國の首府にして、人口三十二萬、市街はジーランド島ミアマゲル島に跨り、海路通商の要地を占む、外に、アールヒュース、オデンセー、ヘルシンゲル等の都會あり、その内、ヘルシンゲルはチルソンの東海々戰史に有名なる海港にして、その近傍の砲臺へは、海峽出入の船舶、みな通過税を拂ふ。○政體は立憲王政にして、元老、衆議の兩院を以て立法議會を組織す。陸軍は常兵僅かに五萬に充たざれども、海軍は甲鐵艦十餘隻あり。慶應二年、我が國と條約を結び、和蘭駐在の公使その事務を兼ね。○領地はフエーロー諸



島の西北、太平洋中に横はれる氷州アイスランド、北米のグリーンランド、及び西印度諸島のセント、トーマス等を合せ、面積一萬五千方里、人口百十餘萬あり。

氷州は丁抹を去る凡そ千六百海里の西北に位す、面積は六千六百餘方里あれども、人口僅かに七萬に過ぎず、全島氷原雪野より成り、皆火山質構造にして、二千有餘の火山あり、就中、最も有名なるをヘクタとし、麓に温泉多く、殆ど一定時毎に鳴動して、熱泉を五十尺より百尺程の高さに噴出し、その聲四方に聞ふ。○居民は南岸に住み、牧養、漁業に従事し、ライキヤグリキヤグが最も繁華なり、全島の行政事務は氷州事務大臣之れを總監し、知事を置き州會を組成す。

(五) 獨逸

北緯四十七度十八分—五十五度五十二分  
東經五度五十分—二十二度五十分

面積三萬四千餘方里、人口五千二百餘萬

獨逸帝國は又日耳曼國セルマンと稱し、歐洲大平原の西部、エルベ、ラインの河領を占め、洋裝婦人の背部に位す、北は北海、バルチック海及び丁抹に界し、東は露國に交はり、南は埃太利、瑞西を限り、西は佛國、白耳義、和蘭に接す。全部普魯西プロシヤを盟主とし、外に、三王國、六大公國、五公國、七侯國、三自由都府及び一帝領を以て、獨逸聯邦を組成す。

四王國

普魯西 バヴァリア(バイエルン) ウルテムベルヒ サキソニー(ザクゼン)

六大公國

バーデン メクレンブルヒ、シユウエーリン ヘッセン オルデンブルヒ  
ザクゼン、ワイマル、メクレンブルヒ、ストレーリツク

五公國

ブランスキツク(ブラウンシュワイグ) ザクゼン、マイニンゲン、アン



七侯國

ハルト  
 ザクゼニ、コーブルヒ及びゴーダ  
 ザクゼニ、アルテンブルヒ  
 リッペー  
 フルデック  
 シュワルツブルヒ、ルドルスタット  
 シュワ  
 ルツブルヒ、ゾニデルスハッゼニ  
 ロイズ弟統  
 ロイズ兄統  
 シュワ  
 ムブルヒ、リッペー

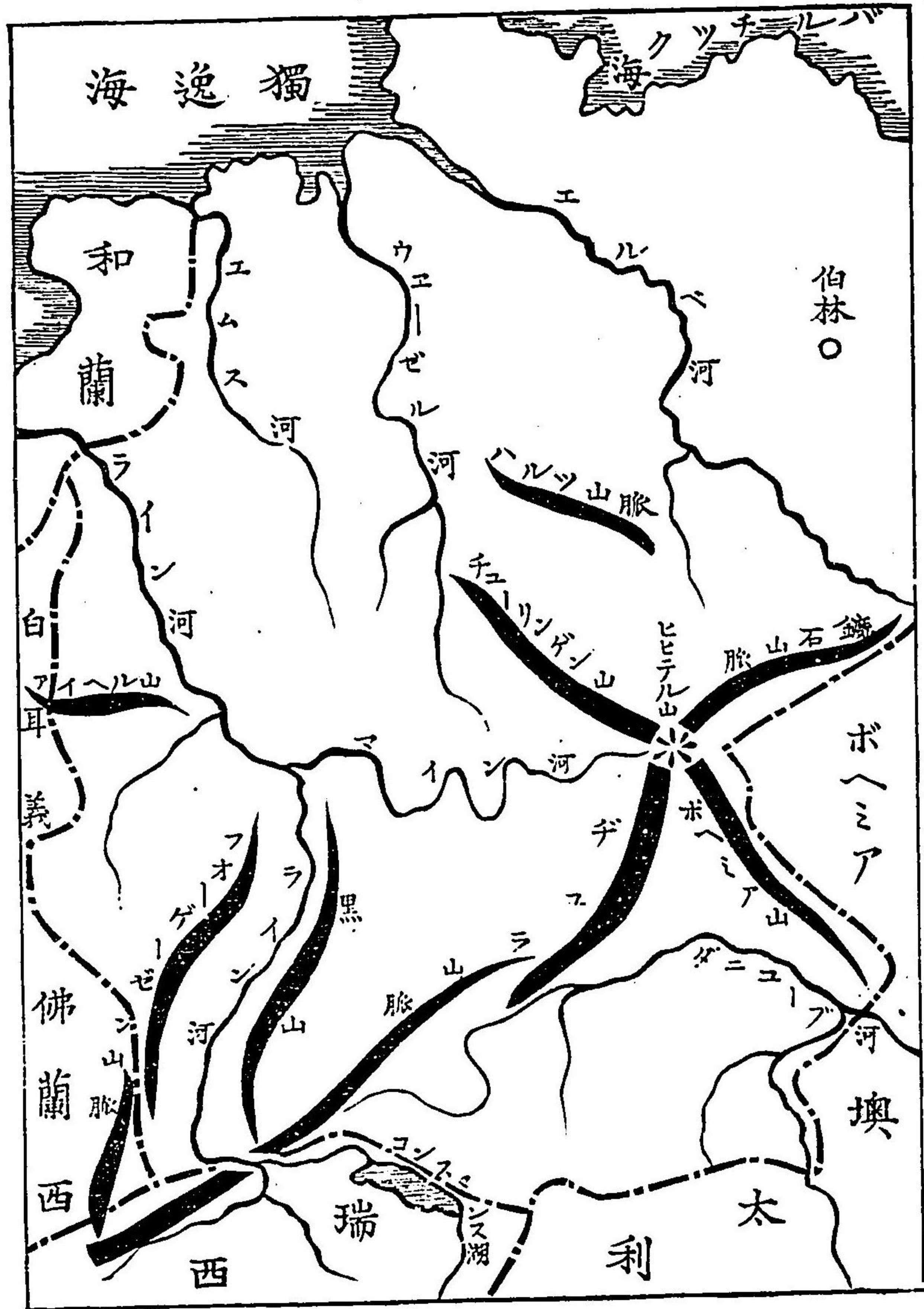
三自由都府

ハムブルヒ  
 リューベック  
 プレーメン

一帝領

アルサス、ローレイン(エサス、ロートリンゲン)

内地は凡そ北緯五十一度に、東西に横はる、チューリングゲン山と稱する一帯の森林を經界として、南北の地勢を異にす、北部獨逸は和蘭界より、露國にかけ平野遠く連なりて、歐洲大平原の一部をなし、沿岸殊に低く、北海の海濱は堤防を築



(西獨逸之圖)



き海水の侵入を禦げごも、南部獨逸は山岳起伏して森林處所に繁茂し、漸次南西の國境に最も高きを以て、全土高地、低地の二帶より成り、北獨逸は北海の海岸より和蘭に沿へる處、及びライン上流の各地は肥沃なれごも、その他は地質、東は砂地にして西は濕地多く、地味概ね菲薄なり、されご、河流多く灌漑に不足なきが故に、到る處、田圃相連なり、世界屈指の開拓地なりごす、南獨逸は一帶の高地土肥え、ライン上流の谿谷殊に豊饒なり。○氣候は、北海地方は墨西哥灣流の餘波を受け、暖かに且つ降雨多きも、バルチック海地方は露國ご同じく、冷濕にして寒さ強く、高原地方は寒暑の差劇しく、純然大陸性氣候なり。物産は各種備はらざる、なきも、木材ご

礦物ごは國の二大富源にして、南獨逸は最も森林に富み、普國の官林にても、收入殆ご四百萬磅に達す。礦物は石炭、鐵に富み、殊に、石炭の採掘は英、米に亞く、外に、金、銀、銅、鉛等より琥珀はバルチック海の東岸に産す。農産は裸麥、馬鈴薯、麻、苧、甜菜等を北獨逸に、葡萄、煙草、玉蜀黍等をライン河領に出だし、牛、馬、羊、山羊の牧養亦盛んに、羊毛は世界に名高く、我が國人の用ゆる毛糸類は大抵此の國の輸出に係る。工業は近時、殊に發達して、その製品は漸次英國の領域を侵し、鐵器、陶器、絹布、毛布、麻布、麥酒、葡萄酒、玻璃等の製造は皆廣大なる工場を有し、麥酒は毎年三千萬石を醸造し、世界第一に位す。輸出は主に穀物、木材、鐵、家畜、麻織等多く、我が國へフランネル、鐵釘、



縮緬、吳呂羅紗、染料、鐵道用具、麥酒、鐵塊等を輸出し、我が國より米、樟腦、陶磁器、漆器、屏風、竹器、絹手布を輸入す。○住民はナエートン民族多數を占め、西南には佛人、東部にはポランド人あり。宗教は耶蘇教最も能く行はるゝも、舊教亦西部に行はる。

伯林は獨逸帝國並に普魯西王國の首府にして人口百六十七萬、北歐工業の中心に當り、スプレー河上、荒漠の砂原に位すれども、取引はバルチック海、北海の商權を握り、綿布、麻布、絹布の紡織、鐵器、陶器の製造甚だ盛んに、歐洲第三の大都なり、外に、ハムブルヒ、ライプツヒ、ミュンヘン、ドレスデン、ブレーメン、ケニグスベルヒ、ゾーセルドルフ、コーローン、フラ

ンクフルト、ハノーヴェル等數多の都會あり、殊に、ハムブルヒは人口六十三萬、伯林に亞げる大都にして、北米諸港と船舶の往來頻繁なり、ドレスデンはサクソニー王國の首府にして、人口三十四萬、古書、古畫を納めたる博物館は、獨逸帝國に未だなき所とす、此の府よりエルベ河に沿ひ、ボヘミアのプラークに至る途上は、山紫水明にして、風致の能く瑞西に似るを以て、或はサクソニー瑞西の稱あり、ライプツヒはサクソニー第一の都會にして、人口四十萬、工業、採鑛業の中心に當り、革皮、羅紗は貿易盛んなり、此の地は又獨逸文化の淵藪にして、有名なる大學あり、府内に書肆多く、獨逸國中書肆販賣の最も盛んなる所とす、ミュンヘンはバヴァリア王



國の首府にして、人口四十餘萬、大學、博物館及び古書、古畫の寶庫あり、鐵器、陶器の工作、綿布、麻布の製織は此の府の物産にして、殊に、麥酒の美味は獨り帝國に冠たり。交通は陸路三萬哩の鐵道、八達して歐洲諸國に通じ、千五百里の運河は河川を連結し、キール運河の如きも大船の進航を妨げず。○政體は諸州の聯合より成れる立憲帝政にして、普魯西國王は獨逸皇帝の尊號を以て全國に君臨し、立法府は聯合議會と帝國議會とを以て組織す、プロッサ、ローレンの二州は別に皇帝の勅任したる太守を以て州政を執らしむ。陸軍は露、佛、奧三強國の間にあるを以て、常備兵凡そ五十萬、戰時兵役に堪ふる者三百萬あり、海軍は甲鐵艦三十餘隻あり、文久三

年、我が國と條約を結び、我が公使館は伯林府にあり、又ハムブルヒ、ブレーメンには我が名譽領事あり。○領土は亞弗利加之沿岸地方に十五萬餘方里、人口八百餘萬と、南洋諸島に一萬七千方里、人口四十萬とを有せり。

#### (六) 奧太利匈牙利

北緯四十二度十分—五十一度  
東經九度半—二十六度半  
面積四萬方里人口四千百餘萬

奧太利匈牙利は南歐の中央に殆ど五稜形を成す、北西は獨逸に、北東は露國に、東はルーマニアに、南はセルヴニア、土耳其、モンテネグロ及びアドリアチック海に、西は伊太利、瑞西に界し、奧太利、匈牙利の二國を以て一帝國を成す。

地勢は四周に山岳を繞らすが故に、全土四分の三は山地な





(圖) 塊大利匈牙利之

れども、匈牙利はダニューブの流域に屬して廣き平原をなし、ガリシアの地亦歐洲大平原の一部をなし稍平坦なり。○氣候はアドリアチック海に瀕せる一帯は、海風を受け甚だ暖かなれども、その他は寒暑共に劇しく、ダニューブ河の如きは冬期氷結するこゝあり。物産は農産物最も豊かにして全土百分の八十九は地肥え、住民五分の三は農耕に従事し、麥、麻、玉蜀黍、煙草、甘蔗、葡萄等の産出甚だ夥しく、牧養は匈牙利に盛んに年々百萬頭に達する家畜の輸出あり、鑛物は金、銀、銅、亞鉛、石炭、鐵等の採掘は未だ多からざるも、歐洲中豐富の一に數へらる、工業は毛布、麻布、綿布、玻璃等の製出は、古へより萬國に聲名あり、我が國へ鋼、鉛、亞鉛、印刷料紙等を輸出



し、我が國より熨斗糸、屑糸、陶磁器、青銅、漆器等を輸入す。○住民はチエートン民族の獨逸人最も多く、ほかに、蒙古族、スラヴ、オニツク族、羅甸民族、猶太人等を交ふ。宗教は舊教徒最も多きも、民族の異同により、新教、回教を信ずる者少なからず。維也納は帝國の首府にして、人口百三十餘萬、ダニューブ河の西岸に位し、商業盛んに、又製鐵、製鋼より樂器、陶器、天鵝絨等の製造を以て著はる。匈牙利のブダ、ペスト府はダニューブ河の兩岸に對せる都會にして、人口五十餘萬、釣橋を以て兩市を連ね、商工業甚だ盛んなり、外に、レムベルヒ、トリエスト等の都會あり、殊にトリエストは此の國唯一の貿易港にして、また海軍の根據地たり、本港には我が名譽領事あり。交

通は鐵道一萬八千三百哩あるが上に、水路舟舶の通ずる者四千餘哩ありて、ダニューブ河の如きは、八百五十哩の間、瀛船の航行を許す。○政體は二國各自に獨立の政府を建つるも、共同して立憲帝政の雙立聯邦を組成し、奥太利皇帝を以て匈牙利の王位を兼ね、陸軍は平時三十餘萬の常備兵と、海軍は甲鐵艦十六隻を有す、明治二年、我が國と條約を結び、維也納府に我が公使館あり。

(七) 和蘭、白耳義

北緯四十九度三十分〓六十三度三十四分  
東經二度三十分〓七度十四分  
面積和蘭は二千百方里、白耳義は千九百方里  
人口和蘭は四百九十萬、白耳義は六百五十萬



和蘭及び白耳義はライン河口の三角州に位し、北と西とは北海に面し、東は獨逸に界し、南西は佛蘭西に接す、全地殆ど三角形をなし、その北を和蘭南を白耳義とす。

地勢は白耳義の東南に山岳稍起伏すれども、西と北は一面に低く、殊に沿岸は海面より低き處あるが故に、堤防を築き、和蘭の如きは風車又は唧筒を仕懸けて海水の侵入を禦ぎ、北部に彎入せるザイデルジールの如きも、往時は湖水なりしが、海水砂丘を破りて、湖水と大洋とを接続し、現時、灣口を扼せるテッセル、ヴリーランド、テルシエリング等の諸島は、その大陸を遺せる者なり。○氣候は大抵温暖なれども、濕潤にして夏は熱く冬は寒く、雨亦多くして、和蘭の如きは晴天僅かに年内四十日に過ぎず、二國共に農業盛んに、和蘭は歐洲



(和 蘭 及 白 耳 義 之 圖)



第一の牧養國なり、鑛物は白耳義の鐵、石炭は産額最も夥しく、鐵器、兵器等の製造を以て著はる、和蘭は我が國より漆器、陶磁器を輸入し、白耳義は我が國へ鐵釘、鐵道用具、亞鉛板、羅紗等を輸出し、我が國より陶磁器、米、漆器等を仰ぐ。○住民は二國共にチユートン民族に屬すれども、白耳義には羅甸民族多數を占む。宗教は和蘭に新教能く行はるゝも、白耳義は大抵舊教を奉ず。

ヘーグは和蘭の首府にして、國の西部、海岸を去る三哩の所に位し、王宮議院の所在地たり、府の北のレーデンは有名な大學を以て著はる、ロッテルダムはマース河畔にある海港にして、貿易盛んなり、アムステルダムは國內第一の大都

にして、人口四十六萬、ザイデルジール灣に臨み、運河を以て疏通せる九十の小島に跨り、三百の橋梁を架して市街を列ね、民家は沼澤に杭を立て、その上に家屋を築き、國王の宮殿の如きも亦一萬三千餘の材木を以て殿樓を支ふ、此の地は有名なる金剛石工場のある所にして、歐洲諸國より名石の琢磨を托す、世襲の君主は即位の大典を此處に行ふを常例とす。○ブラッセルは白耳義の首府にして、人口五十二萬、國の中央に位し、諸工業の中心に當り、市街美麗に富豪軒を並べ、博物館には繪畫、彫刻、寶石等珍奇の物品を列ね、世人稱して小巴里と云ふ、アントワープは國內第二の都會にしてスケルト河門に位し、綿布の製織を以て著はれ、港内深く大



船の出入自在なるを以て、各國の商船毎に林立し、我が日本郵船會社も此處に定航す、ゲントは工業の盛んなる地にして、綿布紡績は英國のマンチエスターと競争す。交通は和蘭の地、沼澤の多きと、海灣及び運河の夥しきにより、巨大の橋梁を架し、又は道路を迂廻せざるべからざるが故に、鐵道の敷設は困難なる事業なれども、運河は三千哩に達す、白耳義も鐵道運河共に開け、運輸の利、交通の便に缺くる處なし、殊に和蘭の如きは海運の事業は往時の如くならざるも、猶海外貿易盛んにして、商業を以て全く國を立つ。○政體は各自獨立の立憲王政にして、上下兩院を以て立法議會を組成す、和蘭は安政二年、白耳義は慶應二年に、我が國と條約を結び、

和蘭には我が國派遣の公使あれども、白耳義は獨逸駐在の公使その事務を兼ね、阿姆斯特ダム、アントワープには我が名譽領事あり、されど、和蘭が我が國と交通せしは、文祿四年に始まり、慶長二年、我が九州の平戸に來り、雜貨、絹布、胡椒、象牙、鉛等を交易しぬ、當時、我が國人が所謂紅毛人とは、即ち此の國人を云ひし者にして、歐洲文明の我が國に漸入せしは、殆ど此の國との通商に依れり。○白耳義は海外に領土なきも、和蘭は世界第二の殖民國にして、南米、南洋、及び西印度諸島に幾多の領地を有し、面積合せて、十三萬餘方里、人口三千四百萬あり、又白耳義の東南に位せるリユキゼムブルグは西曆千八百六十七年以來和蘭に屬し、和蘭王は、リユキゼ



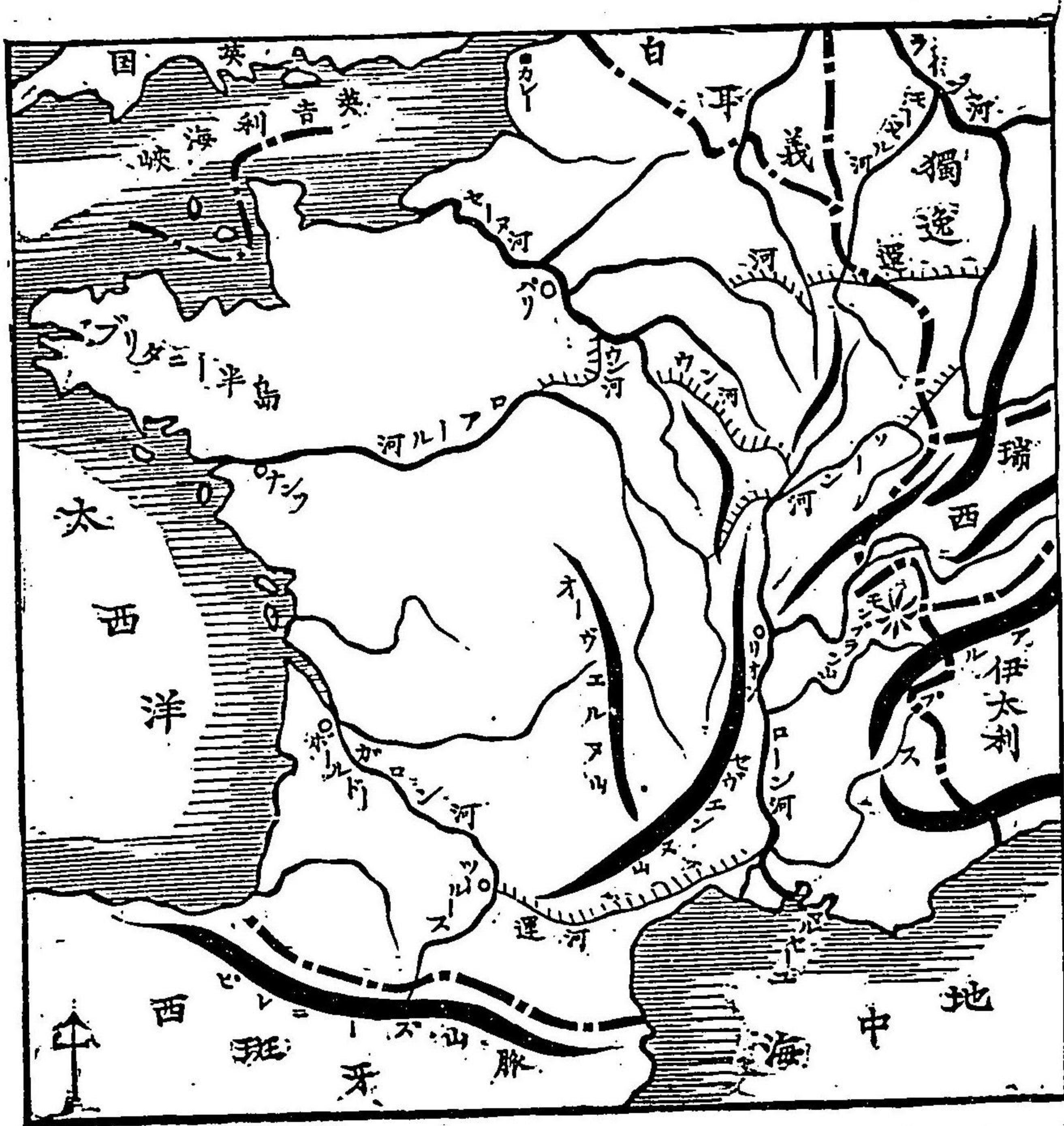
ムブルグ大公として之れに君臨す。

(八) 佛蘭西

北緯四十二度—五十一度  
東經七度三十分—西經五度  
面積三萬四千方里人口三千八百萬餘

佛蘭西は洋婦裝人の頸より肩を占むる大國にして、狀ち殆ど六角形をなす、北は英吉利海峡を距て、英吉利に對し、東は白耳義、獨逸、瑞西、伊太利に界し、南は地中海を控へ、西班牙に交はり、西はビスケー灣に瀕す

地勢は伊國の界にアルプス山脈を横たへ、瑞西、獨逸の界にジュラ、フォーゲーゼンの諸山脈を繞らし、西班牙の界亦ピレニアズ山脈を以て限れども、内地は一般に低平にして、僅かにオーヴェルヌの高原、中央に三千尺の丘陵をなし、東南セ



(佛蘭西國之圖)

ヴェンヌ丘陵に連なりて大河の分水界をなし、北西部は白耳義に續き歐洲大平原の西端をなせり。○氣



候は温帶の中央に位せると、灣流の感化を受くるに依り、大抵暖かにして寒暑共に劇しからず、降雨亦多量に失せざるも、西より東、南より北に漸次増量す。物産は麥類、甜菜、玉蜀黍等の産出夥しく、殊に桑樹、葡萄の耕作に適するを以て、葡萄酒の醸造、蠶糸の製出は主要の産物に屬す。ポールドー及びビシャムパン州の葡萄酒は世界の第一等に位し、醸造高亦殆ど一億八千萬石に達す。されど、鑛業、牧養、漁業は、近時漸く發達の域に向へども、未だ盛んならず、その内、石炭、鐵は逐年採掘を増せども、産業盛んなるがため、消費の全部を充たすに足らず。されど、製造業は實に此の國富源の大本にして、國人美術の思想に富み、巧妙なる意匠は、之れを工業に應用し

てその美を表出す。就中、絹布の紡織は國人獨得の長技にして、精巧華麗天下無雙と稱し、各國の上流社會皆之れを讚賞す。その他、綿紗、レース、磁器、時計等の製造も、他國の肩後に落ちず。我が國へ縮緬、吳呂、絹布、綿布、縐子、兵器、葡萄酒、時計等を輸出し、我が國より生糸、熨斗糸、屑糸、米、陶磁器、漆器等を輸入す。○住民は大部羅甸民族に屬し、多くは農業に従事す、性愛國心に富み、名譽の爲めには敢てその身を顧みざれども、一般輕躁浮薄にして、忍耐の氣象に乏し。宗教は大抵舊教を奉じ、新教徒僅かに五十萬に過ぎず。

パリは國の首府にして、人口二百五十餘萬、全市の廣さ倫敦の三分の一にも及ばざれども、家屋の構造は清潔端麗にし



て、ノールトルダムの古塔、圖書館、繪畫樓、公園等は、皆壯大なる  
 こと天下無雙と稱す、リオンは人口四十五萬、ローヌ、ソーヌ  
 の會流する處に位し、各種の絹織物、レース、絹紐等の製出盛  
 んに各國の生糸は、一時、此處に集まり、再び他國に輸出す、マ  
 ルセイユは人口四十四萬、リオン灣に臨み、埠頭は人工に成  
 れるを以て、敢て良港なるにあらざれども、蘇士運河の開通  
 せし以來、東洋諸國に通ずる、地中海中屈指の要港となり、百  
 貨常に輻湊す、横濱より本港へ航程九千餘海里、我が國より  
 歐洲へ至る者、必ず本港に上陸す、ポールドロはガロン河の  
 西岸に位し、葡萄酒の輸出盛んに、太西洋の一大貿易港なり、  
 外に、ナンツ、ツール、ス、ハーヴル等亦繁華なる都會なり、交

通は水陸共に完備し、河流は皆舟楫の便あるが上に、ロアー  
 ル、ローンの河領にはカナル、ヅ、サントルの運河あり、ガロン、  
 地中海の間にはカナル、ヅ、ミヂの運河あり、セーヌ、ローンの  
 河領にはバーガンデー、カナルありて、四大河互に水運の便  
 を通じ、伊國に通ずるアルプス山下は、モンセニーと稱する  
 有名なる墜道あり。○政體は普佛戦争の結果、西曆千八百七  
 十年より共和政治となり、大統領を民選し、上下兩院を以て  
 立法會議を組織す、地方政治は、全國を八十七州に分ち、州  
 長を置きて各州を治む。陸軍は常兵六十萬、海軍は四百三十  
 餘隻の軍艦あり、安政中、我が國と條約を結び、巴里に我が公  
 使館を置き、リオニに領事館あり。○領地は南米のギアナ、亞



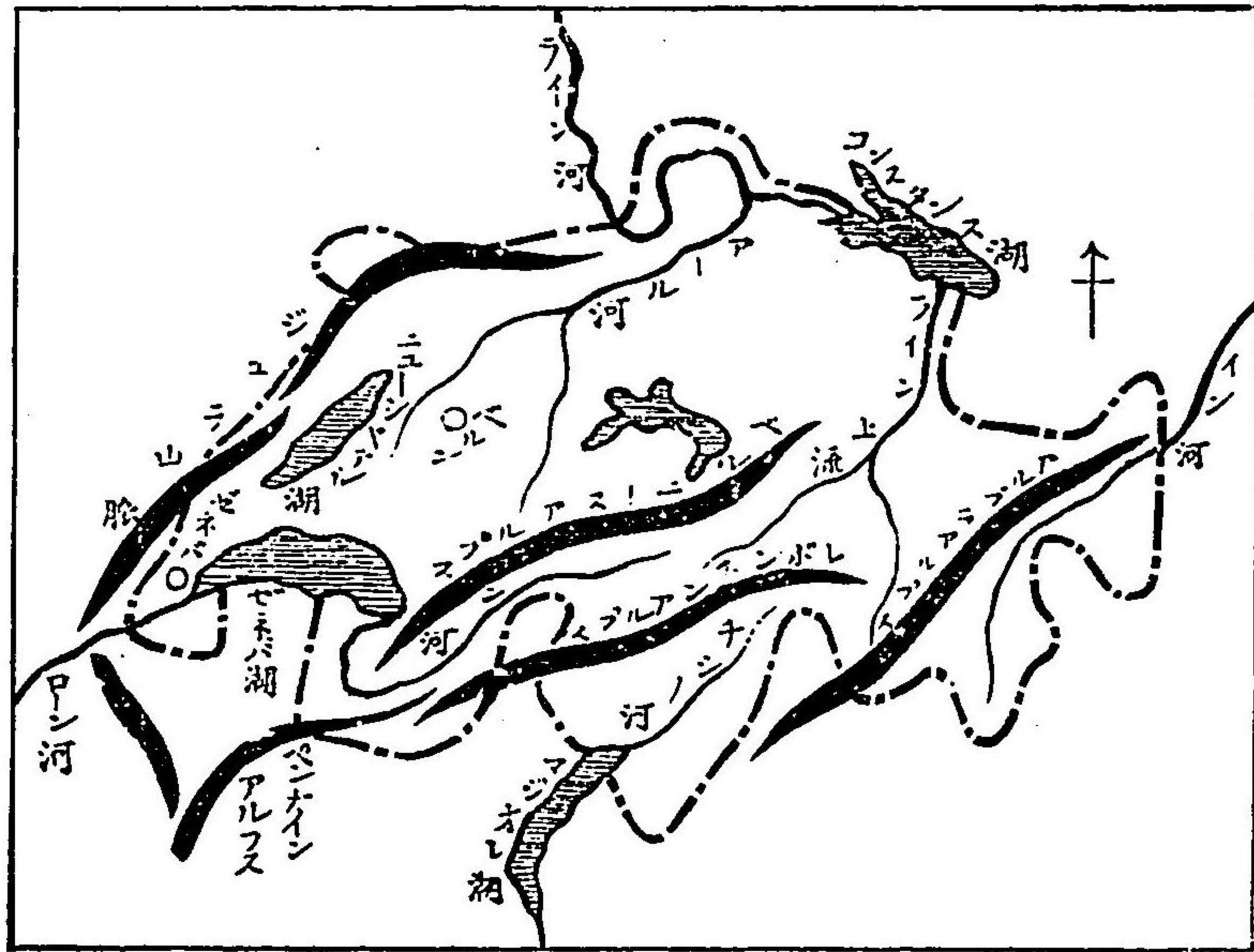
弗利加のアルゼリア及び東洋南洋等に散在せる者を合すれば、面積二十二萬方里、人口二千萬以上を超え、之れに保護領を加ふれば、面積四十三萬餘方里、人口四千二百萬あり。

(九) 瑞西

北緯四十五度五十分—四十七度五十分  
 東經六度—十度三十分  
 面積二千七千方里人口凡そ三百萬

瑞西は歐洲の中央に位せる小國にして、洋裝婦人の胸部を占め、獨逸、奧地利、伊太利、佛國の間に狹まる。

全土アルプス山系幹脈の交叉する處にありて、歐洲中央の分水界をなし、ローン、ライン、ダニエーブ等、諸河の發源する處は、猶西藏の亞細亞洲に於けるに同じ。○氣候は地高く、且



(圖 之 西 瑞)

つ北に開けるが故に、冬甚だ寒く、谷地は九月の冬、三ヶ月の寒あり、夏亦四面の高山常に冰雪を戴き、漸次融解して、谿谷氷河をなせる處あり。物産は甚だ少なきも、工業は最も盛んに、袂時計の製造は精巧世界に冠たり、我が國へ時計、絹



布、紡績糸、乳香、染料を輸出し、我が國より生糸を輸入す。○住民は獨逸人に同じけれども、外に、佛人、伊太利人等を交ふ、性深く愛國心に富み、勇敢にして能く業を勵み、且つ節儉の美風あり。宗教は獨逸族は新教、その他は多く舊教を奉ず。

ゼ子ヅアは國の首府にして、ゼ子ヅア湖畔に位し、風景殊に佳く、時計の製造を以て著はる、外に、ベルン、バーゼル等の都會あり。交通は四周に沿海なく、内地亦高山多きにも拘はらず、道路能く開け、アルプス山上の大道は、殊に天下の奇觀と稱す。現時、鐵道二千三百哩ありて、四境と交通の便を有す。○政體は二十二州の聯合共和政府を組成し、州會、國會は立法の大權を司り、兩議會の合したる同盟議會を以て、共和國

最高等の政府とし、別に大統領を置かず。文久三年、我が國と條約を結び、墺國駐在の公使その事務を兼轄す

(十) 英吉利

北緯四十九度五十八分—五十八度四十分、東經一度四十五分—西經十度三十分  
面積二萬二千方里、人口三千九百五十萬

英吉利とは歐洲大陸の西北にある島國にして、本來はブリチッシュ群島と稱し、五百有餘の島嶼より成れども、主に大ブリテン及び愛蘭の二大島を以て國を組成す。政治上大ブリテン島を分ちて英蘭、威爾士、蘇格蘭の三州とし、外に愛蘭を一州とす。英吉利とは、元と同名の人種ありて之れに生息せしより、地方一體の呼稱となり、遂に全島の總稱となりたる者にして、眞正の國名を大ブリテン及び愛蘭ユナイテッド・キングダムの合衆王國と云ひ、本國及び海外の領地をブリチッシュ帝國と云ふ。西北は太西洋を繞らし、東は獨逸海を控





(圖 之 利 吉 英)

え、南は英吉利海峡を距て、佛國に對し、アイリッシュ海を以て大ブリッ  
 シと愛蘭とを分かつ。

沿海は東部一様に低平なる砂石なれども、西の海岸は險阻  
 の峭壁高く屹立す、されど、海岸頗る屈曲に富み、處々に大な  
 る海門を開き、内地何れよりするも、二十餘里を出でずして  
 海岸に達す、加ふるに、河口廣く、到る處、殆ど淺瀬なきを以  
 て、良港良浦甚だ多し、屬島は英蘭の南西海上にある、海峡、諸  
 島、南部のワイト島、アイリッシュ海中のマン島、及びアング  
 ルシー島、蘇格蘭西部のヘブリヂー諸島、北部の海上にあ  
 るオーッキー諸島、シェットランド諸島等はその主なる者  
 なり。○地勢は威爾士の地、山巒四方に亂出して處々に深谷



をなし、英蘭は全土三分の二は、概ね低平なれども、蘇格蘭の界をなせる、チエヰグ#オット連丘より分派せるペンナイン山脈、南北を貫き、威爾士のカムブリアン山脈に連続して、北部の分水界をなせり、蘇格蘭は地勢自然に三部に分かれ、(一)クライド海門より東北、ストーンヘヴンに割せる一線の西北は、殊に山地多く、東西に横はれるグラムピアン山脈中の高峯は四千四百尺に峙てり、(二)グラムピアン山脈の東南は、地低く海岸處々に許多の小平原を存し、(三)チエヰグ#オット山脈の北より、中央低野に至る間は、地一般に高原より成れども、その脈低く、處々に窪原あり、愛蘭は海岸殆ど四周に山脈を繞らし、中央は平原全土四分の一を領し、沼澤の地多し。

○英吉利の南端は、我が千島諸島の極北と緯度を同うせるが故に、氣候は一般に寒冷なるべき理なれ共、灣流の作用に依りて、各部大抵温かに、殊に西部は東部より温度高し、その結果は、全島非常に濕氣多くして、周歲雲霧深く、愛蘭の如きは、雨量の夥しき歐洲第一に位し、冬夏共に新緑繁茂せるを以て、碧玉島イラルド、アイルの名あり。○産物は地豊かなるにあらざれども、農業能く進歩せるを以て、農産多く、大麥、小麥は英蘭、蘇格蘭より、燕麥は愛蘭、蘇格蘭より産出し、愛蘭は地味軽く且つ暖かに、濕氣に富めるが故に、馬鈴薯の産出夥し、されど、未だ以て國人の需用を充たす能はずして、食用品は主要の輸入品に位す、牧養は殊に愛蘭に盛んに、牛、馬、羊等より、牛酪、乾酪の

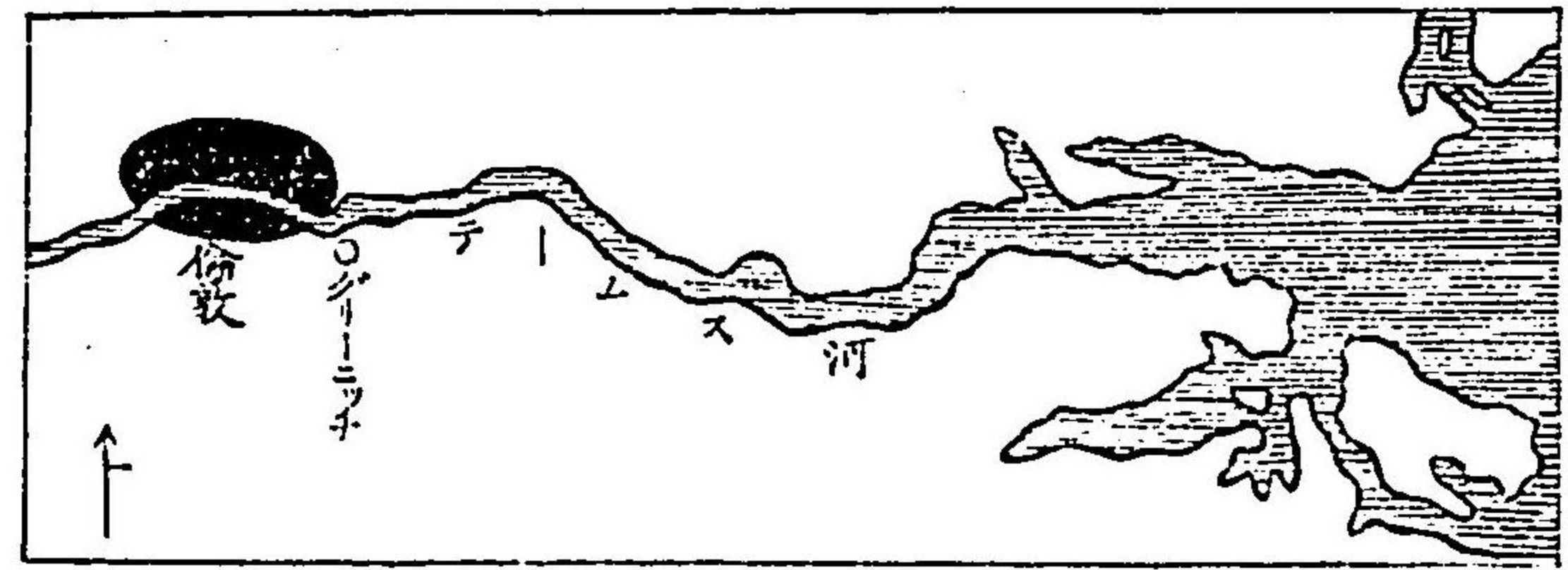


製造は歐洲に名高し、漁業は此の國富源の要部を占め、蘇格蘭の沿岸最も盛んに、鯡、鱈、鯖、鮭、牡蠣等の漁獵あり、鑛物は鐵、石炭、銅、錫、亞鉛等の採掘多く、殊に石炭は炭田の面積凡そ六千方里に達し、一年の採掘一億八千萬噸ありて、世界第一に位し、英國が世界の工業國として、超然獨歩の有様をなせるは、實に鐵、石炭の二大鑛あるによる、工業は綿糸紡績最も盛んに、製糸場はその數三千を超へ、外に、製鐵、毛布、造船、絹布、玻璃、陶器、寶石細工、木細工等の製造は皆精巧堅緻を極む、主要の輸出品は鐵、石炭、綿糸紡績、綿織物、羅紗、麻布、諸器械、鐵道用具等にして、我が國へ綿織糸、生金巾、毛縐子、汽船、鐵道、紡績機、鐵器、條鐵、竿鐵、羅紗、毛布等を輸出し、我が國より米、生糸、生銅、

板銅、絹手布、樟腦、漆器、屏風、安質母尼などを輸入す。○住民はアングル人、サクソン人の混合より成れるケエートン民族にして、多くは農耕を事とするも、商工業に従事せる者甚だ多く、英國商船の旗號は、各國の埠頭に繼らざるなく、商船の數殆ど二萬隻に達し、乗組人二十萬を超ゆ。宗教は概ね新教を奉ずれども、愛蘭には舊教盛んなり。

倫敦は國の首府にして、人口四百四十三萬餘、テムス河口を浜る二十四哩の處に位し、市街は長さ六里より幅四里に亘り、王宮、セントポール寺の圓塔、國會議事堂、ウエストミンスター寺等の建築は壯大美麗にして、テムス河には、二十餘の鐵橋を架し、車馬の旁午、行人の絡繹殆ど織るが如し、就





(テームス河下流之圖)

中、倫敦橋は最も繁劇にして、行人一日平均五十萬に下らず、府の東端にグリニッチあり、その天文臺は此の地の子午線を零度として、地球上の經度を起算す、リヴァプールは人口六十四萬、アイリッシュ海に臨み、綿糸の取引を以て著はれ、マンチエスターは人口五十三萬、綿布の製造を以て名高く、バーミンガムは人口五十餘萬、銃器、軍艦用の鎗、諸鐵器の製造を以て聞え、外に、ニューカッス

ル、エジンバラ、グラスゴー、ダブリン、リーズ、セッフィールド、ベルフアスト等は皆製造、工業、採鑛等を以て著はれ、或は貿易の要區をなす。交通は鐵道二萬千餘哩、運河二千六百哩あり、その内、カレドニア運河は太西洋と北海とを連ね、天下の奇觀と稱せらる。○政體は立憲王政にして、上下兩院を以て立法議會を組織し、地方政治は各自治の制度を施せり。軍備は海軍に最も盛んに、本國を守る者の外、艦隊を分かちて、地中海及び紅海艦隊、海峽艦隊、北米及西印度艦隊、東印度艦隊、支那艦隊、喜望峯及亞弗利加西岸艦隊、太平洋艦隊、濠洲艦隊、亞米利加南岸艦隊の九隊とし、船艦殆ど五百隻、兵員凡そ十萬に達す、されど、陸軍は常備兵の本國にある者十餘萬



埃及、印度及び他の殖民地に駐屯する者、凡そ十二萬人に過ぎず。安政元年、我が國と條約を結び、倫敦に公使館及び領事館を置き、リヴァプール、グラスゴーには各名譽領事あり。

英吉利の領土は世界の四方に散在し、面積凡そ百九十萬方里ありて、實に全地球の六分の一を占め、太陽終年領土の上より没するとなく、人口亦合せて三億五千萬に近く、殆ど歐洲全部の人口と同じ、その領土の主なる者を擧ぐれば、

歐羅巴洲にては、

海峽諸島、ジブラルタル岩、マルタ島等、

南北亞米利加洲にては

加奈多、ニュー、ファンランド、バハマ諸島、ジャマイカ島、ギアナ、トリニダッド島、ホンデユラス等、

亞細亞洲にては

印度、緬甸、海峽殖民地、亞丁、香港、錫蘭、亞富汗及び比耳路斯坦、サイプロス島等、

亞弗利加洲にては

ケープ、コロニー、ナタル、ゾールランド、中央亞弗利加、南亞弗利加、東部亞弗利加、セント、ヘレナ島、マウリシアス島、アッセンション島、ナイジャール河岸等、

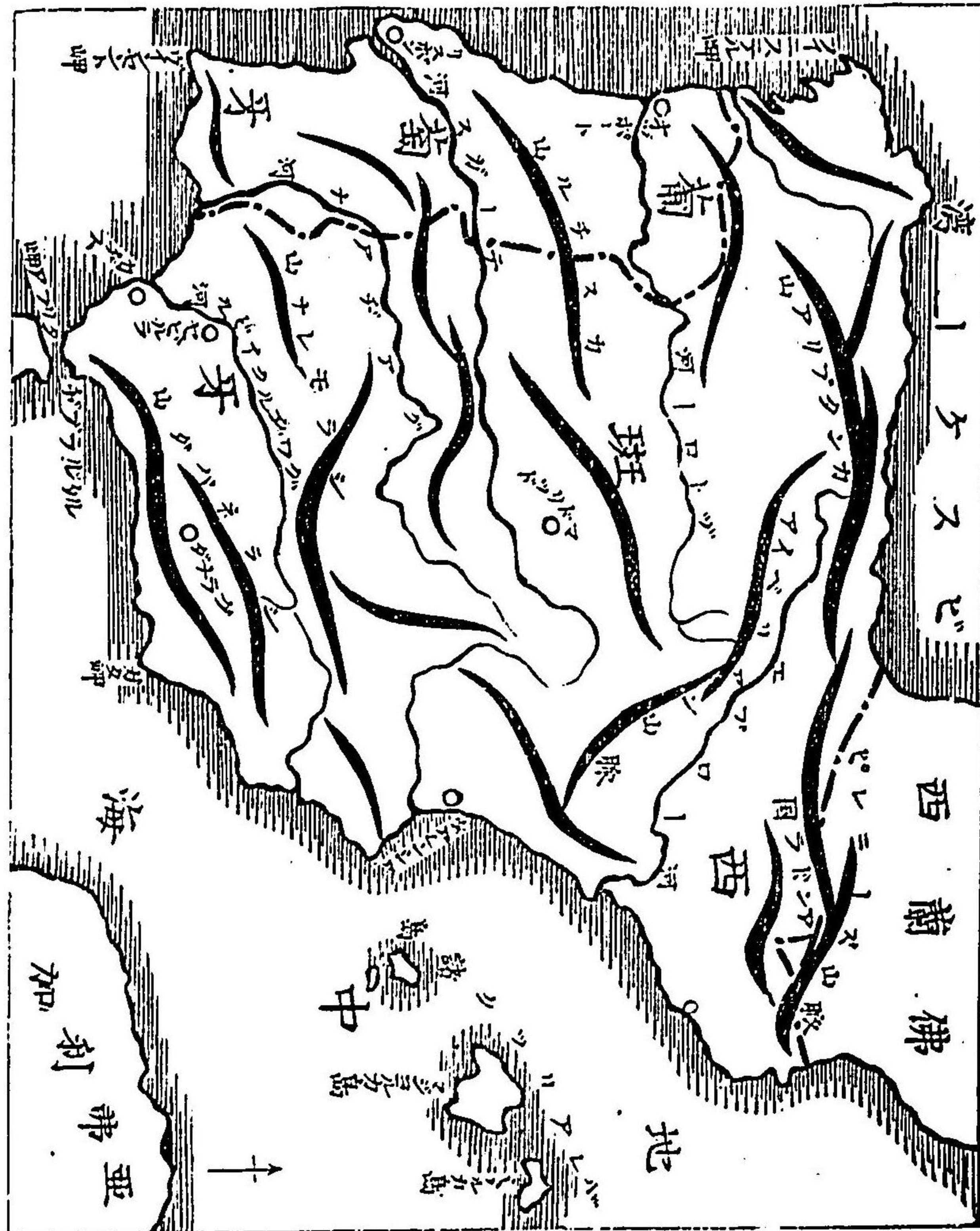
大洋洲にては

濠洲大陸、タスマニア、ニューシラランド、フ#ジー群島、ニュー、ギニア島の一部等とす。



(土) アイベリア半島  
 北緯三十六度—四十三度、東經九度二十分—西經九度三十分  
 面積西班牙は三萬三千方里、葡萄牙は五千五百方里  
 人口西班牙は千八百萬、葡萄牙は四百七十萬

南歐の西端、洋装婦人の頭部を占むる處をアイベリア半島と云ひ、又單に半島と稱す、東北の一隅僅かに佛國の地績をなせる外、四周に海を繞らし、北緯四十度線恰も中央を横斷す、分ちて西班牙、葡萄牙の二國とし、面積合せて三萬八千五百方里、人口凡そ二千三百萬あり、地勢は北にピレニウス山脈を以て佛國を劃り、その西端更にカンタブリアン山脈に連なり、ビスケー灣に沿ひ、西に走り、フニステル岬に盡き、内地はアイベリア山脈、東部を南北に亘り、餘脈西に分かれ、エブロー、ゾーロー、テーガス、グラ



(圖之島半アリベリア)

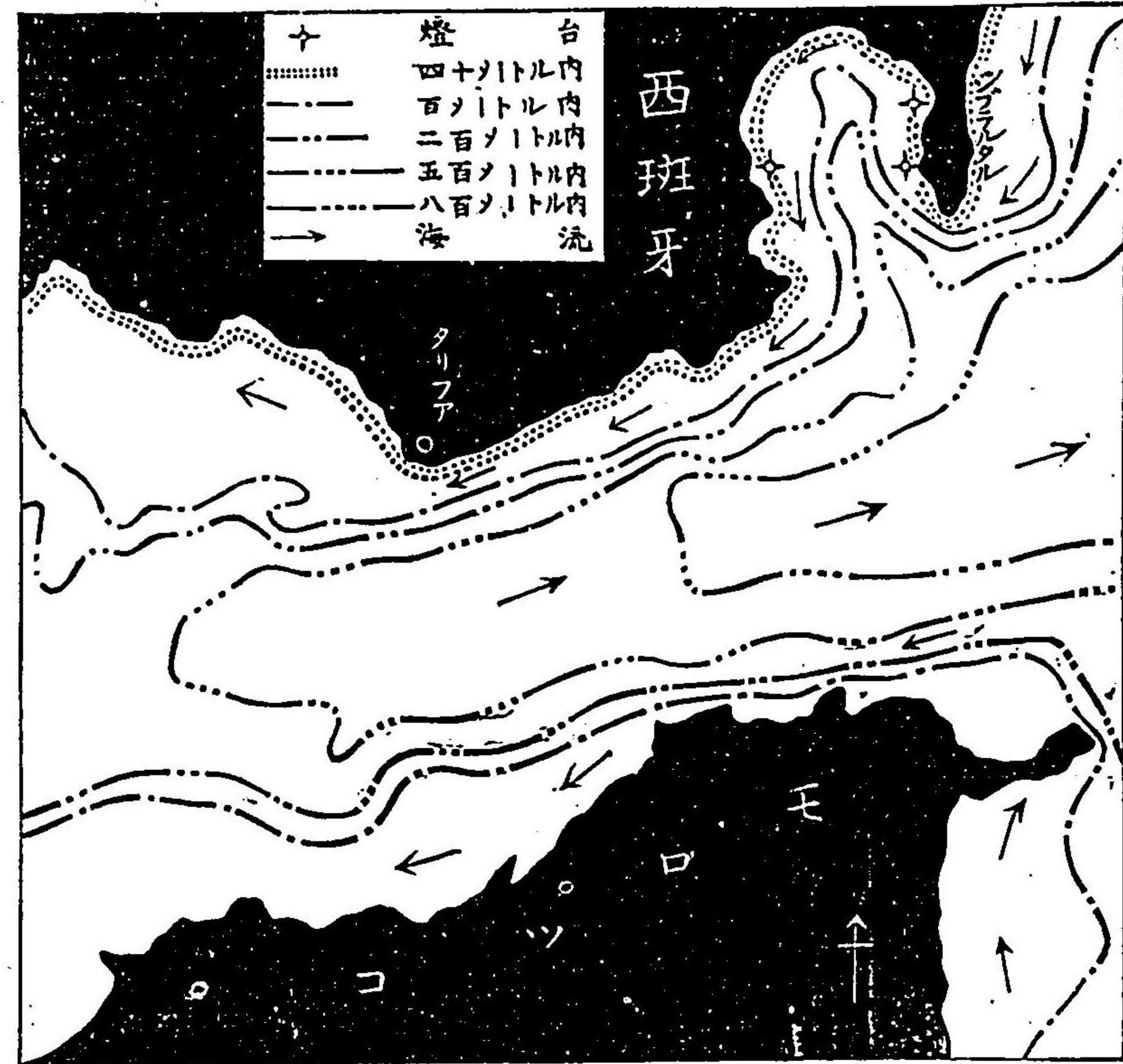


デアナ、グアデルクイヴ等諸流の分水界をなせるを以て、北に高く南に低く、大部は二千五百尺以上の高原より成り、僅かに沿岸及び河領處々に低地を存す。○氣候は西班牙の地、亞弗利加より來る熱風を受け、南部は暑さ甚だ強く、中央高地は寒暑頗る懸隔せり、されど、葡萄牙は洋流の感化を受け、氣候一般に暖かに、雨量多し。物産は耕地の少なきに拘はらず、國民多くは農業に従事し、米、麥、玉蜀黍、甘蔗、馬鈴薯、葡萄等を出だし、特に葡國は葡萄の培栽到る處に適し、葡萄酒は世界の最上等に位し、年々二百三十萬石の醸造あり、鑛物は西班牙に水銀、鐵最も多く、外に、石炭、銅、鉛、硫黃、食鹽等あれども、採掘未だ著しからず、我が國へ輸出する者は西班牙よ

り水銀、葡萄酒と、葡國より葡萄酒とあり、我が國よりは、扇子、團扇、陶磁器等を西班牙へ輸入す。○住民は二國共に羅甸民族、チュートン民族の混合より成れども、外に、亞弗利加人、黑人を交ふ。宗教は信教の自由を許せども、舊教最も能く行はる。

マドリッドは、西班牙の首府にして、人口四十七萬、中央高地に位し、全府方形にして、周回に城壁を繞らし、王宮、美術館、武庫、圖書館、闘牛場等の觀るべき者多く、外に、バルセロナ、ヴァレンシア、セヴルラ、マラガ、カヂズ等の都府あり、殊にバルセロナは、西國第一の海港にして、貿易盛んに、絹布、綿布の製造あり、カヂズは、コロムブズが亞米利加發見の時、解纜せし





(圖之峽海ルタルラブジ)

所なるを  
 以て知ら  
 る、リスボ  
 ンは葡國  
 の首府に  
 して、テ  
 ガス河口  
 に位し、葡  
 萄酒の輸  
 出盛んな  
 り、オポ

ルトは又ポールトと稱しポールト酒の産地にして、葡萄酒  
 輸出の本場なり。ジブラルタルは西班牙の南端にある、二方  
 里に充たざる小岬にして、地中海の咽喉に當り要害の地た  
 り、西曆千七百四年以來英國に屬し、砲臺を築き守備兵を置  
 けり。  
 政體は共に立憲王政にして、各上下兩院を以て立法議會を  
 組織し、西班牙は明治元年、葡國は萬延元年、我が國と通商條  
 約を結び、佛國駐在の我が國公使二國の事務を兼ね、されど、  
 二國共に我が國に交通せしこと古く、西班牙は織田氏の頃  
 より、葡國は足利義晴の治世より、我が國に來りて貿易せり、  
 我が國に天主教を傳へしは、實に葡國人より始まる。



二國共に、往時、國勢盛んなる時に當りては、領土廣く世界の各部を占有せしも、次第に衰ふると共に、多くその領地を失ひ、西班牙は馬來群島のスールー諸島、南洋のカロライン諸島、及び亞弗利加西岸のカナリー諸島の外、近時、米西戰爭の結果、西印度諸島のキューバ、ポートルコ、馬來群島中比律賓諸島の統治權を失ひ、葡國は亞弗利加の沿岸諸州、印度のゴア、支那の瑪港、南洋のチモ、群島、大西洋東部のアゾール、マデイラ群島を合せ、面積十二萬餘方里、人口五百四十餘萬を有せるに過ぎず。

(三) 伊 太 利

北緯三十六度四十分—四十六度四十分、東經六度四十分—十八度三十分  
面積一萬八千五百方里、人口三千百餘萬

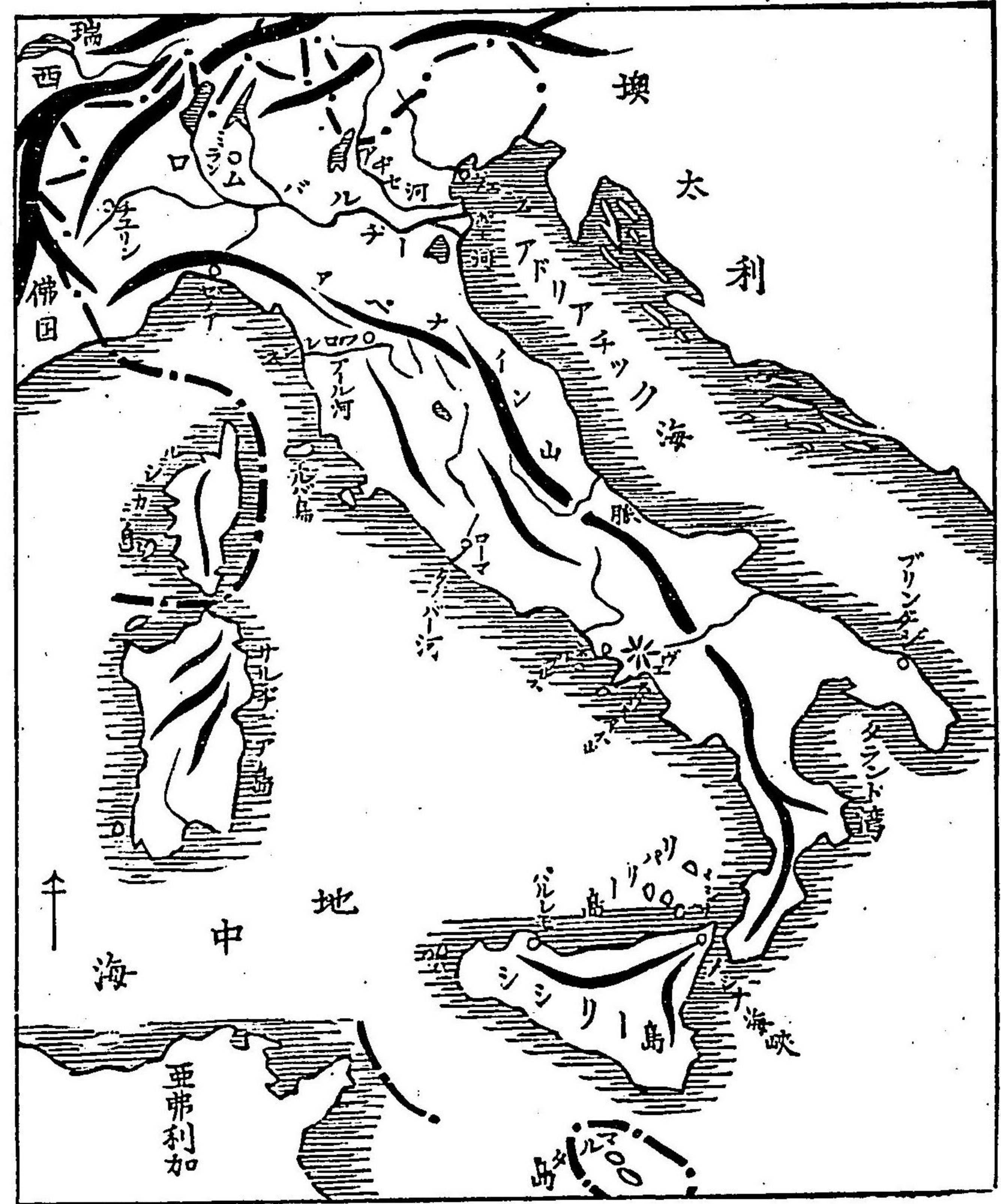
伊太利は地中海の中央に斗出して、長靴の狀をなし、靴踵はオトラントー海峡を距て、バルカン半島を受け、趾端はメッシナ海峡を距て、シ、リ

一島を蹴るに似たり、境域大陸と連なる處は、埃太利、瑞西、佛國に交はり、三方全く海に面し、地中海に横はれるシ、リ、サ、チ、ニ、ア、エ、ル、バ、リ、バ、リ、の諸島は本國の屬島とす。

地勢はアルプス山脈は北より西に峙へ、アペナイン山脈は半島の中央を蛇行せるが故に、全地殆ど平野少なく、獨りポ—河領のロムバルデー平野は農業能く開け、歐洲第一の穀產地と稱す。○伊太利は有名なる火山國にしてアペナイン山脈中には、處々に活火山多く、就中、チープリス灣に臨めるヴェスヴ#アス山の如きは、拔海三千九百尺なれども、古來烈しき噴煙をなし、熔岩を流し、土灰を降らし、四近に大害を及ぼせり、殊にチープリス府の近傍には、古へヘルキエレニア、及びポムペーの二府ありしが、火山破裂の爲め、全都地



中に埋没し、その後偶然地下にあることを発見し、漸くポム  
 ペー府を發掘して、今は、古考學者の參考に資す、又シリ  
 島のエトナ山は古來地中海の燈臺と稱せられ、リパリー諸  
 島のストロムボリー島は全部火山に屬し、斷へず噴煙せり。  
 ○氣候は冬期、アルプスの山嵐、北部に強く、南部は夏期熱風  
 亞弗利加より吹き來り、人身の健康を害することあれども、  
 中部は氣候の温和なる、天空の清朗なる、山水の明媚なる、四  
 時春の如く、世界の樂園と稱す。物産は小麥、米、玉蜀黍、葡萄、麻、  
 煙草等の農産最も多く、桑樹は北方の風土に適し、蠶糸は此  
 の國第一の物産に位し、常に我が國の蠶糸と、歐洲市場に競  
 争す、牧養は北部に盛んに、乾酪の製出夥し、鑛物は硫黃、大理



(伊太利半島之圖)



石最も夥しく、外に銅、鐵、鉛等を出だし、我が國へ葡萄酒を輸出し、我が國より生糸、米、熨斗糸、扇子、陶器、漆器等を輸入す、されど、絹織、製絨及び美術品は最も精巧を極め、歐洲諸國と貿易の要部を占む。○住民の多數は羅甸民族の後裔なれども、スラヴ、オニツク民族、チエートン民族、亞拉比亞人等を交へて、今日の伊國人をなし、一般に美術思想に富み、音樂、彫刻、繪畫、建築等の技藝に堪能なり。宗教は舊教を國教とすれども、又信教の自由を許す、されど、羅馬法王の住める所にて、國民多くは舊教を信ず。

羅馬は國の首府にして、人口四十七萬、世界になき繪畫、彫刻或は各時代の遺物等を集めたる博物館より、法王の住める

ヴァチカン 宮殿、聖彼得寺、セント、アンゼロの古城等は、實に天下の大觀なり、外に、チープリス、ミラン、パレルモ、ゼノア、フローレンス、ヴェニス、メッシナ、チエーリ、ブリンジシー等の都會あり、就中、チープリスは國內第一の大都にして、人口五十三萬、ヴェスヴァス灣畔に立ち、風景絶佳なり、ミランは市街美麗にして、小巴里的の名あり、ゼノアはゼノア灣に臨める海港にして、古ヘコロムブスが生れし所を以て知られ、今は國の軍港となりて堅固なる砲臺あり、フローレンスはアルノー河畔に位し、麥稈眞田及び絹布の製造盛んなり、ヴェニスはヴェニス灣頭七十二の小島上に跨り、長橋を以て大陸と連なり、鐵道その上を通ず。○政體は立憲王政にして、

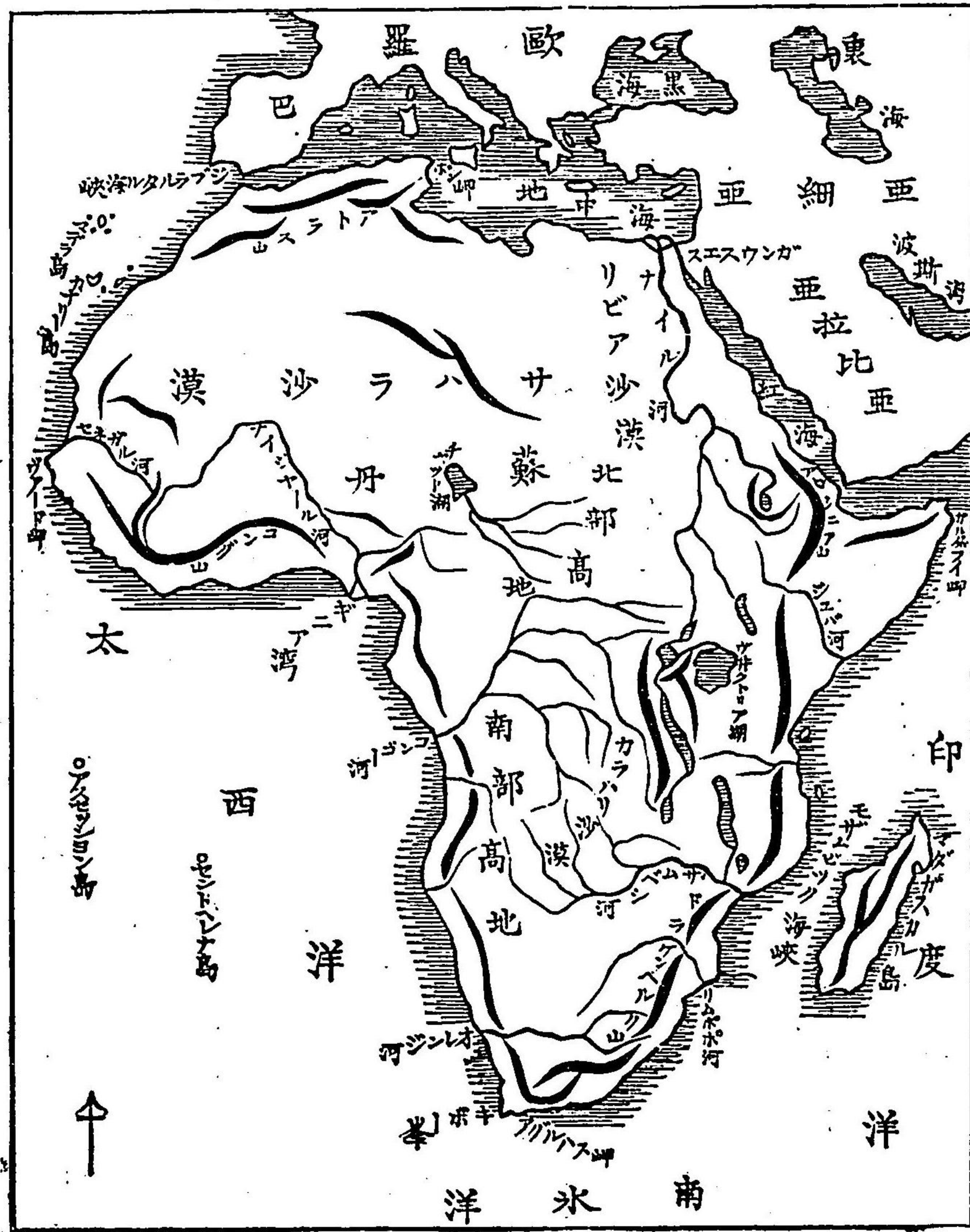


上下兩院を以て立法議會を組織し、軍備は三十萬の常備兵  
 こ、二百五十餘隻の船艦を備へ、國運の進歩著しきも、兵備過  
 大の爲め財政困難なり、慶應二年我が國と條約を結び、羅馬  
 に我が公使館を置き、ヴェニス、パレルモ、ゼノア、メッシナ、ミ  
 ラン、チーポルス、羅馬には各名譽領事あり。

第五章 亞弗利加洲

北緯三十七度二十分—南緯三十四度五十分廣き所  
 二千三百餘里  
 東經五十一度二十二分—西經十七度三十二分廣さ  
 に同じ  
 面積百九十二萬方里人口一億六千四百五十萬

亞弗利加は歐羅巴の南に位して、赤道の南北に跨り、北は地  
 中海に臨み、東北は蘇土地頸を以て亞細亞に連なり、東は一



(圖之加利弗亞)



面は紅海に、一面は印度洋に瀕し、南は南氷洋に延び、西は大西洋に洗はる。

地勢は一帶に南より北に低く、サハラの大沙漠は北部を横断して、廣さ全土の四分の一を占め、更に南にカラハリ沙漠に連なり、地高二千尺より三千尺に達する一様の高臺なれども、四周の海岸は西北にアトラス山脈、西より南にコン山脈、東南に月山脈、東北にアピシニア山脈を繞らして、海洋に内陸を遮ざるを以て、洲内到處氣候悪しく、雨量の缺乏は終に廣大なる沙漠となり、内外交通の不便は、永く本洲をして闇黒世界と呼はしめし者にして、僅かに、山脈以外の海岸地方のみ、稍低平なる原野を存す、分かちてナイル地方、バ

ーバリー地方、ギニア地方、南部亞弗利加地方、東部亞弗利加地方、中部亞弗利加地方、東岸諸島、西岸諸島の諸部とし、政治上埃及、ヌビア、埃及蘇丹、アピシニア、モロッコ、アルゼリア、チュニス、トリポリ、サハラ沙漠、蘇丹、コンゴ自由國、上、下ギニア、ザンベシア、ソマリ、英領東亞弗利加、獨領東亞弗利加、葡領東亞弗利加、ケーブコロニー、獨領西南亞弗利加、英領ベナン、アラナ、トランスヴァール、オレンジ自由國、ナタール、マダガスカル等、許多の邦國に區劃し、面積百九十二萬方里、人口一億六千四百餘萬あり、されど、完全なる獨立國なく、大抵歐洲諸國の屬地となり、然らざれば、邦國の體を備へざる小部落たるに過ぎず。



(一) ナイル地方

ナイル地方は亞弗利加の東北、ナイル河領に屬する諸國を稱し、北は地中海に臨み、東は紅海に沿ひ、蘇土地頸を以て亞細亞に接し、西は蘇丹及びサハラ沙漠に至る、分ちて埃及、ヌビア、埃及蘇丹、アビシニアとし、面積凡そ二十六萬四千方里、人口千百八十餘萬あり。

(イ) 埃及

面積六萬六千餘方里人口六百八十餘萬

埃及はナイル下流の沖積層地に位し、北は地中海より、南は北緯二十一度四十分のワデー、ハルファに、西はリビア沙漠より、東は紅海の沿岸に達し、東北は蘇土地頸を距て、亞細亞に地績をなす、分ちて上埃及、下埃及の二部とす。

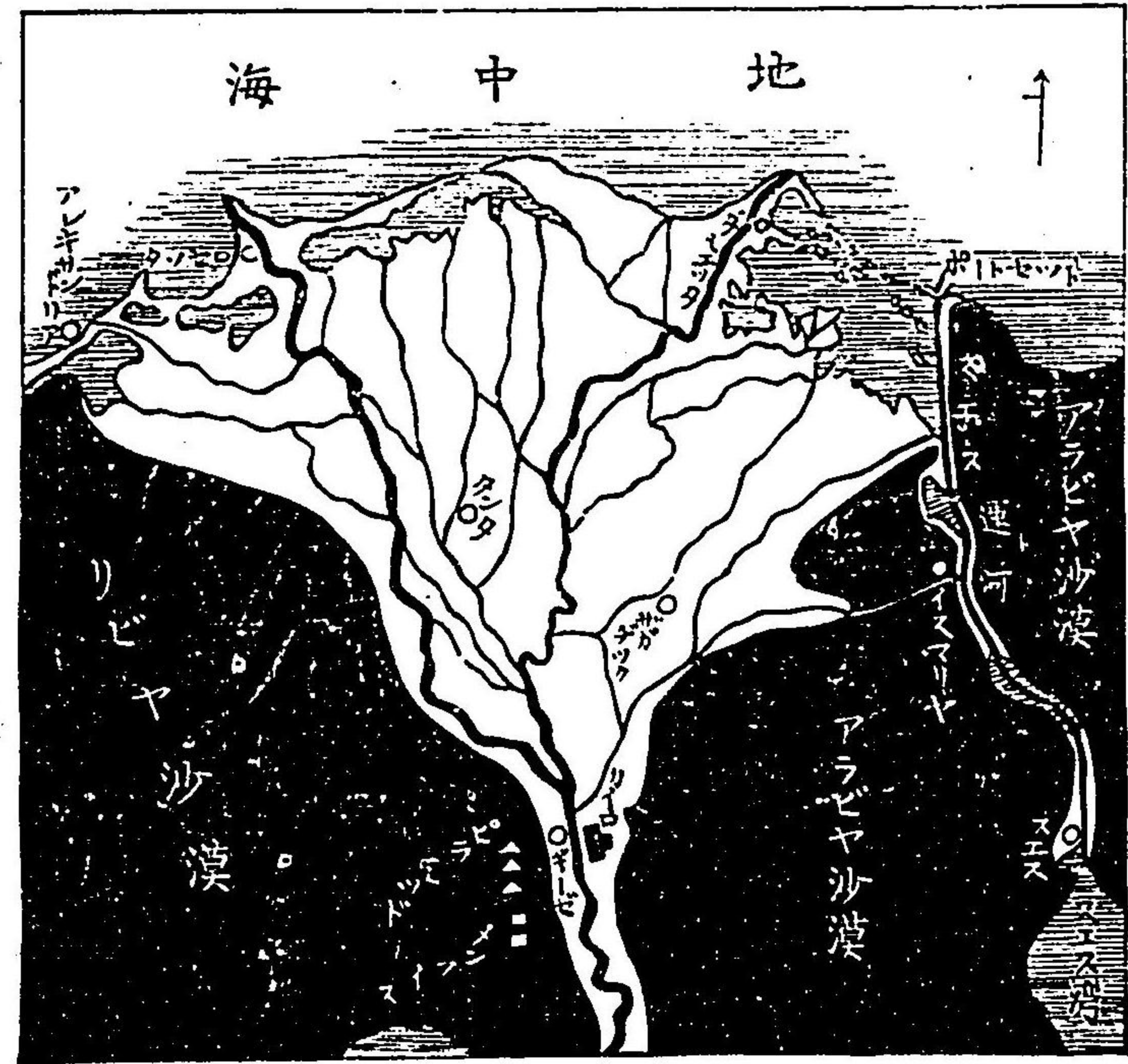
地勢は紅海沿岸の山地を除けば、大抵亞拉比亞、ヌビア、リビア沙漠より成れども、ナイル河領はアビシニア地方半年風



(圖之埃及)

の結果により、毎年新土を供給し、地味を肥やすを以て、別に肥料を用ゐずとも、農産物能く豊熟し、埃及はナイルの賜な





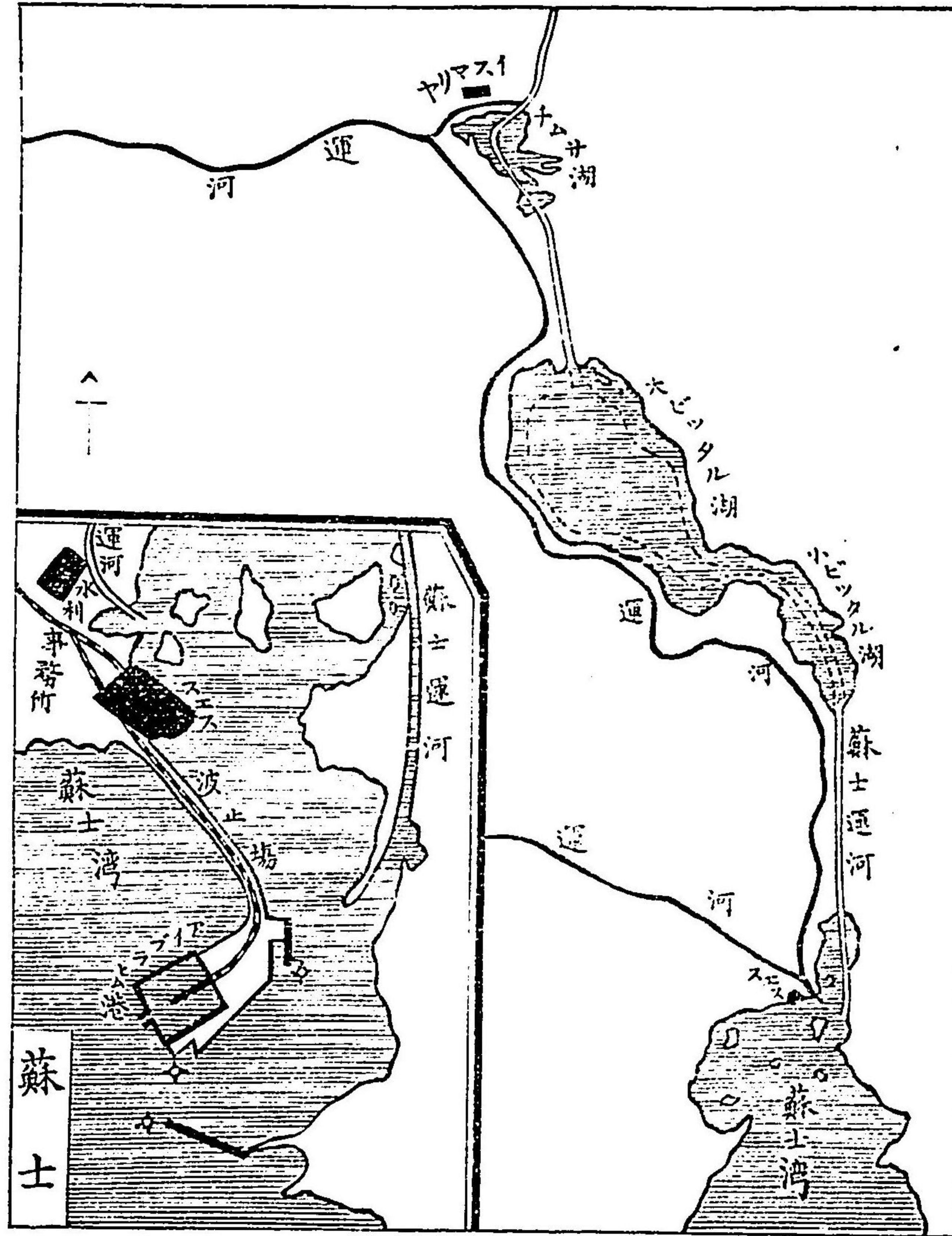
(圖 之 洲 角 三 ル イ ナ)

りこは古へより人の唱ふる所なり。○氣候は降雨少なきが上にサハラ地方より熱風吹き來り、暑氣強く空氣乾燥し、上埃及は鶏卵を沙中に埋むれば自然に熟す、産物は米、麥、砂糖、藍、綿

椰子、葡萄等の外、牛、馬、驢馬、羊等あり。○住民は古埃及族、亞拉比亞族、土耳其族等の子孫多く、大抵農業を事とし、皆亞拉比亞語を用ふ。宗教は回教最も盛んに、外に、耶蘇教の一派ユプト宗を奉ず。

カイロは全國の首府にして、ナイル河領に立ち、盛んに歐亞の物産を取引す、その他、アレキサンドリア、ダミアッタ、ザガヂッタ、ロセッタ、ポートセッド、蘇士等の良港あり。交通は鐵路、千百七十哩あり、その内、八百九哩は三角洲平原に敷設す、ナイル河は舟航自在にして、小舟は遠く上埃及の南境に浜り、蘇士運河は紅海と地中海とを連れ、船舶の航行頻繁なり。蘇士運河は佛人レセップ氏の設計せし所にして、竣工十數

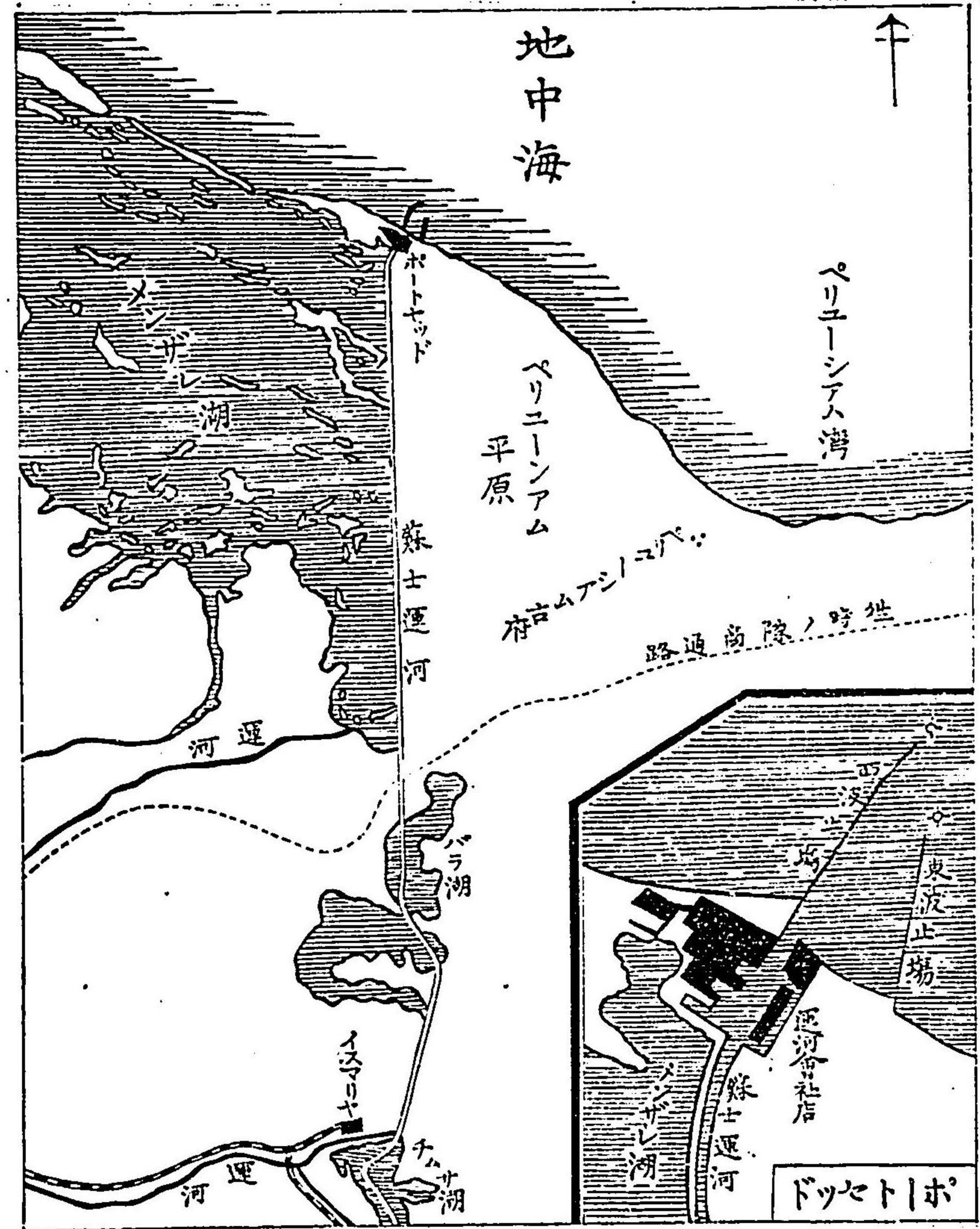




(圖之口南河運士蘇)

年を要し、西曆千八百六十九年、始めて開通す、北は地中海の  
 ポート、セッドに起り、南は蘇士に達し、全長三十八里、幅七十  
 二尺、深さ二十四尺ありて、三千五百噸の汽船も吃水二十四  
 尺を超へざれば、容易に通行するを得、船舶の此處を通過す  
 る者、毎年凡そ三千三百隻ありて、その四分の三は實に英國  
 の船舶とし、一ヶ年船舶の通過料は一億三千万圓以上に及  
 ぶ。○蘇士運河の完成せざる以前は、東西兩岸の航通は、一に  
 ヴァスコ、ド、ガマ氏が、西曆千四百九十七年に發見せし喜望  
 ヴリシアス島へ航行十一日、夫よりナタルへ八日、ナタルよ  
 りケーブコロニーへ六日、ケーブコロニーより英國のプリ





(圖之口北河運士蘇)

マスへ二十八日を要したりしを、今は、海路五千餘海里を短縮せり、されど、帆船は尙費用の多きを厭ひ、喜望峯を迂廻する者多し。

政體は嘗て憲法を發布し、代議制を組織して稍獨立の體面を備へしも、今に、年々土耳其に朝貢し、又英國の干涉を蒙むれり。

埃及は西曆紀元前三四千年の古國にして、太古の遺跡は、カイロ府の附近なるピラミッド、メムフ、スフィンクス、維馬岩、シタテル城、コブテックの舊寺、回教の禮拜堂等の名所舊蹟より、往時のセーブス國、カールナック、ルーゾル等の廢墟尋ねべき者多し。

(ロ) ヌビア及び埃及蘇丹

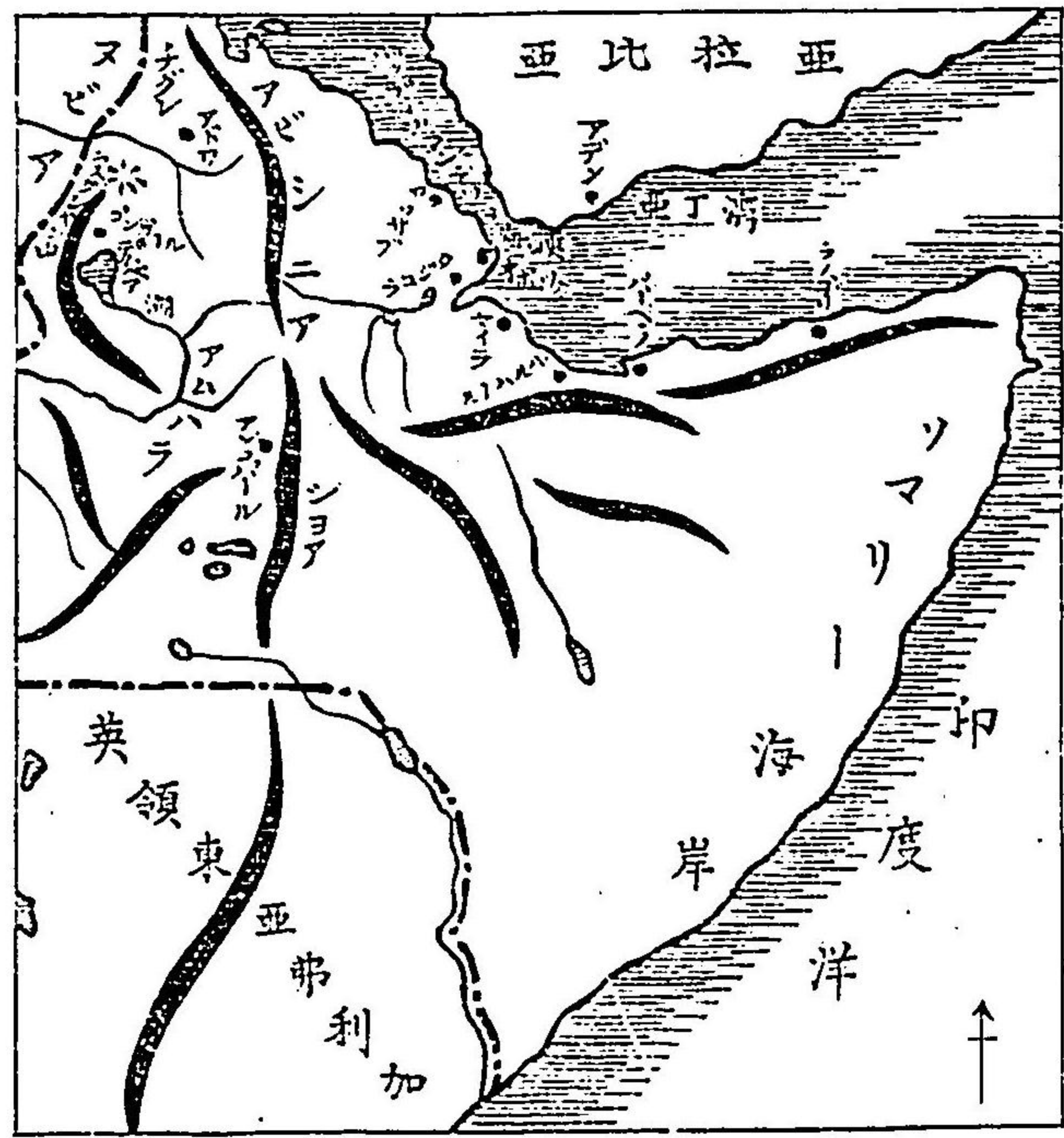
面積合せて十六萬六千餘方里人口一千萬より千二







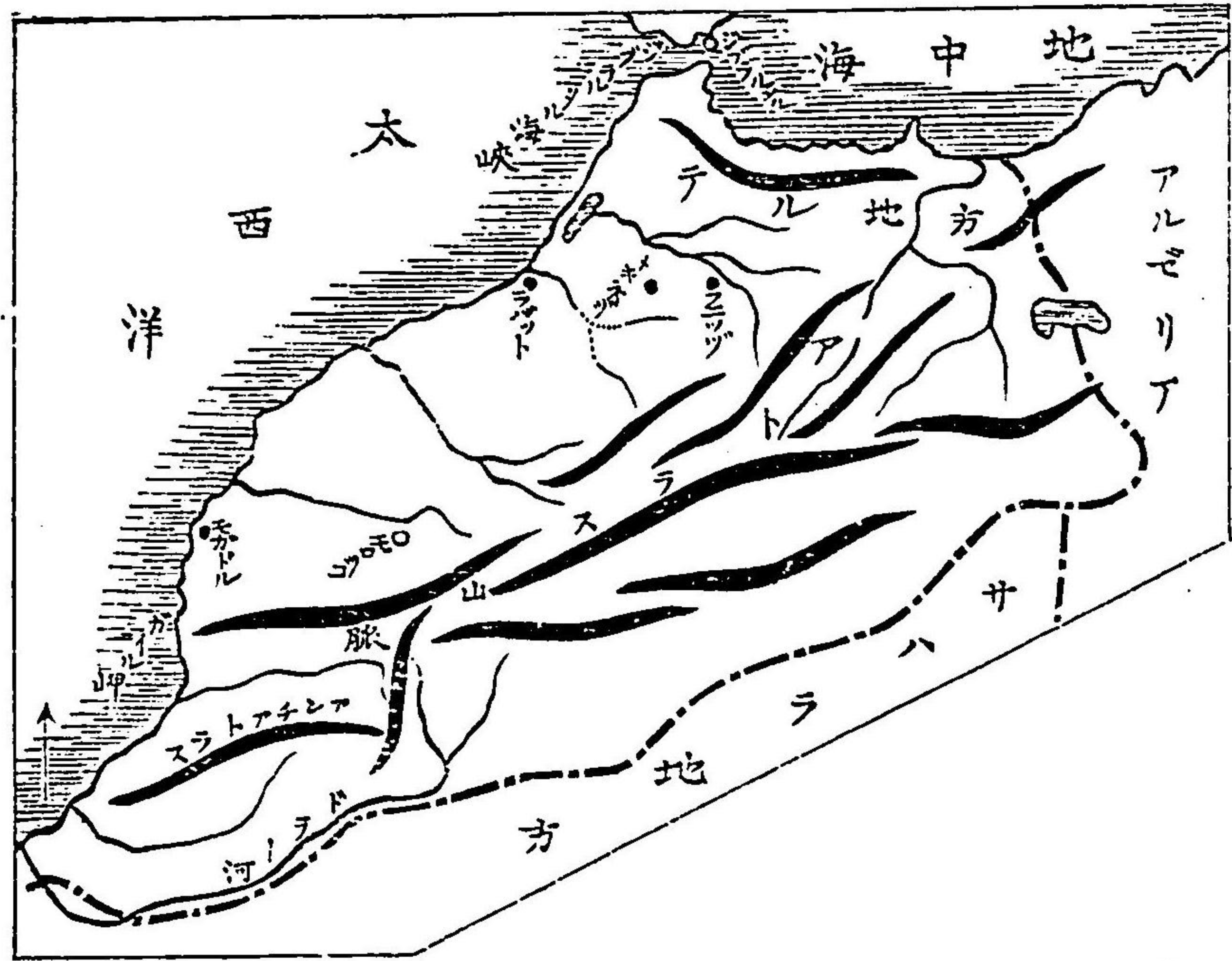
地勢はアビシニア山脈、國中に亘るを以て、地高七千尺の山地をなし、許多の禿山處々に立ち、谿谷その麓を環りて、深き者四千尺に達し、山岳の形狀、一見島嶼の如く、ラスダシアン山は最も高く一萬五千尺に峙ち、テムベア湖は碧ナイルの河源をなせり。○氣候は谷地は溫和なれども、山上は寒さ強く、高原は熱さ劇しく、土地處々に龜裂し、碁盤狀をなせり。物産は、麥、綿、藍、甘蔗、珈琲、葡萄、能く豐熟し、外に、羊、山羊等の牧養盛んに、革皮、象牙、牛酪、護謨、騾等を輸出す。○都會はゴンダール、アグウ、アンコバール等を始め、バツブ、エル、マンデッブ海峡に臨めるタジュラ、オボックの二港は佛國に、アツサハ港は伊太利に屬す。○住民はガラス族の外に、亞拉比亞人あり、



(圖之アビシニア)

生業は大抵牧畜を主とす。宗教は耶蘇教の一派を信じ、又回教、猶太教の信徒あり、國民は貨幣の代りに、マリヤテレサ貝片の外、羅紗、食鹽を流用す。○政體は君主專制にしてアマハラハラの王、全國を治めしが、英國が政府を顛覆せしより、ナグレの王代り立ち、今は、シヨア王





(圖之コッロモ)

内地はアトラス山脈、ガイル岬に起り、東北に亘りて地勢を三分す、北はテル地方と稱し、地低く土肥え、農産物能く成熟するも、中央は山地をなし、南部はサハラ沙漠に連なり、獅子、豹等の猛獣

は大西洋に瀕す。

子レック、全國を統へ、伊國と條約を結びその保護國となれり。

(二) バールバリー地方

バールバリー地方は地中海に沿へる亞弗利加の北部を稱し、北は地中海に臨み、東は埃及に界し、南はサハラ沙漠に續き、西は大西洋に瀕す、モロッコ、アルゼリア、チュニス、トリポリの四部に分かれ、面積十四萬餘方里、人口千二百萬あり。

(イ) モロッコ

面積三萬六千五百方里人口五百萬

モロッコはバールバリー地方の最西に位し、北はジブラルタルの海峡を距て、<sup>スペイン</sup>に對し、東はアルゼリアに界し、南はサハラ沙漠に連なり、西



巢窟をなす。○氣候は低地は温かに、降雨多きも、漠地は一般に熱し。物産は家畜類より玉蜀黍、豆、護謨、羊毛、棗、橄欖等多く、英國この貿易最も盛んなり。○住民は北部に亞拉比亞族のムール種多く、農商を事とし、山地にバーバル族天幕に住し、僅かに農を營む。宗教は回教最も能く行はる。○モロッコは、全國の首府にしてアトラス山麓に位し、フェツツはモロッコ府の東北に立ち、回教々徒の靈地なり、外に、メキチツツ、タシール、モガドル等稍大なり。○モロッコはバーバル諸國中、唯一の専制君主國にして、總理、内務、外務、宮内、大藏、稅務の六大臣政務を輔け、最も政事固陋なり。

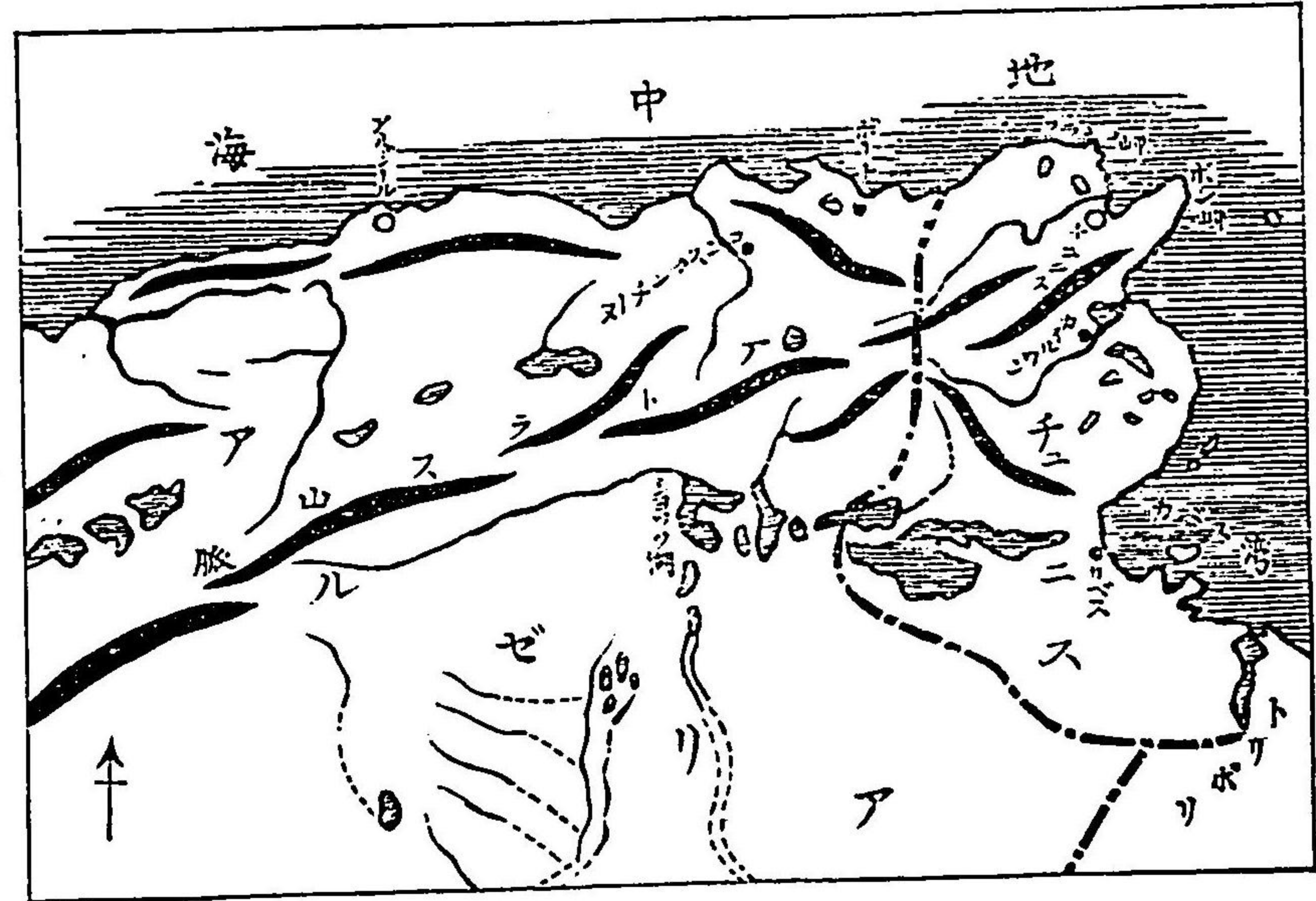
(ロ) アルゼリア

面積三萬八百方里人口四百二十萬

アルゼリアは東はチュニス、トリポリと、西はモロッコとの間に挟まり、南はサハラ沙漠に連なり、アトラス山脈中央を横ざる。

地勢はモロッコと同じく低地、山地、沙漠の三部に分かれ、テ  
ル地方は土肥え水灌ありて、殊に稻作に適し、南部の沙漠を  
アルゼリアン、サハラと稱し、山地は森林多し。氣候は北部は  
温かなれども、南部は熱さ殊に劇し。物産は米、麥、綿、橄欖、烟草、  
橙を主とし、アトラス南麓のシヨツ湖畔には、製紙の原料  
たる、アルファ草能く繁茂し、主要の輸出品たり、貿易は佛國  
と最も多く、英國、西班牙之に亞ぐ。○住民は大抵モロッコ  
同じきも、亞拉比亞族のベド井ン種の遊牧せる者あり。宗教





(圖之スニユチバ及アリゼルア)

は回教最も能く行はる。○アルジールは國の首府にして、中央の北岸にあり、外に、オリシ、コンスタンチン、ヌ、ポーチ等の都會あり。○全土佛國の領地にして、太守を以て地方を治め、サハラ地方は、佛國第十九師團の統轄に屬す。

(ハ) チュニス

面積七千五百方里人口百五十萬

チュニスはアルゼリアの東北に位し、北より東は地中海に面し、地勢、氣候、人種、宗教等はアルゼリアと同じ。

物産は農業能く行はれ、麥、アルファ草、橄欖、護謨、羊毛、絨布、革皮、海綿等を主とし、又家畜の牧養盛んなり。○チュニスは、國の首府にして、チュニス湖畔に立ち、絹布、毛織物の製造盛んなり、府の西北にカールセーシの遺跡あり、カイルワンは國の東部にある回教々徒の靈地にして、此に七日滞在せば、その功德メッカに一日滞まるに異ならずと稱す。政體は獨立の王國なれども、佛國の保護を受け、本國より隊兵を派す。



## (二) トリポリ

面積六萬六千五百方里人口百三十萬

トリポリはバルバリー諸國の極東に位し、東は埃及に界し、南はサハラ沙漠に續き、西部の海岸は土肥え、麥、綿、藍、煙草、橄欖、葡萄の産あれども、東部は不毛の沙原をなし、中央以南は地高く、ジエベル、エス、ソーダ及びハルツシユの連山となり、以南は低くフェザンの膏地をなせり。○氣候は寒暑の差つよく、夜間は殊に寒冷なり。住民は大抵亞拉比亞族にして、多くは回教を奉ず。○トリポリは、國の首府にして、西北海岸に位し、隊商は、駝鳥の羽毛、象牙、沙金、奴隸等を此に集め歐人と交換す、外に、ムールツツクの小都あり。政體は名義上、土耳其に屬し、本國派遣の太守政治を行ふも、その實獨立の君主を仰ぎ、朝貢をなさず。

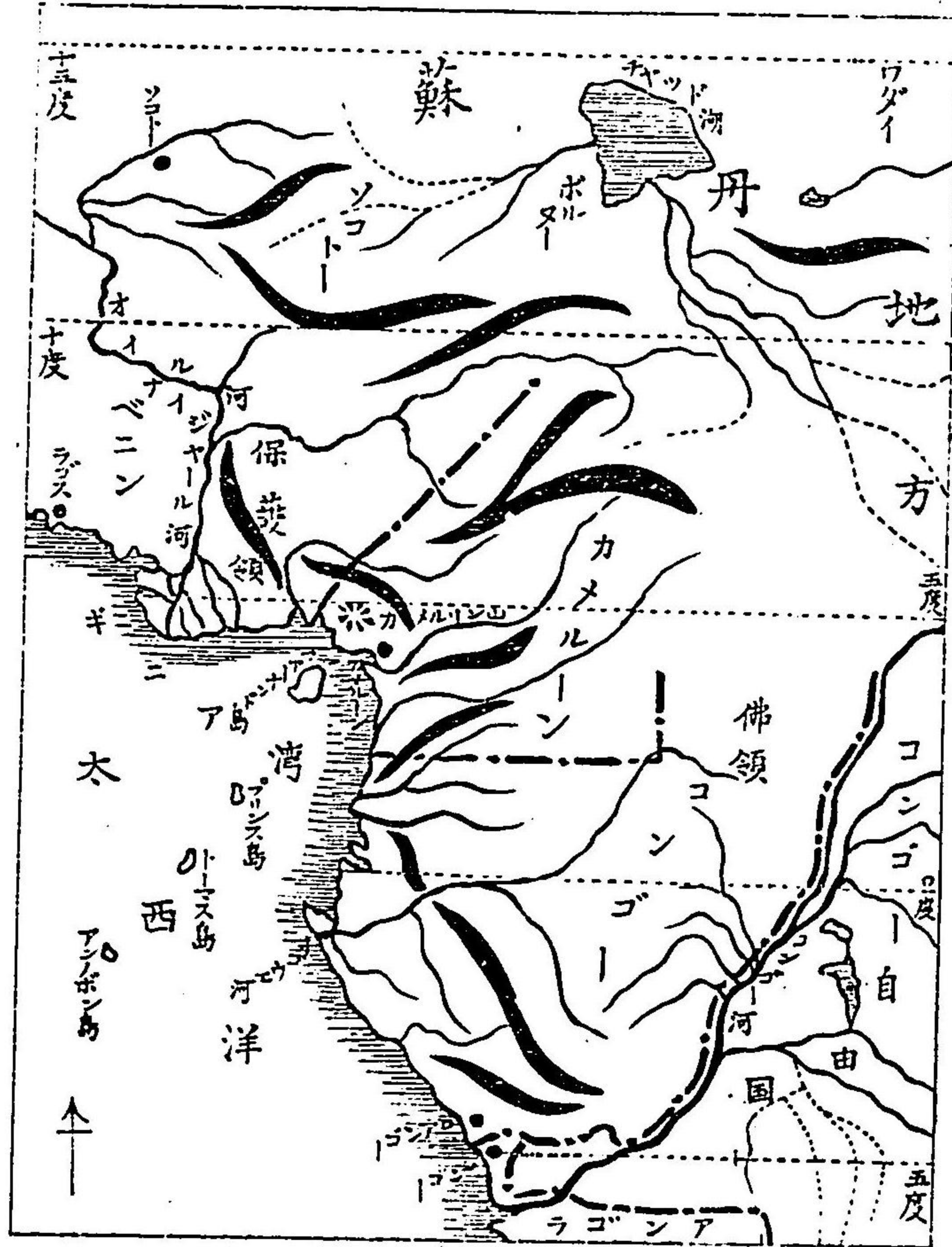
## (三) ギニア地方

ギニア地方は亞弗利加の西部沿岸諸國を稱し、ギニア灣を中央とし、北はセ子ガル河より、南は南緯十八度なるク子ニ河に至り、セ子ガムビア、上、下ギニアの三部に分かるも、多くは、英、獨、佛、蘭、葡の領土となり、然らざれば、その保護を受け獨立する者なし。

セ子ガムビアはセ子ガル河の左岸より、グアード岬を經、北緯十度に至る三百五十餘里の海岸地方を稱し、面積六萬五千方里、多くは佛國に屬す、されど、ガムビア河の左岸はガムビアと稱し、英國に屬し、外に、少許の葡國殖



民地あり、物産は護謨、椰子油、蠟、落花生、獸皮、珈琲、米等を主とす。セネガール地方の南は、上ギニア地方にして、沿海百五十里の間をシエラレオンと稱し、面積二萬五千方里、人口二十萬、英國の殖民地に屬し、黒人之れに住し、椰子油、落花生、護謨、獸皮を産す。その東の沿海二百餘里の間をグレーン海岸と稱し、面積二千四百方里、人口百六萬、内にリベリア國あり、大抵黒人の住める所なれども、元と米國にて勞働せし奴隸が創立せし共和國にして、制度を米國に取り、大統領を選び議會を設け、珈琲、椰子油、砂糖、象牙、護謨を産す。リベリアの東、凡そ四十里を象牙海岸とし、佛國に屬す、その東の百四十餘里は金海岸にして、面積二千六千方里、人口百九十萬、英國の殖民地に屬し、黒人の外、英佛等の殖民あり、金、椰子油、護謨を出だす、金海岸の東、凡そ百里の間を奴隸海岸と稱し、面積百八千方里、人口十萬、英の殖民地なれども、内に少許の獨逸領あり、椰子油、象牙、護謨、綿等を産す。その東の海岸、ピアラ灣に枕めるナイジャール河口の三角洲は、椰子油を海岸に出だす便あるを以て、オイル河保護領と稱し、英國之れを管し、椰子油、椰子、護謨、檀香木、



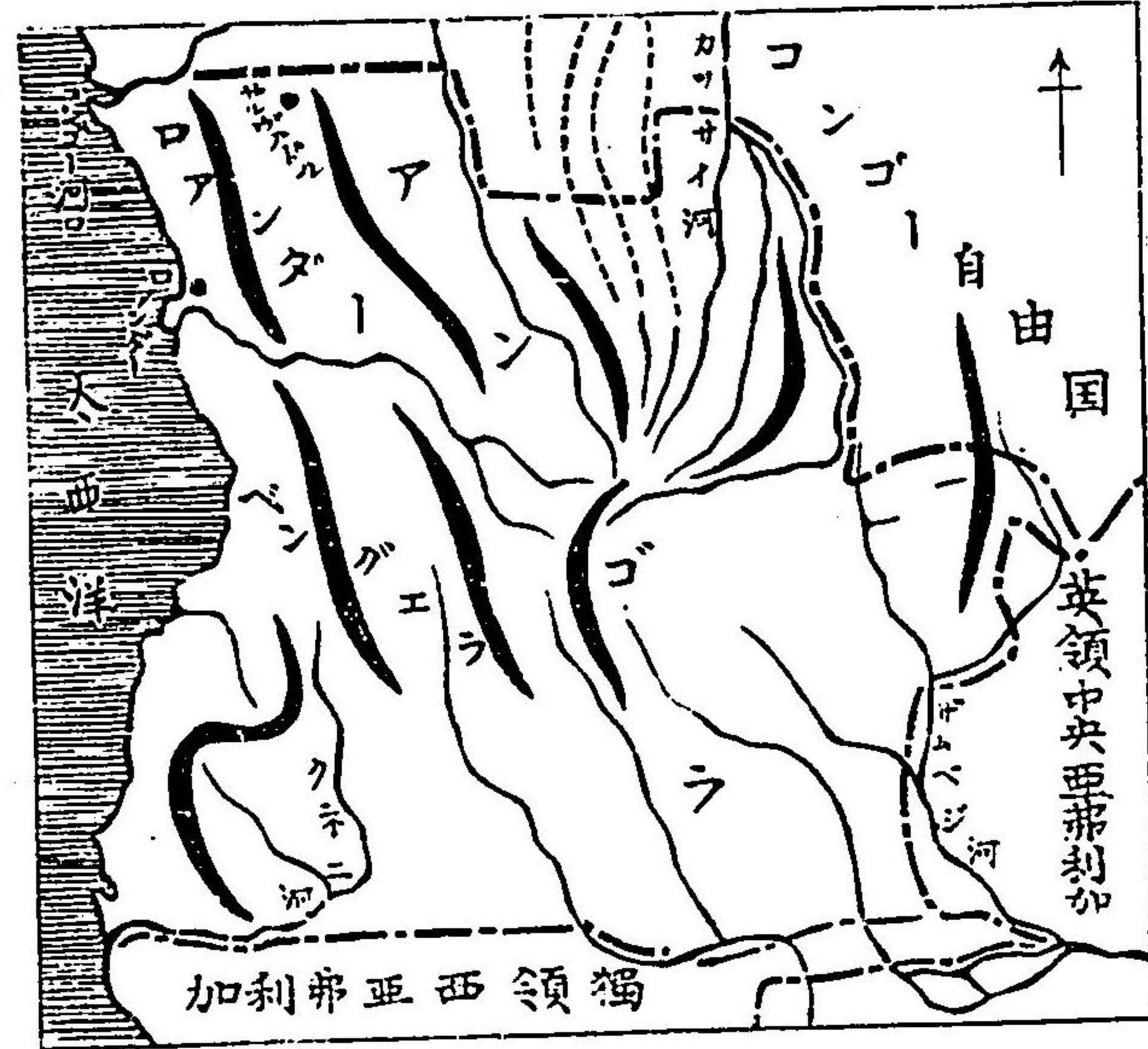
(圖之岸灣アニギ)

度に至り、東はコンゴ河を限る一帯は佛領コンゴにして、面積四萬二

と稱し、  
獨逸の保  
護を受け、  
煙草、カカ  
オの栽培  
に適し、又  
象牙、椰子  
油の輸出  
盛んなり。  
カメルーン  
の南よ  
り南緯五



千餘方里、人口六百九十萬、オゴウエ河を以て上、下ギニアを分かち、南部をガブンと云ひ、西班牙に屬す、南緯五度の南より、コンゴ河口の地はコンゴ自由國の一部をなし、河口の南、下ギニアの一帶をアンゴラ國と稱し、



(圖之國ラゴンア)

面積七萬七千餘方里、人口二百萬、葡國に屬し、象牙を輸出し、又落花生、珈琲、護謨等を産す。

(四) 南部亞弗利加

地方

南部亞弗利加地方は三方海に面せる亞弗利加極南の諸國を稱し、ケープ、コロニー、獨領西南亞弗利加、英領ベチユアナ、南亞弗利加共和國、オレンジ自由國、

ナタル、ヅールーランド、スワヂランドの九部に分かち、面積凡そ十五萬七千方里、人口三百八十餘萬あり。

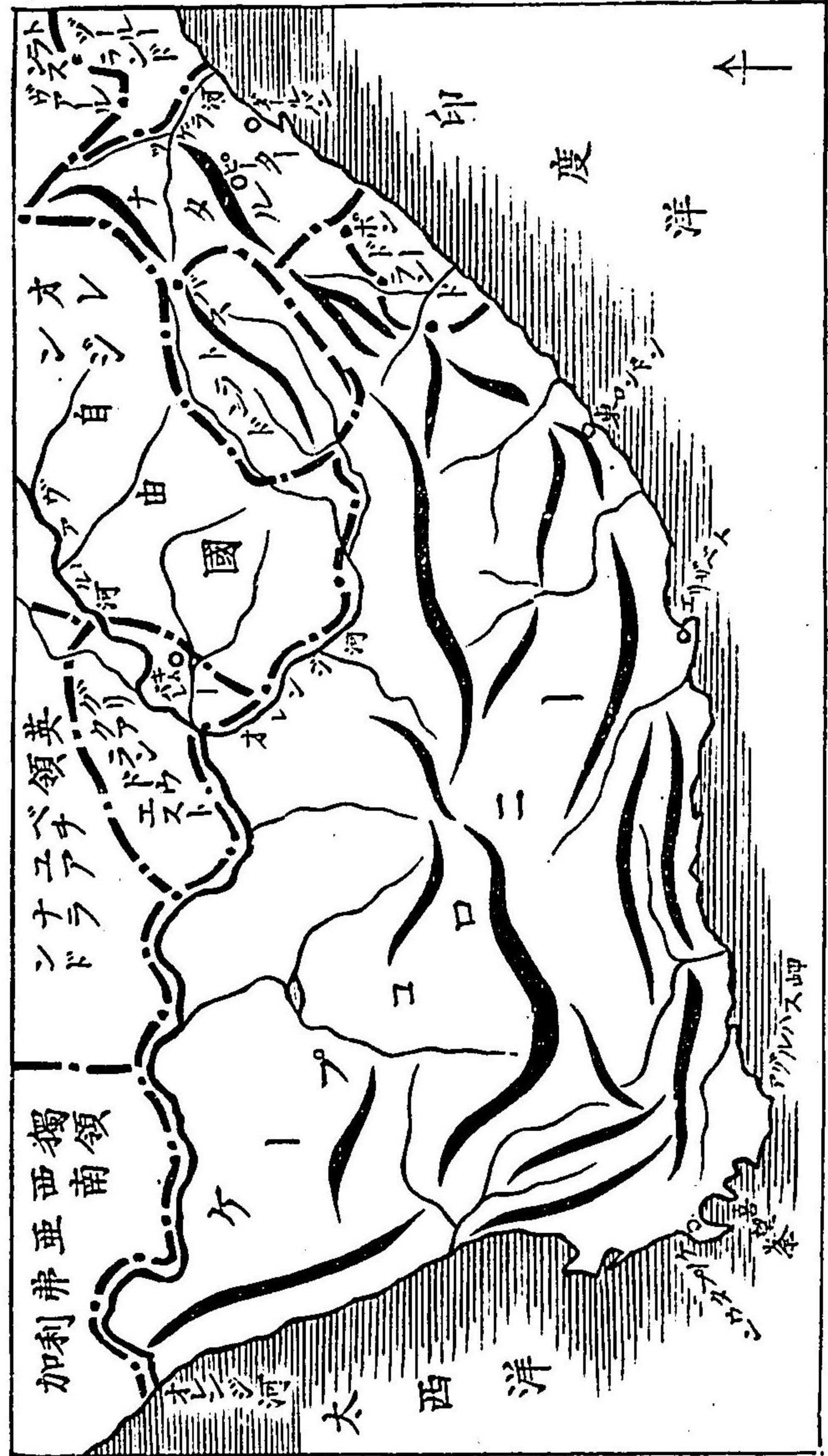
(イ) ケープ、コロニー

面積三萬七千方里、人口百五十三萬

ケープコロニーとは喜望峯殖民地の謂にして、亞弗利加の極南に位し、北はオレンジ河を限り、その北岸のグリクワランド、ウエスト、及び東に隣れるポンド、ランドは、現時、本州の領土に屬す。

地勢は山脈、海岸に並行して一帶の高地をなせども、西は低く傾斜甚だ急なり、オレンジ河は域内第一の大河なれども、水量少なく、且つ河口急斜して舟楫の利に乏し。○氣候は、海岸は貿易風を受け降雨あれども、内地は一般に乾燥にして、雨期は良好の牧場に適す、物産は麥、馬鈴薯、葡萄、煙草を主と





ケープコロニー之圖

し、羊毛最も盛んに、羊毛、革皮、牛酪を産し、外に、石炭、銅、鐵、金剛

石等を産す。住民はカッフアール族、ホツテントット族、ブツ  
 シュメン等多く、大抵牧養、狩獵に従事し、外に和蘭人、英人の  
 子孫あり。宗教は概ね和蘭改良教會に歸依す。○ケープタウン  
 は西南海岸に位し、地方第一の都會なり、外に、エリサベス  
 港、東倫敦港等あり、又グリクアランド、ウエストのキムバー  
 レーは、良好の金剛石を出だす、全部元と和蘭人の創立せし  
 殖民地なりしが、英國之を占領し、後再び和蘭に歸し、その後、  
 又英領となり、本國派遣の太守全土を治む。

(口) 獨領西南亞弗利加

面積五萬七千方里、人口二十五萬

獨領西南亞弗利加は、クナニ河よりオレンジ河に至る亞弗利加西南海岸



を稱し、東は東經二十度を限り、南緯二十二度より東に一度を進み、正北に南緯十八度より、又東に曲りザムベシ河領に達し、北をダマラランド、南をナマクアランドと云ひ、中央海岸のワルフィッシュ灣は英國に屬す。地勢は海岸に山脈を横たへ、内地は東より南の大部は、概ね不毛の沙原をなし、北部僅かに耕作に堪え、殊に牧養に適す。物産は銅、金を主とすれども、採掘未だ費用の全部を償ふに足らず、獨逸より派遣の帝國委員全地を治む。

(ハ) 英領ベチエアナ

面積二萬八千四百里、人口六萬

英領ベチエアナは獨領西南亞弗利加の東に位し、北は英領中央亞弗利加を限り、南はオレンジ河を距て、ケープコロニーに交はる。

地勢は全土カラハリ沙漠の大部を占め、甚だ水灌に乏しき

も、牧養と玉蜀黍の培栽に適し、氣候溫和なり。○物産は玉蜀黍を第一とし、外に、羊毛、革皮、家畜、材木、金、銀、鉛、鐵等あり、住民は黑人最も多く、又歐人あり。此の地は近年より英國に屬し、ケープコロニーの太守政務を兼ね。

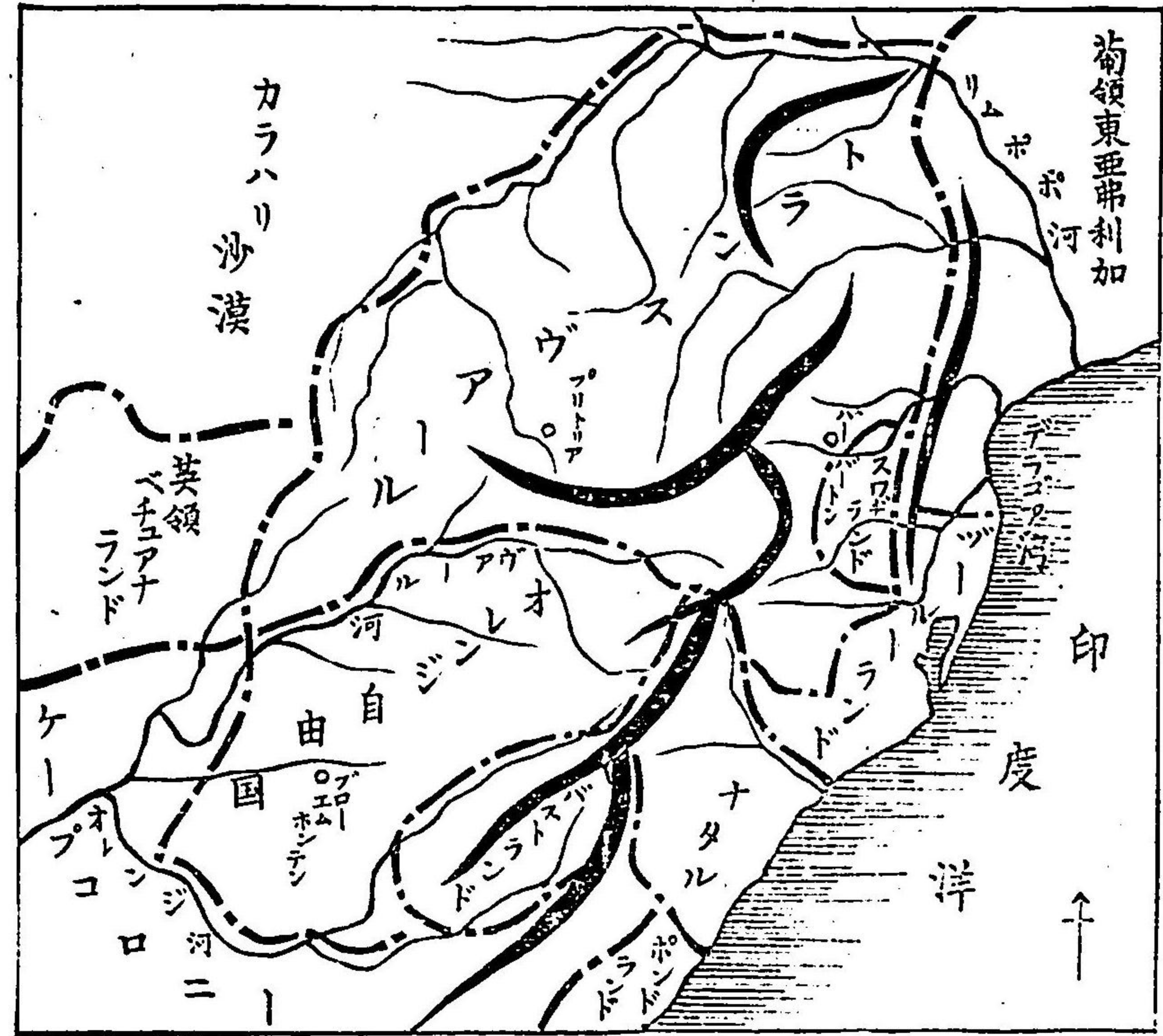
(ニ) 南亞弗利加共和國

面積一萬八千九百方里、人口七十七萬

南亞弗利加共和國は又トランスヴァールと稱し、リムボボ河とオレンジ河の一支、ツァーハ河との間に位す。

地勢は東部に山岳多く、土地概ね高燥、氣候亦暖かにして、農業、牧養に適すれども、各種の事業未だ發達せず。○物産は羊毛を第一とし、外に、小麥、煙草、砂糖、珈琲、革皮、牛、羊、駝、鳥等より、





(圖之ル | アヴスンラト)

金、石炭、鐵等の諸鑛夥しく、殊に金は合衆國、濠洲大陸と同量を出だす。住民は大抵黒人、こす、宗教は和蘭改良教會最も盛んなり。○プリートリアは、南部の山中

に立ち政廳所在の地たり、バールトンは金鑛を以て著はる。○全土元々英國の領地より獨立して、共和政治を組織せしが外交事務は猶その干渉を受く、嘗て世に喧傳せしトランスヴァール事件とは、此の國が外人移住條例を制定し、外國移民を限定せしより、英國は先に結びし倫敦條約の權利を殺ぎたりこし、軍艦を派遣し、軍隊を増發せしも、此の國の議會は、その法律を廢止せしより、漸く平和に局を結ぶに至りぬ。

(ホ) オレンジ自由國

面積七千方里、人口二十萬

オレンジ自由國は南亞弗利加共和國の南の、ヴァール、オレン



シ、カレドンの三河領に位し、地高けれども、河流縦横し、土肥え穀産に豊かに、又能く牧養に適す、氣候は溫度概ね異なるも、中和を保てり。○物産は羊毛を第一とし、革皮、金剛石、石炭、紅水晶等之れに亞ぎ、駝鳥の飼養も亦盛んなり、住民は和蘭農夫最も多く、大抵和蘭改良教會に屬す。○首府をブローエムフオンテンと稱す。全土元と和蘭農夫が喜望峯殖民地より移りて殖民せし所なれども、その後獨立して共和政治を組織し、大統領を選び國會を設く。

(ペ) ナタル

面積三千四百方里、人口五十四萬三千

ナタルは喜望峯殖民地の東北につゞき、北はツゲラ河を以てツールー國

に界す。全部元と喜望峯殖民地の所領なりしが、その後、獨立の殖民地となり、英王の直轄に屬す。

域内山地多く、森林暢茂せるも、河流多く、土肥え、氣候快和に、降雨亦乏しからず。○産物は羊毛、砂糖を主とし、外に、穀類、蔬菜、革皮、茶、石炭を産す、住民は黒人多し。首府をピーターマリツブブルグと云ふ外に、ダールバン港あり。

(ト) ツールーランド

面積二千四百方里、人口十八萬

ツールーランドはナタルの東北、ツゲラ河とセントルージャ灣との間に挟まり、全土英國の領地にして、ナタル駐在の太守之を兼轄す。

物産は許多の農産物あれども、未だ輸出するに至らず、國內通貨に乏しく、牛及び玉蜀黍を以て、各種の物品と交換し、鑛



物も亦金、銀、銅、鉛、鐵、錫、石炭等を産すれども、採掘未だ著しからず、住民は黑人最も多し。

(ナ) スワヂランド

面積千二十五方里、人口六萬

スワヂランドは南亞弗利加共和國の東南に位せる、土蕃の獨立王國にして、西曆千八百八十四年英國と合議の結果により、土人の國王を置き、酋長會議の輔佐を受け國政を治む。

(リ) バストランド

面積千六百二十方里、人口二十二萬

バストランドは喜望峯殖民地の東北に位し、地一帯に高く、氣候温かに降雨多し、物産は南亞弗利加中最良の穀類を出

だし、外に家畜、羊毛、銅、鐵、石炭等あり。

此國も亦喜望峰殖民地の所屬なりしが、近年獨立の殖民地となり、英國派遣の代理官政治を行ふ。

(五) 東部亞弗利加地方

東部亞弗利加地方は亞丁灣よりデラゴア灣に至る、千四百里の海岸を稱し、ソマリ、英領東亞弗利加、獨領東亞弗利加、葡領東亞弗利加の四部に分かる、多くは土人の部落にして、遊牧を事とし、大抵歐人保護の下にあり。

ソマリは亞丁灣の南より、ジュバ河に至る面積十二萬五千方里を占め、人口八十萬あり、その内、亞丁灣の海岸よりグアルダフ、岬の南の、ラヌハフーニに至る間は英國に屬し、亞丁の政務官之を治む。夫より南はジュバ河に至り、伊太利の領土とす、住民は亞拉比亞族多く、回教を奉ず、物産は



護謨、革皮、珈琲、駝鳥の羽毛あり、グアルダフ、ノール岬の東北にあるソコト、島亦英國に屬し、多くの家畜を出だす。

英領東亞弗利加はジユバ河より百六十里の南部海岸地方にして、西北深く南緯六度、東經三十五度に達し、面積十六萬七千方里あり、モムバサは政



(圖之加利弗亞東領獨)

廳所在の地たり、物産は象牙、胡椒、護謨、革皮、丁子等を主とし、全土英領東亞弗利加殖民會社之を治む。

獨領東亞弗利加は英領の南より、ロヴマ河に至る面積六萬七千方里を占め、北にヴヰクトリア湖西にタンガニカ湖、南にニアッサ湖を限り、人口三百萬あり、物産は象牙、護謨、珈琲、胡椒

等を主とし、獨逸派遣の帝國委員全土を治む。

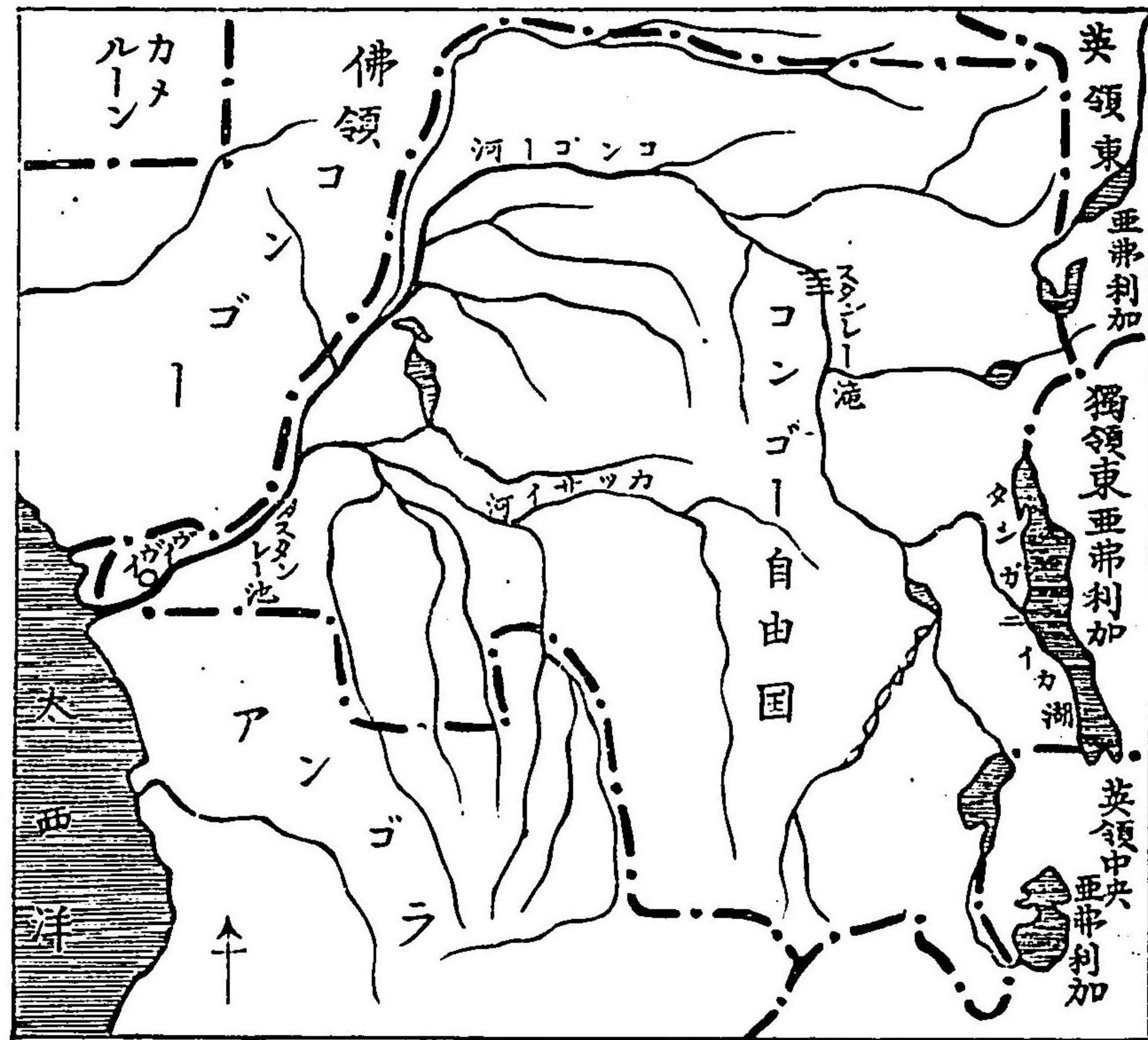
葡領東亞弗利加はロヴマ河より、六百四十里の南部海岸地方にして、面積四萬四千方里、人口百五十萬あり、ザムベシ河中央を流れ、その北をモザンビック、南をローレンゾ、マーケスとす。物産は椰子油、護謨、象牙、革皮、金等あり、本國派遣の總督、モザンビックに駐在して全土を治む。

ザンヂパール海岸とはロヴマ河口より赤道に至る間を稱し、ベムバザンヂパール等の諸島あり、就中、ザンヂパールは獨立の王國なれども、ベムバザンと共に英國の保護を受け、象牙、護謨の輸出多し。

(六) 中部亞弗利加地方

中部亞弗利加地方は、北はサハラ沙漠より南はカラハリ沙漠に至る廣漠不毛の蕃地にして、サハラ沙漠、蘇丹、コンゴ、自由國、英領中央亞弗利加の四部に分かる。





(圖之國由自 | ゴンゴ)

王國は中部亞弗利加中、最も開けたる回教國にして、陶器、織物及び金屬器具を産し、議會を設け三萬の常備兵あり。ワダイ王國は更に許多の諸州に分かれ、象牙、駝鳥の羽毛、銅、奴隸を輸出し、議會を設け七千の強兵あり。コンゴ自由國

サハラ沙漠はバールバリー諸國の南より北緯十五度に至る東西千二百五十里、南北四百二十里の間を稱す。大抵不毛の砂丘より成り、草地處々に島嶼の狀をなせども、東西兩部は低く海面下にある處あり。域内降雨少なく、數年間一滴も洩さるとあるを以て、氣候甚だ暑く、晝間時に二百度に昇れども、夜間は冷氣強く氷點下四度に降るとあり。物産は椰子、護謨等多く、草地は穀物を産す。住民は亞拉比亞族、バールバリー族を主とし、隊商或は牧養を事とす。西部一帯は近頃佛國に屬せり。

蘇丹はサハラ沙漠の南に位し、東はナイール上流より、西はセチガムピアに至り、全土概ね平らかに、氣候は熱さ強きも降雨は多く、南部は植物繁茂す。域内許多の蕃族に分かれ、大抵帝王ありて之を治む。就中、フリーラ帝國、ポルヌーイ王國、ワダイ王國等尤も勢力あり、住民は黑人及び亞拉比亞族のフリーラ種を主とす。

フリーラ帝國は蘇丹の西部を稱し、更にダホメー、アシャンチー、マッシナ、ガンドー、ソコトーの黑人國に分かれ、米及び綿布を出す處あり。ポルヌーイ



はコンゴ河領の全域を占め、北緯四度より南緯十二度に至り、東經三十度より西は佛領コンゴと界し、面積十五萬方里、人口三千萬あり、地高く、氣候熱きも、降雨多く土肥え、椰子油、象牙、護謨、落花生等を産し、首府ポーマはコンゴ河口にあり、コンゴ河はグガとスタンレー池との間八十餘里を除けば、上流のスタンレー瀧まで汽船の航行自在なり、此の國は柏林會議の結果によりて獨立し、その後ブラッセル府の會議により、白耳義國王が個人の資格にて、此の國に君主たる特權を得しより、統治權を白耳義に與へ、政府は當今ブラッセル府にあり。

英領中央亞弗利加はザムベシ河領の地にして、一にザムベシアと稱す、北はコンゴ自由國と、東は荷領とに連なり、南は南緯二十二度に達し、西は獨領に交はる、ザムベシ河を以て二分し、北を北ザムベシ、南を南ザムベシとし、面積十二萬方里あり、物産は象牙、椰子油、金、銅、煙草、水牛等を主とし、南ザムベシ中のマタベレランドは黄金に富み、マシヨナランドは農耕に適す、全土英國に屬し、英領南亞弗利加殖民會社之を治む、されど、コンゴ自

由國と此國との間のムシリ王國は獨立せり。

### (七) 東岸諸島

亞弗利加東部一帶の洋中に散在せる諸島を東岸諸島と稱す、就中、マダガスカル島最も大きく、外に、マウリシアス、セーシル、ロードリグ、チャゴス等の諸島あり。

マダガスカル島は世界第三の大島にして、亞弗利加の東南、モザンビク海峡を距て、百餘里の海中に位し、面積三萬八千方里、人口三百五十萬あり、島中火山質の山脈、北より南に亘り、高き者九千尺に達せども、海岸四周は地低く土肥え、殊に東岸は降雨多し、住民は、大抵馬來人種にして、外に、黑人あり、生業は牧業、農業を主とす、宗教は耶穌教最も盛んなり、物産は米、砂糖、珈琲、綿、護謨、甘薯、革皮、家畜、金、銀、銅、鐵、石炭等あり、首府をアンタナリヴと云ひ、外に、タマタヴの海港あり、政體は君主專制にして、女王あれども



總理大臣政權を握り、近年、英、佛會議の結果により、佛國の保護を受く。  
 マウリシアス島はマダガスカル島の東、二百餘里の洋中に位し、面積百十八方里、人口三十七萬あり、住民は印度人最も多く、農業を主とし、砂糖を産すると夥し、全島英國に屬す、此の島は亞弗利加の南端を廻航する船舶の碇泊地たり、セーシール、ロードリーグ、チャゴスの諸島は共にマウリシアス島の北東にありて、セーシール島には世界最大の椰子樹あり。

(八) 西岸諸島

亞弗利加西部一帯の洋中に散在せる諸島を西岸諸島と稱す、アゾールス、マデイラ、ケープ、ヴァード、カナリー、アッセンシオン、セント、ヘレナ、フェルナンドポ、アンノボン等の諸島に分かれ、面積小さく人口少なく、皆歐洲の諸國に分屬す。  
 セント、ヘレナ島、アッセンシオン島は共に亞弗利加の西南洋中にある小

島にして、英國に屬し、セント、ヘレナ島は那翁<sup>ナウオン</sup>第一世が流されし處なるを、以て世に知られ、アッセンシオン島は英國の西亞弗利加艦隊の石炭貯藏所とす、本洲の北西洋中のアゾールス島及びその南のマデイラ島、ケープ、ヴァード島は、共に葡國に屬し、アゾールスの橙、マデイラの葡萄酒は皆著名の輸出品なり、マデイラ島の南のカナリー島は西班牙に屬し、七個の火山質大島あり、金糸鳥<sup>カナリヤ</sup>の産を以て著はれ、又葡萄を出だす、ギニア灣内にあるフェルナンドポ、アンノボンの二島は西班牙に、プリンス、セント、トーマスの二島は葡國に屬し、共に幾那、カカオ、砂糖等を産す。

第六章 南亞米利加洲

北緯十二度三十分—南緯五十五度五十九分、廣  
 き所凡千九百里  
 西經三十五度—八十二度、長さ所凡千三百餘里  
 面積百十七萬五千方里、人口三千六百五十萬





(圖之洲加利米亞南)

南亞米利加洲は西半球南部の大陸なり、此の地は北亞米利加洲と共に四百餘年前、コロンブスが發見せし所なるを以て、東半球の舊世界に對し、或は新世界と稱す。北及び東に太平洋とカリッピアン海とを控え、南は南氷洋に延び、西は太平洋に面し、北西の一隅僅かにパナマ地頸に依て北亞米利加と地續をなす。政治上分ちてコロンビア、ヴェネチヅエラ、ギアナ、ブラジル、エクアドル、秘露、ボリヴヰア、智利、パラグヰア、ウルグヰア、亞爾然丁の十一國とし、面積百十七萬五千方里、人口三千六百五十萬あり。

地形は北に廣く南に狭く、恰もガリナス岬より、ホールン岬に至る、太平洋の沿岸を底邊とし、ブランコ岬を頂點とした



る直角三角形の如し、地勢も亦アンデス山脈、平均一萬二千尺の高さを以て、底邊に並行して延長凡そ千七百里に亘るが故に、大體西より東に低下すれども、ブラジルの海岸にはアマゾン河口より、東南海岸に平均二千尺の高原あり、ギアナには東西に亘れる小高原ありて、オリノコ、アマゾン、ラタ三河流の分水界をなす、アンデス山脈の東より、ブラジル高原とギアナ高原との間を占むる廣大なる平谷は、アマゾン河領にして、ブラジル共和國その大部を領し、大抵深厚の森林なり。南部、ブラジル高原とアンデス山脈との間は、ラタ河領にして、亞爾然丁共和國その大部を領し、坦々たる一望際なき大草原をなす、北部、ギアナ高原とアンデス山脈との間はオリノコ河領にして、ヴェネチヅエラ國その大部を領し、豊沃の農園多し。

(一) 大西洋沿岸諸國

大西洋沿岸諸國とは、北はカリッピアン海より、東方一帶大西洋に亘る、オリノコ、アマゾン、ラプラタの三河領を占むる地方の總稱にして、分ちてヴェネチヅエラ、ギアナ、ブラジル、パラグワ、井、ウルグワ、井、亞爾然丁の六國とし、面積八十八萬四千餘方里、人口凡二千三百萬あり。

(イ) ヴェネチヅエラ

面積九萬九千方里、人口二百三十二萬

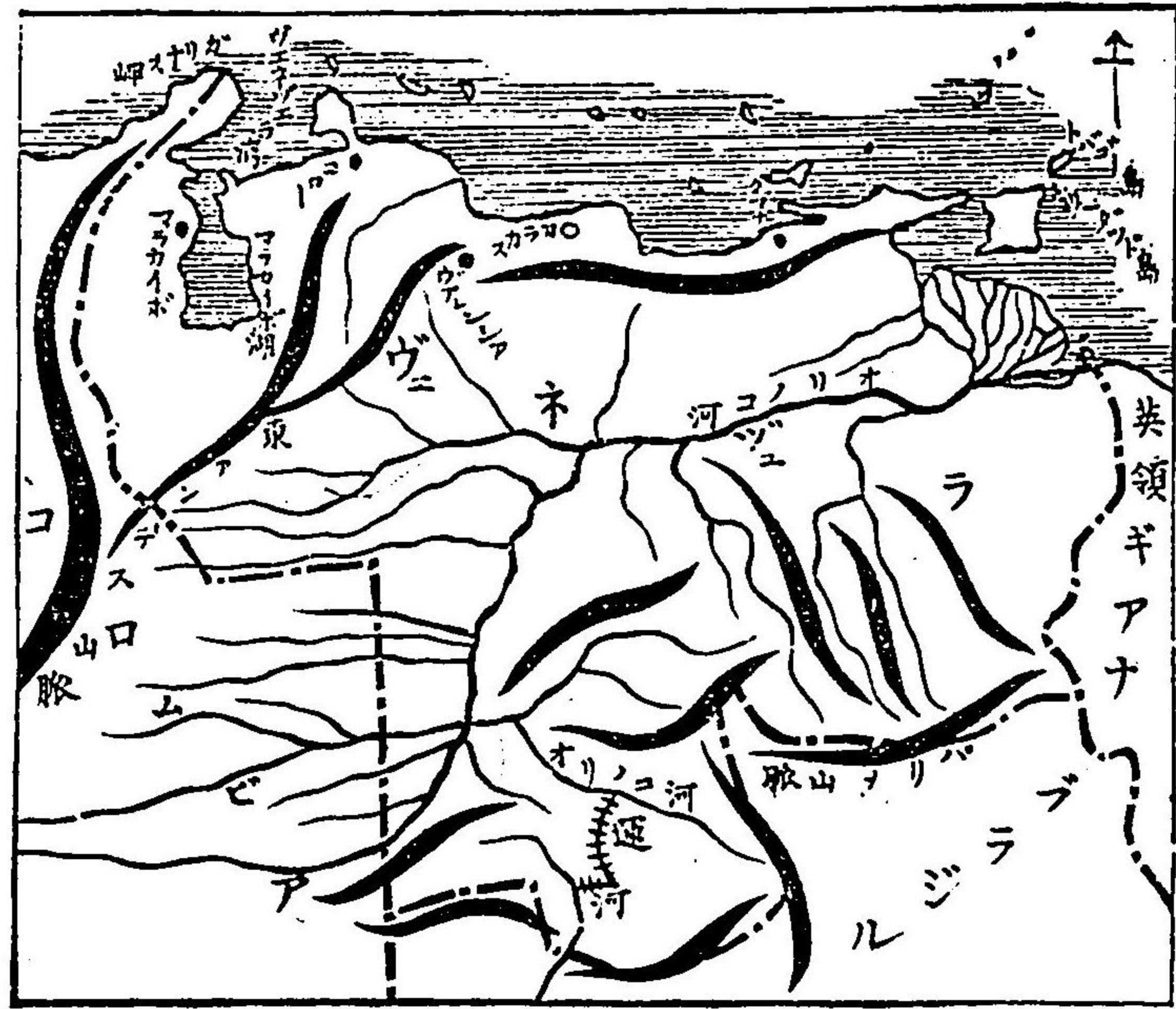
ヴェネチヅエラは全土オリノコ河領を占め、北はカリッピアン海と大西洋



とに面し、南はパリーメ山脈を以てブラジルに界し、東は英領ギアナに接し、

西はコロムビアに交はる。

沿海は海岸の出入多く、マラカイボ湖は國の西部に灣入して、その水カリッピアン海に通じ、人民水中に柱を樹てその上に家屋を建築せる者あり、西班



(圖之領河コノリオ)

牙人初めて此の地に来るや、此の種の人民を見て、ヴェニスの水上住民を想起し、ヴェネチヅエラト呼べる者、國名の起源なりとす。内地は大部廣漠なる草原より成り、オリノコ支流のカツシク#アレと稱する著名の天然運河は、アマゾン河と連絡を通ぜり。氣候は山地は稍暖かなれども、海岸は熱さ強く、オリノコ三角洲には悪疫流行す。○産物は珈琲、砂糖を主とし、外に、綿、煙草、椰子、藍等より桃花心木、カカオ、烏木、染料あるも、輸出は金、銅を主とし、草原には牧養盛んなり。○カラカスは、北部の海岸附近に位し、國中第一の大都なり、外に、ヴァレンシア、マラカイボ等の都會あり。

住民は西班牙族多く、大抵農業、牧養を主とし、宗教は耶蘇舊教を國教とす、



全部西班牙の領土なりしが、近年、獨立して共和政府を立て、大統領を以て國政を治む。

(ロ) ギアナ

面積三萬三千七百方里、人口三十七萬七千

ギアナはヴェネツエラの東に位し、地勢は沿海低く海面と等しけれども、内地は山地多く、ブラジルの界には一萬尺に達する高山連亘す。

氣候は大抵熱く、濕氣深く健康に適せざれども、海岸は稍暖かなり。物産は森林地方より良材を産し、又ピューマ、ジャギ、ユアール、貊、封豕、鱷魚の類あり、海岸地方は土肥え、砂糖、珈琲、胡椒、カカオ等夥し、又特に珍奇なるは乳樹及び電氣鰻にして、乳樹の木幹より出づる津液は牛乳に類し、飲料に供す、電氣鰻は物に觸れて強電氣を發するを以て、土人の之を捕ふ



(圖之國ナアギ)

るには馬を河中に投じ、その電氣の消散するをまぢ之を捕ふ。全部英、蘭、佛の三國に分屬す。

英領ギアナは國の西部を占め、面積一萬八千二百方里、人口二十八萬九千、

ヨークタウンを首府とす、物産は、砂糖、糖蜜、火酒、金、材木を輸出し、住民は黑人、混合種及び支那人多し、蘭領ギアナは中央部を占め、面積七千七百方里、



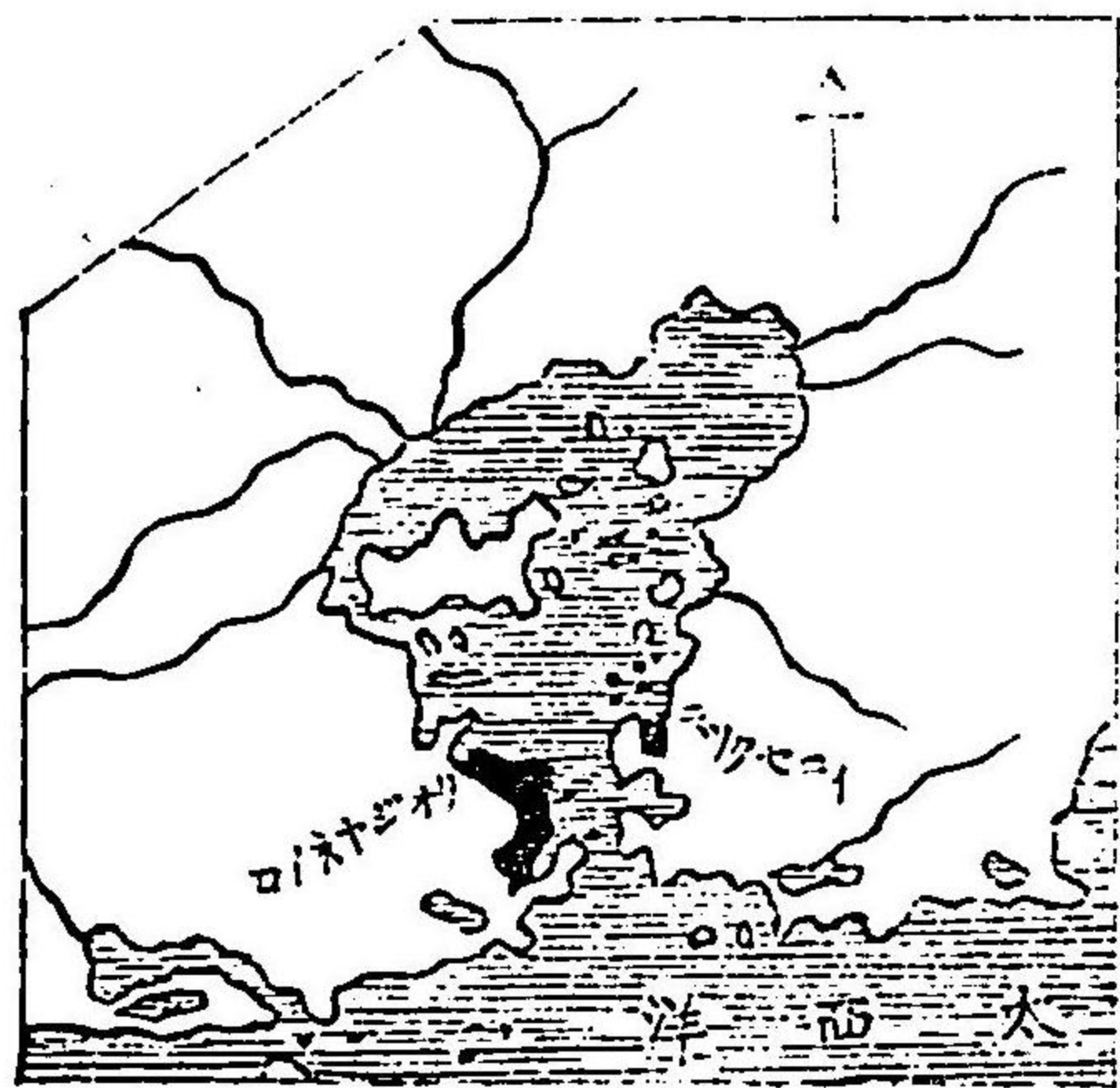
人口五萬八千、パラマリボを首府とす、物産は金、カカオ、砂糖、珈琲等を輸出す、佛領ギアナは東部を占め、面積七千八百方里、人口三萬、カエニヌを首府とし、砂糖、香料を輸出す。

(ハ) ブラジル

面積五十三萬五千方里、人口千四百萬餘

ブラジルはアマゾン河領の全域を占め、廣さ殆ど全洲の半ばを領す、東は大西洋に面し、西南、北の三方は智利、エクワドルの外、本洲の各國に界す。

地勢は東南にブラジル高原平均二千尺の高地をなせども、北より西は地低く青草綠樹深く密生し、林原地方は千歳日光を仰ぐと能はざる處あり、アマゾン河全部を灌漑し、サンフランシスコ、パラナ、パラグヮ井、ウルグヮ井、トカンチン、ブラナヒバ等の諸流恰も人體の血脈狀をなせり、○氣候はア

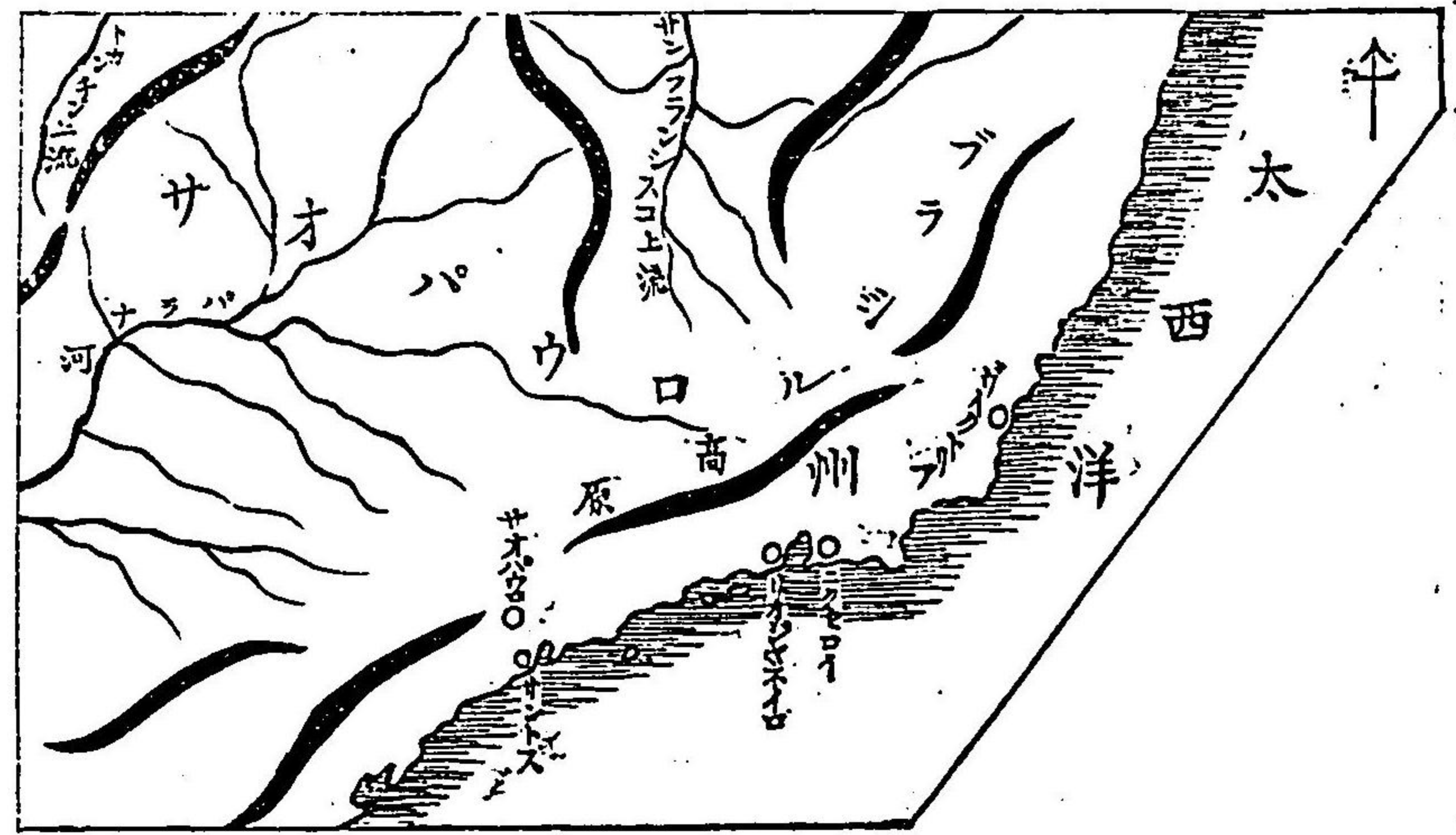


(圖之近附ロイネヤジオリ)

マゾン河領は熱さ強きも、山地及び南の平原は頗る溫暖なり、物産は植物の生育最も著しく、殊に珈琲は年々八億斤に達し、悠に世界産額の三分の二あり、また、砂糖は西印度諸島を凌ぎ、綿は北米合衆國と競争す、外に、米、煙草、橄欖、護謨等を數へ來れば、殆ど二千種に下らず、鑛物もまた甚だ豊かに、金

剛石、金、銀、銅、鐵、水銀、岩鹽、石炭等あれども、交通の不便と資本の不足とは、未だ十分の採掘を許さず、又草原地方には牧養盛んに行はる、○リオ、ジャチイロは國の首府にして





(圖之部南ルジラブ)

人口五十萬商業盛んなり、  
 外に、バヒア、ペルナムブコ  
 一、等皆大なり。住民は葡萄  
 牙族を第一とし、外に、イン  
 ジャン族、黑人あり、宗教は  
 耶蘇舊教最も盛んなり。

全土初め葡國の領地なりしが、  
 西曆千八百二十二年、葡國の皇  
 族を以て保護主となして獨立  
 し、その後革命起りて皇族を追  
 放し、共和政府を立て、大統領を  
 以て國事を治め、立法議會あり。

此の國は近頃我が國と新に通商條約を結びし國にして、專  
 任公使をリオ、ジヤチイロ府に置き、我が東洋移民會社は  
 サオパウロ移民會社と移民契約を結び、サオパウロ州を以  
 て我が勞働者の移住地と定められたれども、革命起りて國內紛  
 亂せるが故に、未だ實行の運びに至らず、その地は面積三萬  
 方里、全部土肥え珈琲の耕作に適し、東部海岸にはサントス  
 港を控へ、交通は頗る便利なり。

(ニ) パラグワ

面積一萬六千五百方里、人口百三十五萬

パラグワキはブラジルの南、ビルコマヨ、パラナ兩河の灌域にある小國な  
 り。

地勢はパラグワ井河國の中央を流れ、東北はブラジル高原



に續き、稍山地をなせども、地肥えて處々に沼澤多し。○物産は氣候の暖かなるこ、水灌の良しきこにより、米、麥、綿、砂糖、煙草の耕作に適す、またパラグヰ井茶は國の特産にして、多く南米土人の飲料に供す。○アスンシオンは、國の首府にしてピルコマヨ、パラグヰ井兩河の會流する所に位すれども、交通不便なるを以て商業未だ盛んならず。

住民は半ばインジャン族にして、耶蘇舊教最も盛んなり、政體は西曆千八百十一年、西班牙の領土より獨立して共和政府を立て、その後ブラジルト戦ひ、敗れて版圖を縮小せり。

(ホウルグヰ井)

面積一萬二千方里、人口七十八萬

ウグヰキはブラジルの南に位せる、本洲第一の小國なり、西は亞爾然丁

に界し、南はラプラタ河口に臨む。

全地概ね低く一面の草原をなし、ウルグヰ井河西境を流れ子グロ河中央を貫き、水灌、舟運共に便なり。○氣候は一般に温かに、能く健康に適す。物産は牧養最も盛んに、剥皮、羊毛、乾肉、獸脂等の産出夥し、されど、農業亦盛んにして、麥、玉蜀黍、煙草、葡萄等の耕作能く行はる、モンテヴヰ井デオは、國の首府にしてラプラタ河口に立ち商業盛んなり。

住民は混合種最も多く、一般に舊教を信ず、全土元と西班牙の領土なりしがブラジルの一州となり、その後、獨立して共和政府を立つ。

(へ)亞爾然丁

面積十八萬八千方里、人口四百十萬



亞爾然丁は本洲南部の大半を領し、北東はボリヰヰア、パラグヰヰキ、ブラジ  
ル、ウルグヰヰキに界し、東より南は太西洋に面し、西は智利に接す。

地勢は智利の界にアンデス山脈を横たへ、北と東とはボリ  
ヰヰア高原に續き、森林繁茂せる山地なれども、内地は一般  
に低平にして、南部、パタゴニア平原は、砂礫及び火山灰より  
成れる不毛の沙漠をなし、中部のパムパス地方と北部のグ  
ランチャコ地方は一面の草原能く牧養に適す。○氣候は、南  
は寒く、中部は暖かに、北は熱さ強けれど、大部殆ど乾燥なり。  
物産は牧養最も盛んに、牛、馬、羊、山羊、騾等、廣野を彷徨し、羊毛  
は世界中僅かに濠洲に一步を譲るに過ぎず、農産は小麦最  
も多く又金、銀、銅、鐵、錫等を出だし、羊毛、乾肉、牛皮は主なる輸

出品たり。○ブエノス、アイレスは人口五拾五萬、國の首府に  
してラプラタ河口に臨み、水陸交通の便あれども、河口に泥  
沙堆積し、船舶を容るゝ能はざるを以て、今は、その河口にエ  
ンセナダの新港起れり、外に、コルドヴァ、ロサリオ等の都會  
あり。

住民は混合種最も多く、外に、伊太利人あり、宗教は舊教能く行はる、政體は  
西班牙の領土より獨立せし共和政治にして、大統領を以て國を治め、立法  
議會を設く。

此の國の南端より東方百里の洋中にあるフォークランド諸島は、東西の  
二大島及び許多の屬島より成り、面積千千方里、人口二千、全島英國に屬す。

## (二) 太平洋沿岸諸國

太平洋沿岸諸國とは、北はパナマの地頸より、南は智利の南



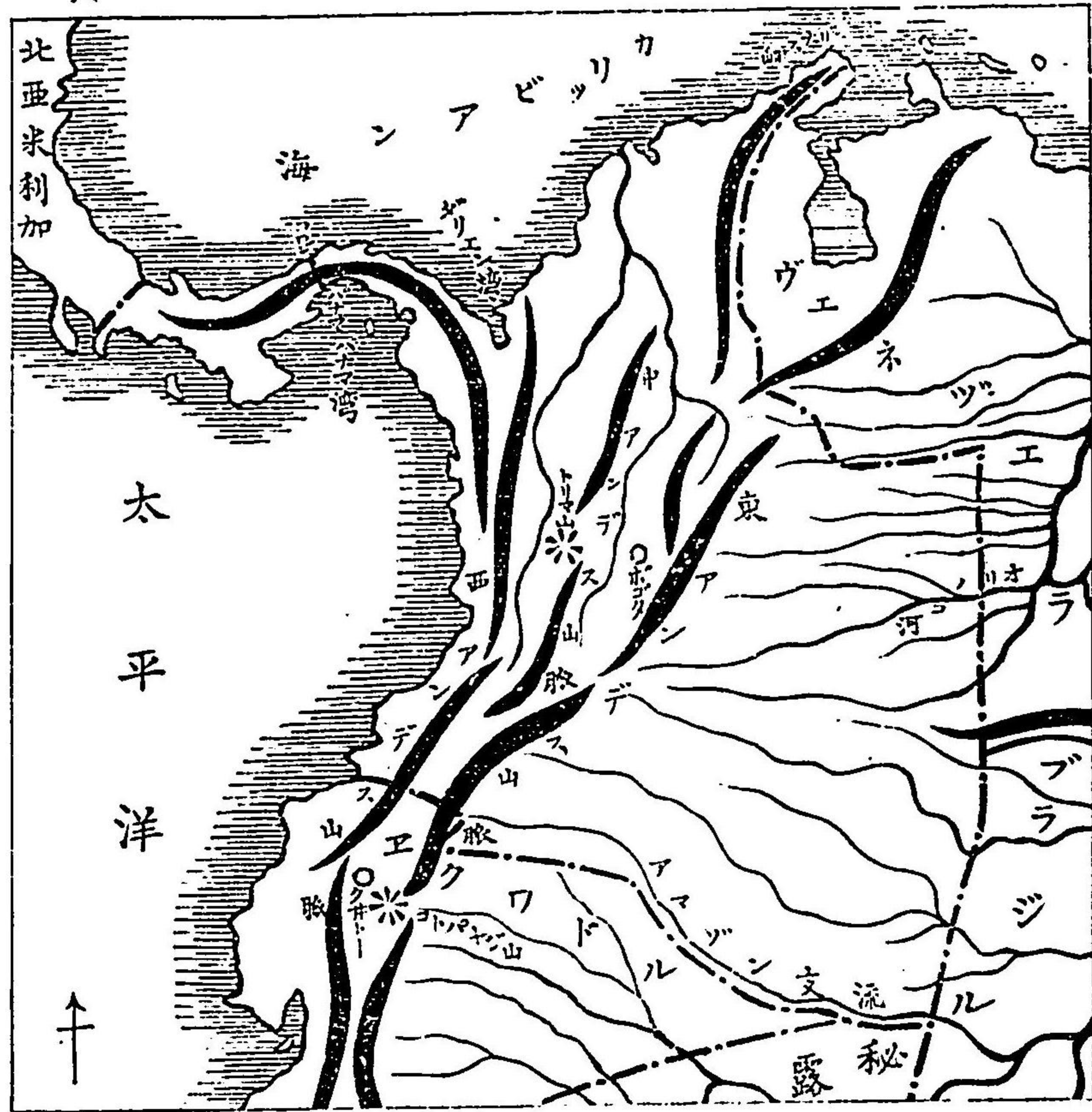
端に至る、アンデス山系を占むる地方の總稱にして、分ちてコロムビア、エクワドル、秘露、ボリヰア、智利の五國とし、面積三十二萬六千餘方里、人口千三百三十萬あり。

(イ) コロムビア

面積八萬五千七百方里、人口凡そ四百萬

コロムビアは一にニューグラナダと稱し、南米の西北に位す、北はカリッピアン海に臨み、東はヴェネヰエラ、ブラジルに界し、南はエクワドル、秘露に接し、西は太平洋に面し、西北にパナマの地頸を以て中央亞米利加に連なる。

地勢は西にアンデス山脈、東、中、西の三派に分かれて、南北を貫くを以て、地一體に高く、コーカ、マグダレナの二流、その間を北流すれど、東はオリノコ、アマゾンの支流に屬し、地低く

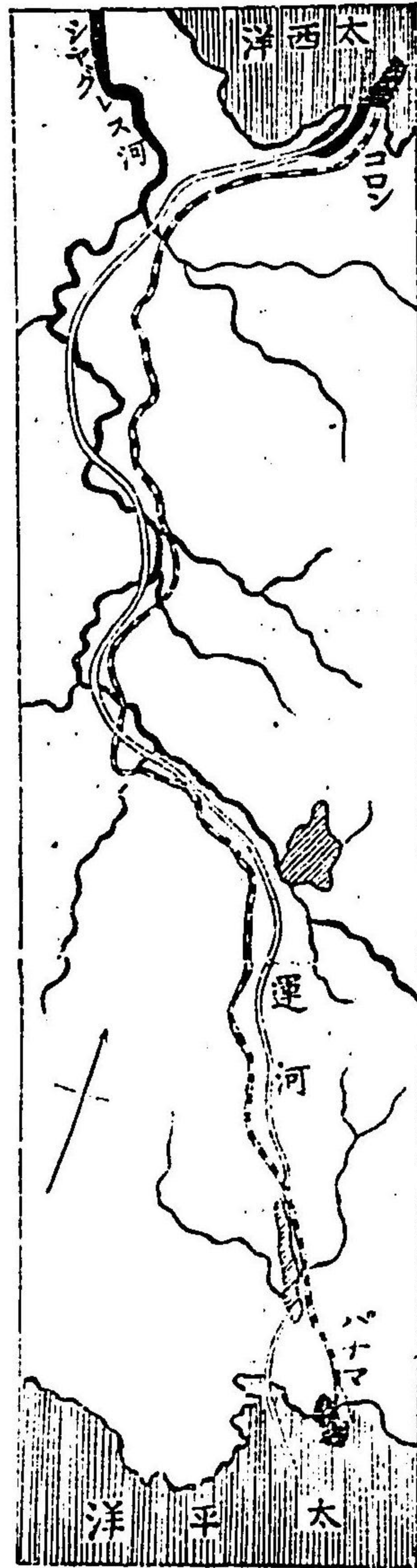


(圖之アビムロコ)

土肥ゆ。○氣候は大抵四時熱き強きも、高地は暖かに、高峯の頂上は寒きと兩極地方の如し。物産は玉蜀黍最も多く、年内四回の收穫



あり、外に、桃花心木、松、柏、シンコナ、銀等あり、幾那皮、珈琲、カカオ、綿、染料、護謨を輸出し、パナマ帽は國の特産なり。○ボゴタは國の首府にして、地高きにより、氣候暖かに四時春の如し、パナマ、コロンはパナマ地頸の南北にある海港にして、鐵道を通ぜり、有名なるパナマの運河は、嘗て蘇士運河を成功し、天下に雷名を轟かせしレセップ氏が、此の鐵道に沿ひ、南北兩港の間、四十哩の地頸を掘割り、太平、太西の兩洋と同じ水平の運河を造らんごしたる者にして、工事に着手せしが、河流の妨害、氣候の不良等、幾多の障礙は工事未だ半ばならざるに、はや既に三億弗を費消し、遂に失敗に局を結べり、されど、米國人は再び新パナマ運河會社を設立して事業を繼續



(圖之河運マナパ)

し、全線の開鑿は未だ落成の期すべきなきも、今や日々二千五百人を役して、鑿掘浚渫に従事せり。

全土元と西班牙の領地なりしが、獨立して共和政府を立て、大統領を選び國政を治む、近年、内亂屢起りて國債多く、政府の歳入はみなその利子の支拂にだも足らずして、國勢大に疲弊せり、國民は西班牙族最も多く、耶蘇舊教を國教と定む。

(ロ) エ ク ロ ド ル



面積二萬方里、人口百二十八萬

エクワドルはコロンビアの南太平洋に面せる小國にして、赤道直下に位す、地勢はアンデス山脈西に横はり、東の平原は傾斜緩きも、西は急峻なり。○氣候は熱さ強きも、山地は快和にして四時春の如し、物産はカカオ、珈琲、綿、幾那皮、護謨等を出だし、又植物象牙にて、椰子殻にて扣紐を刻し、盛んに外國に輸出す。○ク#トーは國の首府にして、アンデス山中の高地に位し、氣候暖かに空氣清し、外に、リオ、バムバー、グアヤク#ル等の都會あり。

住民はインジャン族多く、耶蘇舊教を國教とす、政體はコロンビア國より分立せし共和國にして、大統領を以て國を治む。

本洲の西、六百五十哩の洋中にあるガラバゴス島は大小十一の火山質島

嶼より成り、面積凡そ四百方里、人口僅かに二百ありて、海龜、大蜥蜴を出だすと多し。

### (ハ) 秘露

面積七萬七千三百方里、人口凡そ三百萬

秘露はエクワドル、智利の間に挟まり、南緯十度線恰も中央を横斷す、地勢はアンデス山脈、東、西二派に並行して、西部を南北に貫くを以て、西部は低く狭きも、東部は廣くアマゾンの上流をなし、中央は一帶の高地なり。○山脈の東部は地の高きと、雨の多きとに依り、氣候温かに、土肥え、シンコナ、甘蔗、馬鈴薯、珈琲、玉蜀黍を産すれども、西部は、降雨に乏しきを以て、不毛の砂地をなし、漸く甘蔗、綿を出だすに過ぎず、特に馬







住民は半ばインディアン族とし、混合種、西班牙人あり、宗教は舊教を國教とせり、全部元と西班牙の領地なりしが、その後、獨立して共和政府を立つ。

(ホ) 智利

面積四萬九千方里人口凡そ三百萬

智利は本洲南部の西岸より、極南に達する狭く長き國にして、東西は僅かに四十二三里を出でざれど、南北は凡そ九百二十餘里に達す。

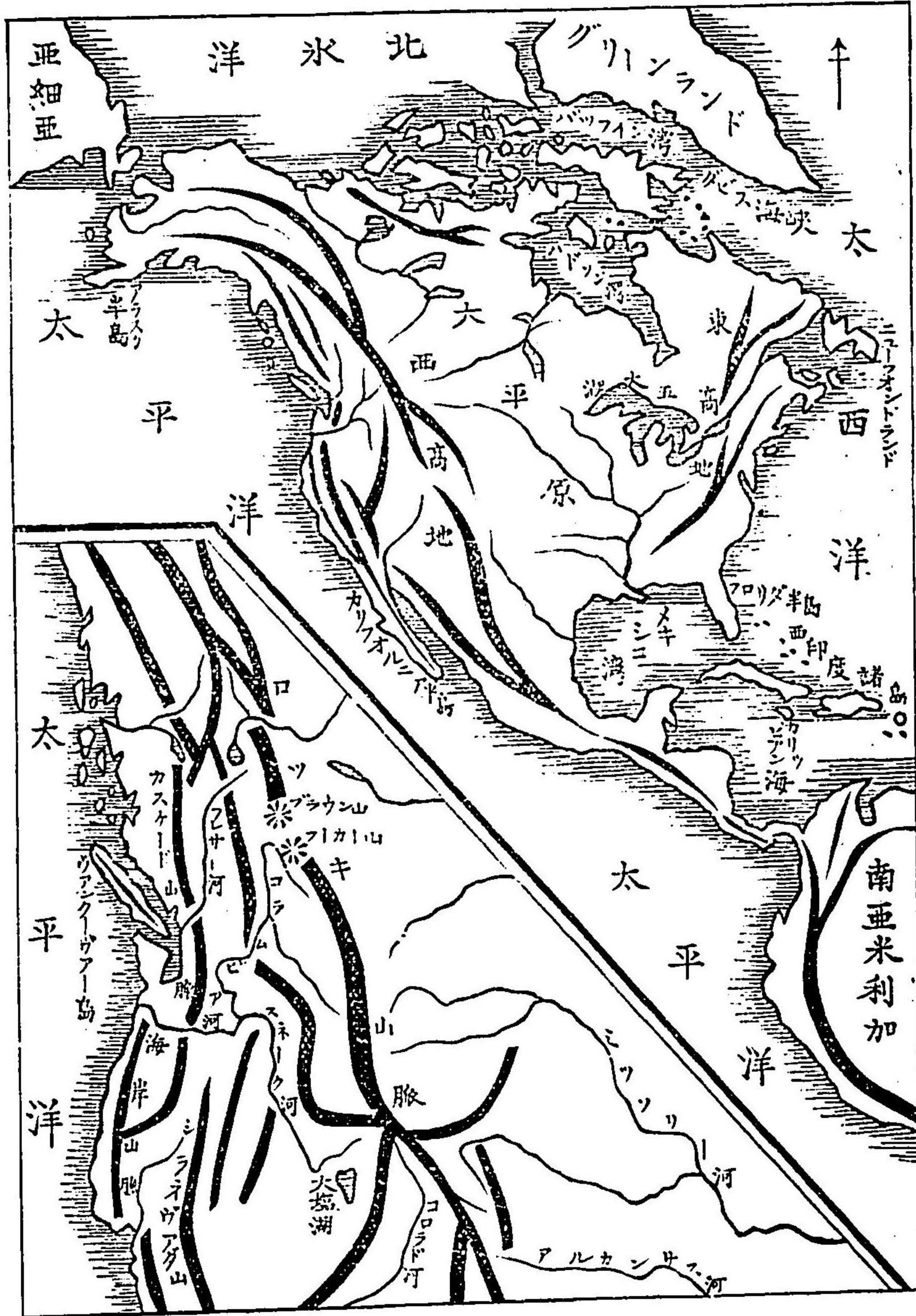
内地は一般にアンデス山脈の西斜面なるを以て山岳に富み、谿間は地廣く土肥え耕作に適す、されど、南緯三十度以北はアタカマ沙漠と稱し、一の生物を見ず。○氣候は緯度の高低によりて、一樣ならざれども、變化は少なく、殊に一月より二月に至る夏期は、熱さ最も強し、されど、南洋より來る寒流は、能く炎熱を和らげ、南米中氣候稍寒冷なり。物産は金、銀、銅、

硝石を主とし、麥、甘蔗、玉蜀黍、綿、葡萄等夥しく、殊に牧養及び鳥糞の採取は著名なり。○サンチャゴは國の首府にして商業盛んなり、外に、ヴァルパライゾーは外國貿易の中心に當れり。

住民はインディアン族、西班牙人多く、概ね農業、採鑛を以て主とす、宗教は舊教を國教とす。政體は西班牙の領土より獨立せし共和政治にして、その後ポリグリア秘霧と戦ひ、大に領土を廣め、大統領を以て國を治む。

此の國の南端にマゼラン海峡を距て、テラデルフェゴ島あり、歐人初め此の地に來るや、土人は警を各地に傳へんが爲めに、島中各處に盛んに火を燃せしより、島名となりし者にして、現時、東半は亞爾然丁に、西半は此の國に分屬す。マゼラン海峡は、南米回航船の南洋の風浪を避けて通航する通路に當れり、又此の國の西方、百六十餘里のフーアン、フェルナンデッ島は此の國の屬島なり。





(圖之洲加利米亞北)

### 第七章 北亞米利加洲

北緯八度—八十二度廣き所千八百里  
 西經五十六度—百六十八度長き所千三百里  
 面積百四十五萬方里、人口八千九百萬

北亞米利加洲は西半球の北部を占むる大陸にして、北は一帯北氷洋に面し、東は大西洋に臨み、南は墨西哥灣を擁し、パナマ地頸に依て南亞米利加に連なり、西は太平洋に瀕す、政治上分ちて英領亞米利加、合衆國、墨西哥、中央亞米利加諸國、西印度諸島、グリーンランドの六部とし、面積百四十五萬方里、人口八千九百萬あり。

地形は北部に許多の島嶼ありて、幾多の内海、灣峽等をなせ



ども、大體北に廣く南に狹くて、三角形を成せるは、南亞米利加洲に類す、地勢もまた頗る南米に同じく、西部にはロッキーの大山脈、平均八千尺の高さを以て、北氷洋の沿岸に起り、合衆國に入りて許多の並行脈となり、墨西哥より中央亞米利加を貫き、南米に連続して、廣き所合衆國全幅の三分の一以上に亘り、その西部は地高四千尺に達するカスケード、シエラ、チヴァダの二連脈を分支して、中央に不毛の大高原を抱く、東部はアレガニー山脈、平均三千尺の高さを以てセント、ローレンス灣に起り、大西洋の沿岸に並び南に馳せ、ミシシッピー河口に達し、又東北には緩斜なるラフラドル高原、セント、ローレンス河とハッドソン灣とを分かつを以て、全

洲の水理は南北東の三系に分かれ、マッケンジー、セント、ローレンス、ミシシッピーの三河領は、オリノコ、アマゾン、ラブラタの三河領と同一の方向に排水す。

(一) 合衆國

北緯二十五度—四十九度、西經六十七度—百二十度  
 面積五十八萬三千五方里、人口凡そ六千三百萬

合衆國は北米中央の大部を占め、北は英領加多に接し、東は大西洋に臨み、南は墨西哥灣及び墨西哥に界し、西は太平洋に面す。

内地は東にアレガニー山脈、東北隅よりミシシッピー河口に高原をなし、西にロッキー山脈はカスケード、シエラ、チヴァダの二連脈を以て、廣き處百餘里より三百餘里に亘る、不





(合衆國之圖)

毛の大高原をなし、中央は北より南に傾き、地高三百尺に亘る廣き平野を成すを以て、地勢の組織は甚だ單純にして、自然に太平洋沿岸諸州、大西洋沿岸諸州、中央諸州、沿灣諸州の四大部に分かれ、河流は東、西、南の三方に排水し、ミシシッピ川中央諸州の低野を灌漑す。○氣候は面積の廣大なるこ、土地の形勢に依り、各地同じからず、西部高原は大部廣大なる臺地より成るにより、氣候暑く、降雨乏しく、灌漑法を行ふにあらざれば、耕作に適せざる處ありて、全國中最も乾燥なる地方なれども、中央諸州は北より南に、一面の平原なるが故に、冬期水銀の凍るとあるに反し、夏熱亦緩やかならず、太平洋沿岸地方は南西の暖風、海岸山脈に衝突してその水



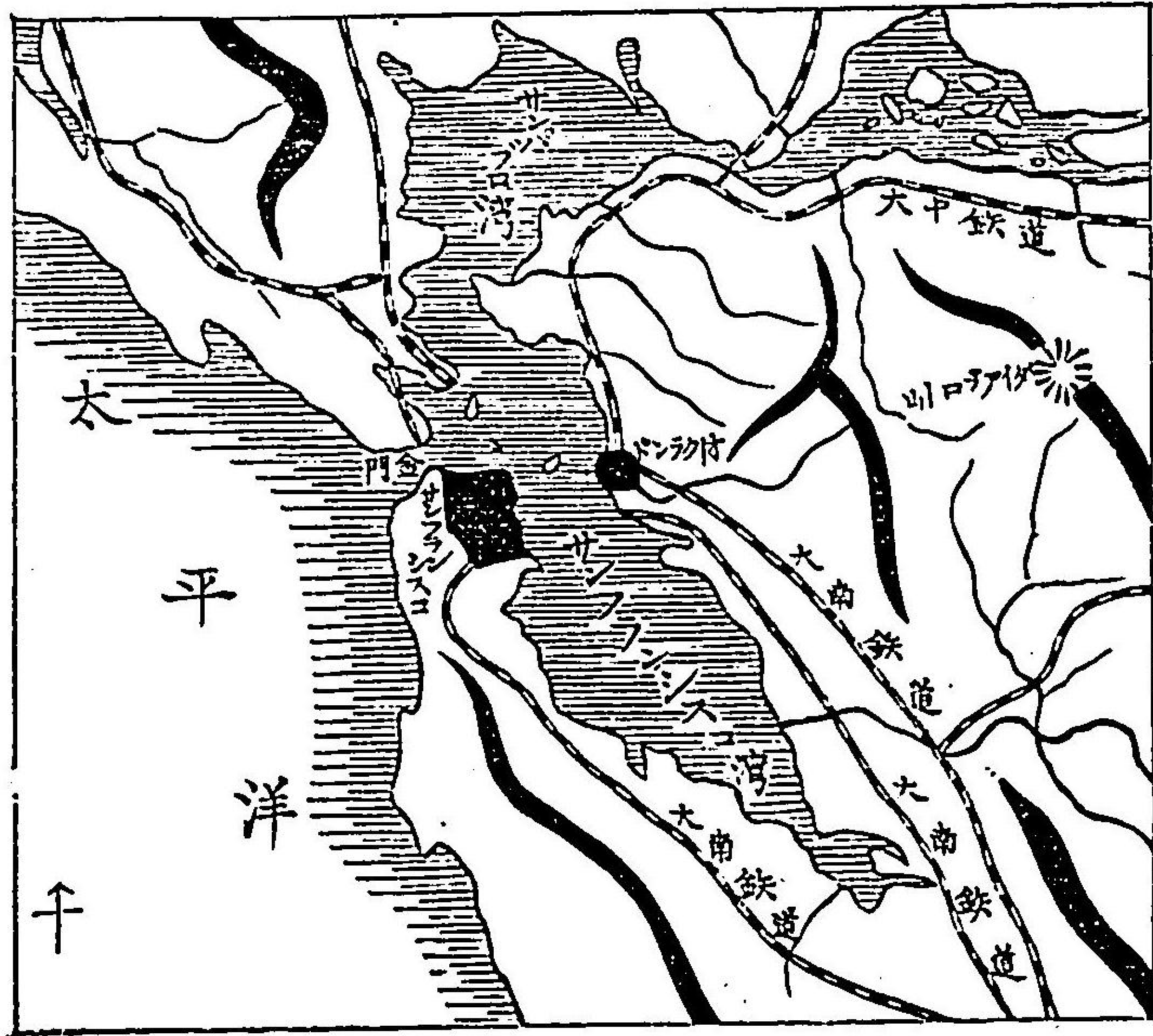
量を雨下せしむるを以て、濕氣多く氣候概ね温かく、殊にカリフォルニア州は實に此の國の花果園と稱する樂土なり、されど、大西洋沿岸地方は寒暑共に強く、北東部は氣候甚だ不良にして、肺病に罹る者多し。物産は農産物最も夥しく、玉蜀黍、小麥、綿、大麥、燕麥、米、甘蔗、煙草、馬鈴薯等より松、檜、山毛櫸、榆、樅等の林産あり、鑛物は石炭最も多く、アングニー山脈の炭田のみにてても、一ヶ年の採掘一億五千萬噸に達し、全國を通ずれば面積四萬二千方里あり、外に、銀、水銀、石油は産額世界第一にして、金は濠洲に亞ぎ、殊にカリフォルニア州の金、ロッキーマウンテンの銀、北部中央諸州の鐵は産額多量なるを、品質良好なるを以て稱せらる、その他、銅、亞鉛、白銅、石腦油等

各種の鑛産枚擧すべからず、又牧養は中央諸州に盛んなり、我が國へ麥粉、石油、線綿、時計、皮類、煙草、水銀等を輸出し、我が國より生糸、綠茶、絹手巾、米、樟腦、陶磁器、地蓆、麥稈、眞田、扇子、團扇、漆器、竹器等を輸入す。○住民は英人の子孫最も多く、外に、獨逸人、佛人あり、黑人は人口の十分の一を占め、インディアン族亦四十萬あり。宗教は信教の自由を許し、新教最も盛んに、その教徒殆ど三千萬あれども、舊教徒亦凡そ二千萬あり、教育は能く國內に普及すれど、曾て奴隸の存せしむ、無學なる移住民が、年々増殖することにより、初等の教育すらも受けざる者頗る多し。

ワシントン府は中央政府所在の地にして、ポトマック河口



に位し、市街廣く且つ端正にして、大統領の宮殿、國會議事堂等壯麗なる建築多しその他、<sup>ニューヨーク</sup>紐育、シカゴ、フ#ラデルフ#アは各人口百萬以上を有し、ブルックリン、セント、ルイス、ボストン、バルチモア、<sup>サンフランシスコ</sup>桑港、シンシナチー、バファロー、ニュー、オールレアンス、チャーレズトン等は各二十萬以上の人口を有す、その内、紐育は商業最も盛んにして、輸入は總額七億五千萬弗の百分の六十六を占め、輸出は七億九千萬弗の百分の四十四に當れり、此の府及び近傍地方に我が國人の在留せる者四百餘人あり、フ#ラデルフ#アは古來工業の最も盛大なる地にて、産額一年凡そ六億萬弗に達し、外國貿易亦一年一億一千萬弗に及ぶ、ニュー、オールレアンスは南部第一



(圖 之 近 附 港 桑)

の都會にして、綿花市場の盛んなるはリヴァプールに亞ぐ、桑港は太平洋岸の唯一の良港にして、我が國人の在留する者常に三千人を超へ、領事館あり、支那人の出稼する者亦甚だ多く、殆ど二萬五千に及ぶ、此



の地は我が國人の最も能く知れる所にて、横濱の直東四千七百餘海里に位し、航程凡そ二十日を要す、地勢は二個の半島、南北より斗出して小灣を抱き、市街は南半島の北端に立ち東に面す、その灣口は即ち有名なる金門ゴールデンゲートにして、風景絶佳なり、桑港より北の方、英領加奈多のヴァンクーヴァーに至る沿岸地方は、我が國人の處々に在留せる者、六千以上に達す、ポールト、ランドは我が日本郵船會社汽船の寄港地にして、我が國人の在留せる者、凡そ六百人あり、その北のタコマ市は往時寂寥たる村落たりしが、開放以來、東洋貨物の集散甚だ疾く、殊に我が國と製茶の取引甚だ頻繁なり、シヤトルはタコマの北、七哩の處に位し、大北鐵道の起點に當り、木材

の市場をなし、明治二十九年以來、日本郵船會社は此處に定航し、横濱神戸の間に貨物の運漕を司ぐる、シカゴも亦明治二十六年に、コロムブス大博覽會を開きしを以て、我が國人の能く知れる所にして、ミシガン湖畔に立ち、穀物、材木は世界に無比の大市場をなせり、ボストンは新英蘭第一の貿易場なるが上に、米國中教育の最も盛んなる所にして、人民學事を勵み、北米アゼンスの稱あり、府の北部、チャールズ河の北のカムブリッヂには有名なるハーバート大學あり。

交通は陸路十八萬千餘哩の鐵道ありて、蛛網の如く都府村落を連結し、高き處、五千尺以上の峻坂を昇降す、就中、大北鐵道、中央鐵道、大南鐵道、大中鐵道は太平、太西の二洋を連ぬ、水路はミシシッピ河の如きは、汽船帆船の



航行頗る自在にして、太西洋の航通は、歐洲と汽船の往來頗る繁劇を極む、  
紐育よりリヴァプールへ三千二十五海里、グラスゴーへ二千七百九十海  
里あり。

全土元と英國の領土なりしが、西曆千七百七十五年反旗を擧げ、戦ふと八  
年にして獨立し、終に、今日の共和政府を立て、憲法を設け、大統領を民選し、  
上下兩院を以て立法議會を組織す、我が國と條約を結びしは安政元年に  
して、ワシントン府に公使館を置き、ニューヨーク、サンフランシスコ紐育、桑港、タコマに領事館あり。

地方制度は四十四の聯合諸州と、一地方、六領地とに分ち、  
各州全く自治制を用ひ、各自議會を設け、政務を執行し、各州  
連合して更に中央政府を立つ、陸軍は常備兵僅かに三萬に  
充たされども、各州別に民兵の設ありて、事あるの日は、千餘  
萬の兵員を召集し、海軍は三十三隻の軍艦あり。

(一) 太平洋沿岸諸州

八州三領地

- モンタナ
- ワイオミン
- コロラド
- ニュー墨西哥(領地)
- アリゾナ(領地)
- ユーター(領地)
- ワヴァダ
- アイダホ
- ワシントン
- オレゴン
- カリフォルニア

(二) 太西洋沿岸諸州

十七州一地方

- メイン
- ニューハンプシア
- ヴァーモント
- マサチューセツ
- ロードアイランド
- コネカット
- 紐育
- ニューヨーク
- ペンシルヴァニア
- デラワ
- メリーランド
- コラムビア(地方)
- ヴァージニア
- 西ヴァージニア
- 北カロライナ
- 南カロライナ
- ジョージア
- フロリダ

(三) 中央諸州

十三州

- オハイオ
- インディアナ
- イリノイス



ミシガン	ウチン	ミシソタ
アイオワ	ミッソリー	北ダコタ
南ダコタ	ネブラスカ	カンサス
ケンタッキー		

(四) 沿灣諸州

六州二領地

テネシッシー	アラバマ	ミシシッピ
ルイジアナ	テックサス	オクラホマ(領地)
アルカンサス	インヂャン	テリトリー(領地)

(五) アラスカ(領地)

アラスカ領は本洲の西北、ベリリグ海峡に臨める半島にして、慶應三年露國より買收したる地とす。領内山地多きも、處々に平野を交へ、ユーコン河東西を貫流し、住民僅かに三萬二千餘の内、インヂャン族、エスキモー族最も多く、近海は有名なる海豹の獵場にして、毛皮を主産とし、又近頃金鑛の採掘を以て著はる。

(二) 英領亞米利加

北緯四十二度—八十度、西經五十二度四十分—百四十一度  
面積五十八萬方里、人口凡そ五百萬

英領亞米利加は北米の北部、凡そ北緯五十度以北の部を稱す、北は北氷洋に面し、東は大西洋に洗はれ、南は合衆國に界し、西は太平洋に瀕し、西北の一部アラスカ半島に交はり、分ちて英領加奈多、及びニュー、フォンドランドの二部とす。

英領加奈多是北米の北隣を總稱し、政治上更に分ちてプリンス、エドワード島、ノヴス、スコシヤ、ニューブランズウィック、クエベック、オンタリオ、マニトバ、英領コルムビア及び西北領の八州とし、ニュー、フォンドランド島はその對岸ラブラドルの海岸地方を合す。就中、西北領は東はハッドソン灣より、北は北氷洋に至る大部を占むれども、南はマニトバ、オンタリオの二州より、北はハッドソン灣に至る一部に、キープチン州を置き、又マニ



トバ、英領コルムビア二州の間にアッシニボーア、サスカッチェワン、アルバータ、アサバスカの四州を新設せり。

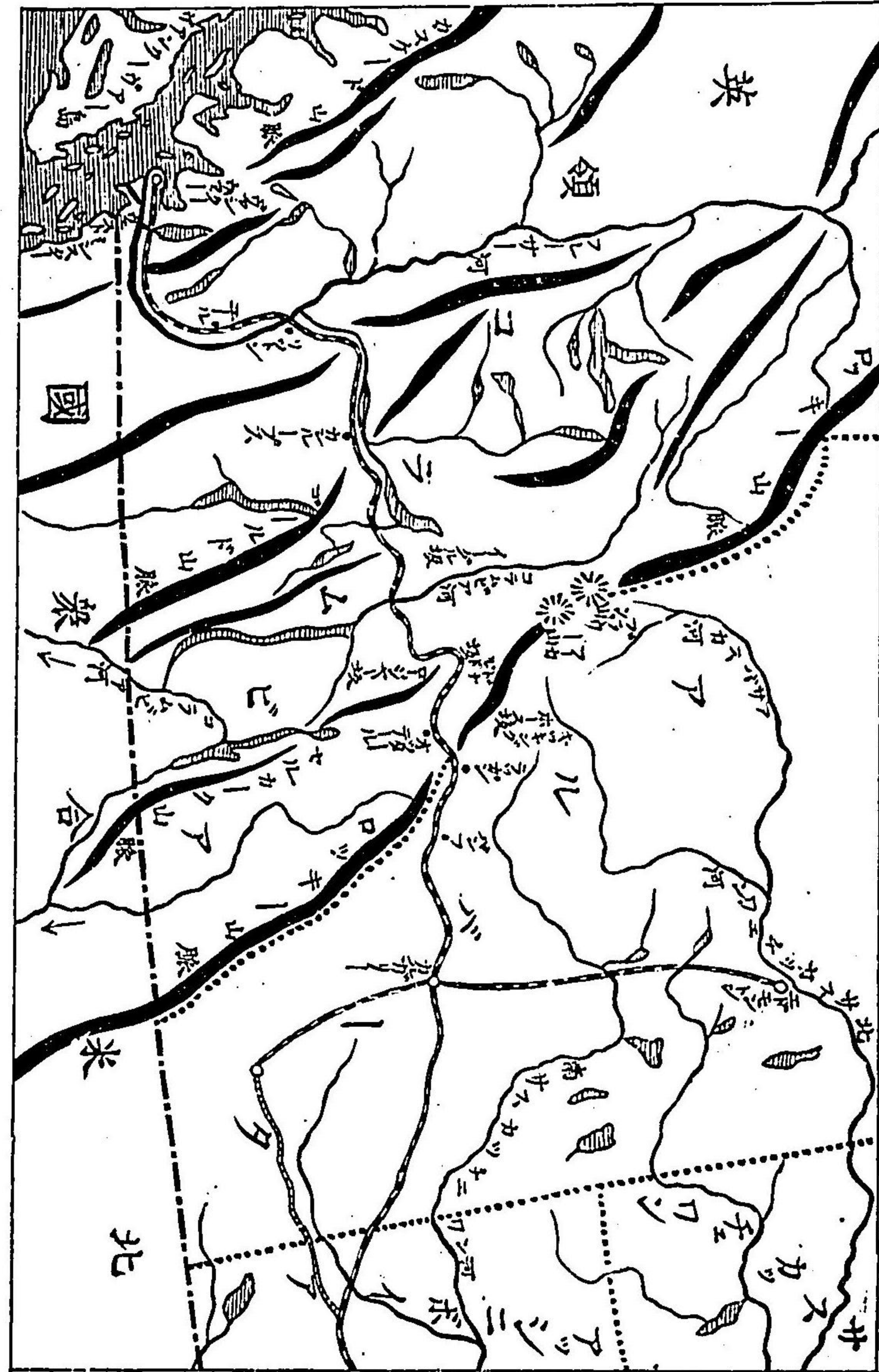
地勢は、西部にロッキーマウンテン山脈は、カスケード山脈と並び、南北に亘りて山地をなし、東部に、ラブラドル高原深き森林をなせども、中央は廣き大平原、南は合衆國の北部より、北は直に北氷洋の海岸に達す。○氣候は寒暑共に劇しく、夏は寒暖計百二度に上る處あれども、殊に冬は天寒く地凍りて、嚴寒凌き難く、西北領の如きはロッキーマウンテンに横はりて、東西八百哩に亘れど、早燥不毛の荒野をなし、ハッドソン灣地方よりセント、ローレンス河以北の一帶、及び英領コルムビア州の東北境に至る、凡そ三十餘萬方里は、寒威凜冽にして、山河到

る處氷結し、人跡絶無なり、マニトバ州は冬期寒暖計、零度以下三四十度に降り、陶磁器の如きは、温室に置かざれば自ら破碎す、されど、オンタリオ州は合衆國の北部に斗出せるが故に、氣候稍溫和にして、土膏は、人口最も稠密なり。物産は材木、小麥を主とし、魚類は大口魚、鮭、鱒等多く、殊にニュー、ファンドランド島の近海は著名の漁場にして、大口魚、海豹、肝油の輸出最も盛んなり、鑛物は金、石炭、鐵、石腦油等甚だ豊かなれども、從來採掘未だ著しからず、輸出は材木、小麥、乾酪、魚類、肝油、毛皮、石炭を主とし、我が國へ穀類、煙草、材木等を輸出し、我が國より綠茶、米、生絲、陶器、漆器、地蓆等を輸入す。○住民は英國人最も多く、外に、佛國人あり、多くは農業、林業を主とし、



西北地方にはインヂヤン族、エスキモー族の狩獵せる者あり、宗教は新教盛んなれども、佛人は舊教を奉ず。

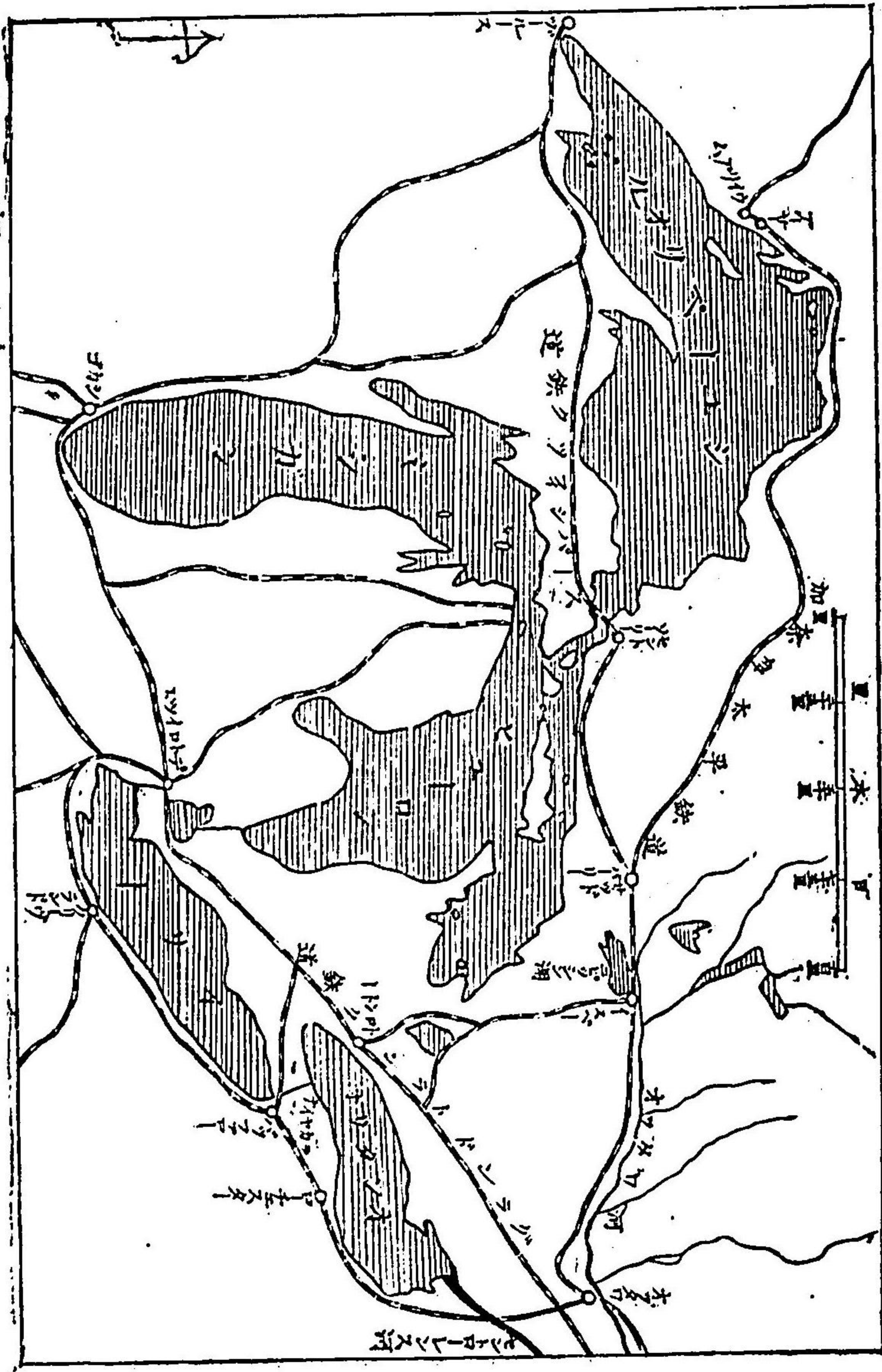
オッタワ府は中央政府所在の地にして、材木商業の中心に當り、外に、モントリアル、トロント、クエベック、ハリファック、セント、ジョン、ウヰニペック、ヴァンクーヴァー等の都會あり、その内、モントリアルは加奈多最大の市場にして、全市ローヤル山の半腹に立ち、前面にセント、ローレンス河を瞰下し、長さ殆ど二哩に亘れり、有名なるヴクトリア鐵橋は、架するに鐵道を以てし、橋の中央は水面高く十間を抜き、自由に大船を航通せしめ、水路直に太西洋と航行の便あるを以て、商業繁盛を極め、將來、益有望の地位に位せり、ハリフ



(圖之新西道鐵平太多奈加)



アックスはノヴァ、スコーシヤの首府にして、石炭、魚類の輸出盛んにして、又英國の北米艦隊が碇泊所たり、此の地は加奈多地方、唯一の不凍港にして、セント、ローレンス河の結氷と同時に、英國との定期郵船は往來頻繁を極め、夏時は米國避暑者の多數來集す、ヴァンクーヴァーはバーラード澳口に立ちて、合衆國の桑港サンフランシスコと共に大鐵道の終極に當れる海港なれども、東洋諸國と英、米國間とに於ける、貨物の繼立場として、單に車船相移るに過ぎざるが故に、市況日に繁榮に赴けども、人口僅かに二萬許に過ぎず、本港は我が國と交通の便最も容易なるを以て、貿易盛んに行はれ、我が國より輸入する製茶、生絲、雜貨、立白米、硫黃、蜜柑等は、直に鐵道に轉載して



(圖之近附湖大五)



英、米諸國に輸送し、木材の外、鹽漬鮭等を我が國へ輸出す、我が國人の居留せる者、凡そ四百人、領事館の設あり。

交通は冬期氷雪の爲めに水路を杜絶すれど、チルソン河の如きは、夏期は英國と船舶の航通ありて、河口にチルソンの新港起れり。陸路は鐵道の延長一萬五千八百哩に及び、加奈多太平鐵道は太平、太西の二洋を連結し、グランド、トランク鐵道はトロンターを経て、ヒューロ、イリー兩湖間ノ半島に接し、一方にはグクトリア橋を渡り、合衆國のポールトランドにつづき、インターコロニアル鐵道はモントリアル府より、セント、ローレンス河に沿ひ、クエベック、ポイント、レヴ#スを経て、ハリファックスに達する八百三十餘哩に敷設し、又スー、バシフィック鐵道は白銅の採掘に富めるサッドバリーより加奈多太平鐵道と分支し、小麥、材木の産出を以て有名なる合衆國北部のセント、ポール、ミンチアポリス、及び北ダゴタ州と交通の便を開けり。

全部元と佛國の領土なりしが、西曆千七百六十年より英國に屬し、行政權は英皇に委任し、英皇の勅任に係る總督、及び上院之を執行し、上下兩院の立法議會あり、ニュー、ファンドランド島は英國直轄の殖民地にして、知事を以て之を治む。

ノヴァスコシヤの南、凡そ三百里の洋中のバームーダ群島は面積僅かに三四方里、人口一萬五千なれども、三百六十餘の小島より成り、英國に屬し、氣候暖かく風景美なるを以て、冬期米人の賞遊する者多し。

### (三) 墨西哥

北緯十五度—三十二度四十五分、西經八十七度—百十七度

面積十二萬八千方里、人口千三百六十萬

墨西哥は合衆國の南に位し、東は墨西哥灣を抱き、南は細く中央亞米利加と地續をなし、西は太平洋に面し、夏至線恰も國の中央を横斷す。



地勢は合衆國より來る、ロッキンキー、シエラ、チヴァダの二山脈及び海岸山脈の餘脈より成り、海岸山脈は下カリフォルニア半島の脊梁を成し、ロッキンキー、シエラ、チヴァダの兩脈は、南に走りてポポカテペトルの噴火山に至り、合して一脈となるを以て、中央は概ね五千尺以上の高原をなし、東西の兩部海岸に少許の平地を残せり。○全土温熱二帶の中央に位すれども、地の高低によりて、氣候の均一を缺き、東、西沿岸の低地は、熱さ強く熱病流行すれど、中央の高地は天氣常に爽快にして氣候温暖實に國中の樂園と稱す、されど、五千尺以上の地は、寒さ劇しく、殆ど寒帶の氣候に同じ。○物産は銀を第一とし、全國の鑛山五百六十九のうち、五百四十一は實に銀山

にして、世界に採掘する銀鑛は、その二分の一以上を此の國より産出す、外に、金、銅、鉛、鐵等あり、農産物は玉蜀黍、大麥、小麥



(圖) 之 國 時 西 墨





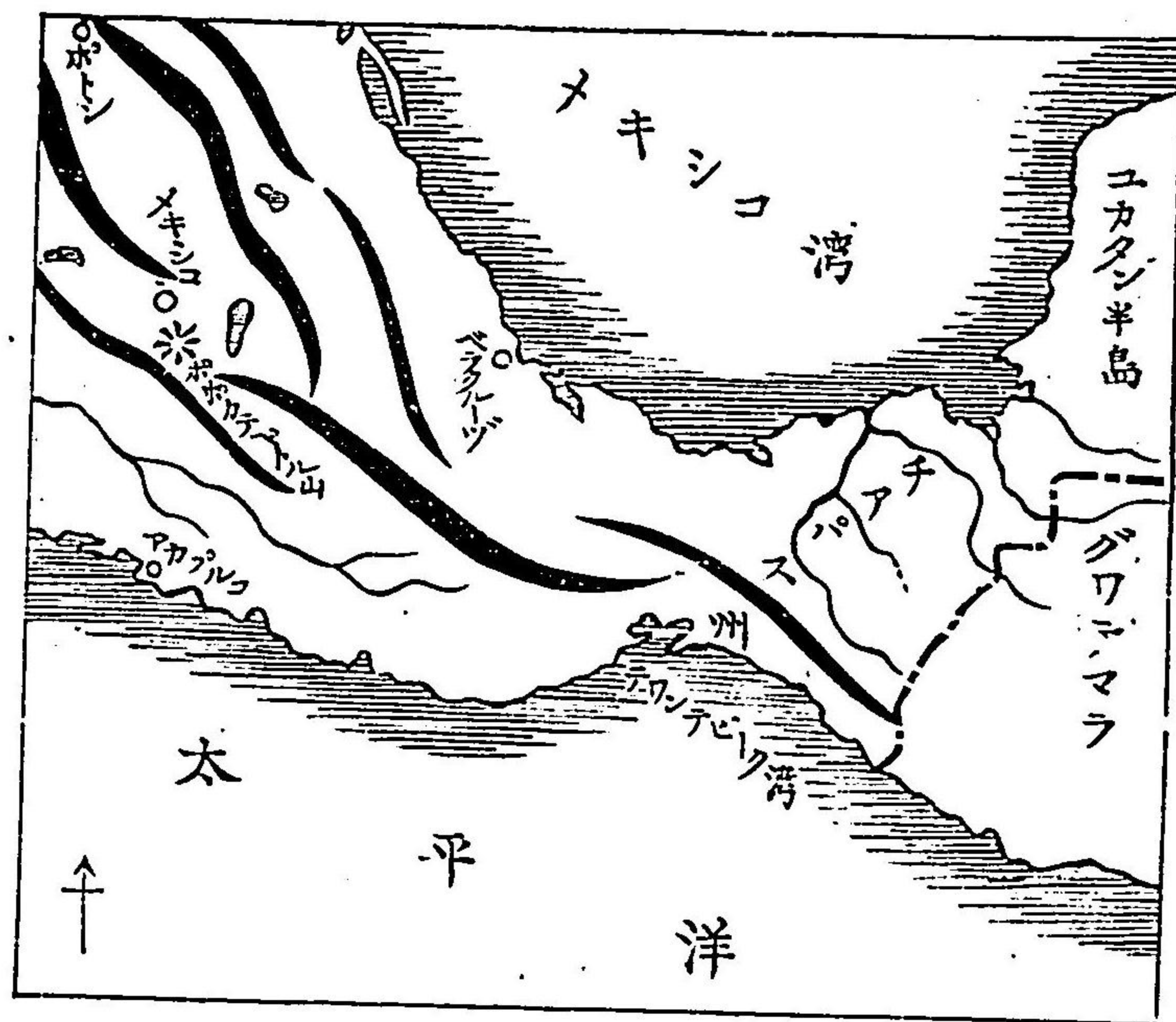


墨西哥の南より、南米に渡口をなせる、一帯の陸橋を中央亞米利加と稱す、北は墨西哥に接し、東はカリッピアン海に瀕し、西南は太平洋に面し、南は僅かにパナマ地頸に連なる。全土グアテマラ、サンサルヴァドル、ホンデュラス、ニカラガ、コスタリカの五共和國と、英領ホンデュラスの一殖民地とに分ち、面積三萬二千四百六十方里、人口三百六十五萬八千あり。

地勢は墨西哥の高原と、一帯の連續なるを以て、北部は高く、漸次南に低下して、太平洋の沿岸は活火山多く、屢劇烈なる

は航路の開始を計畫せるを以て、將來彼此の關係、益頻繁なるに至らん。

(四) 中央亞米利加諸國



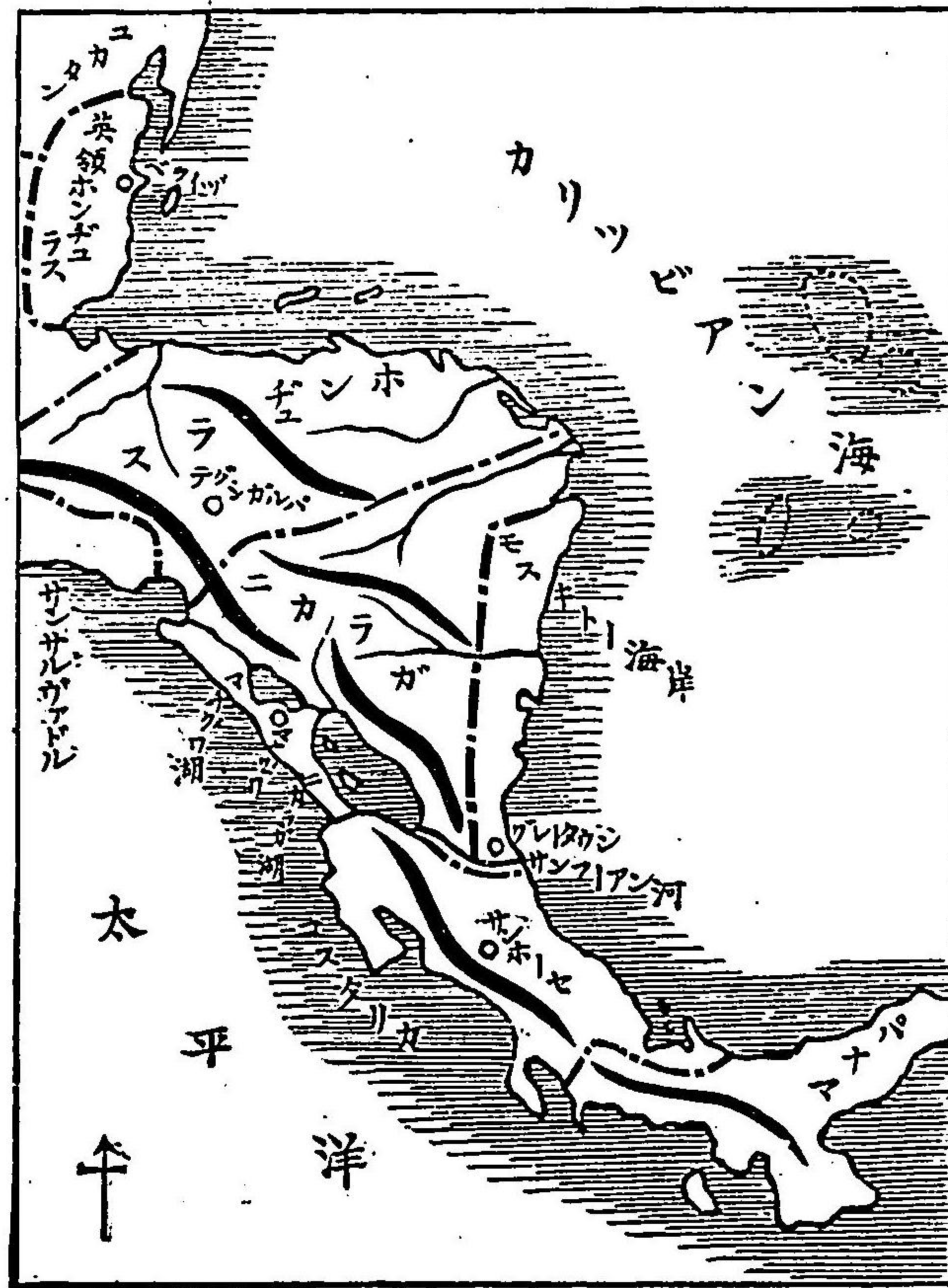
(圖之哥西墨部南)

領を以て國事を治め、上下兩院の立法議會あり。

墨西哥は明治二十一年に、我が國と通商條約を結びし締盟國にして、近年、我が國人の出稼する者次第に多きを以て、我が國人共同してテワンテビーク灣に瀕せるチャパス州に於て、六萬七千町歩の地所を購入して専ら移民を奨励し、墨國政府亦我が殖民を歡迎して、南部鐵道の敷設に着手し、我が國の汽船會社



地震の災害を蒙るとあり。○氣候は乾濕の二期あれども、大  
概不良にして、殊にパナマ地頸より、カリッピアン海に沿へ



(圖之加利米亞中)

る平原は、  
熱さ強く、  
世界中マ  
ラリア熱  
の最も劇  
しき地方  
なり、され  
ど、高原地  
方は氣候

稍温かなり。住民は西班牙人の子孫最も多く、外に、インヂヤ  
族、混合種等あり。信教は墨西哥と同じ、政體は元々西班牙  
の領地なりしが、墨西哥と共に獨立し、後分かれて中央亞米  
利加聯邦を成立せしが、今は、互に五個の共和國となり、各自  
立憲の制度を施せり、されど、革命屢起りて國內常に動搖し、  
近時、再び合同して中央亞米利加聯邦を組成せんとするの  
趣あり。

グワテマラは墨西哥の南に位し、面積一萬六千方里、人口百八十萬あり、物  
産は珈琲を主とし、太平洋の沿岸は殊にその耕作に適す、ニューグワテマ  
ラは中央政府所在の地たり、政體は立憲共和政治にして、大統領を以て國  
を治む。

サンサルヴァドルはグワテマラの南、太平洋の沿岸に位し、面積千二百方



里、人口八十餘萬あり、物産は藍を主とす、首府をサンサルバドルとす、政體は立憲共和政治にして、大統領を以て國を治む。  
ホンデユラスはグワテマラの東南に位し、面積七千二百方里、人口凡そ四十萬あり。

政體は他國と同じく、立法權は議會に屬し、行政權は大統領に委任す、ラグシガルバーは中央政府所在の地たり。

英領ホンデユラスはグワテマラの東に位し、面積千二百六十方里、人口三萬三千あり、全地英國に屬し、首府をベライツと云ふ、桃花心木、蘇木の輸出甚だ盛んなり。

ニカラガはホンデユラスの南に位し、面積八千二百方里、人口三十八萬あり、首府マナグアは同名の湖畔に立ち、珈琲、護謨の輸出盛んなり、政體は他の共和國と同じ。

ニカラガの東にモスキシアの低地あり、別に獨立してモスキトー族の王、全部を治め、首府をグレートタンと云ふ、パナマ運河の失敗に續で起り、目

下工事中に屬するニカラガ運河は、此の府よりサンフアン河を經、ニカラガ、マナグアの二湖を貫き、太平洋に通ずる掘割にして、全長百七十哩なれども、河湖を利用するを以て、工事は却てパナマより容易なりと云ふ。

ユスタリカはニカラガの南に位し、面積四千方里、人口二十四萬四千あり、サンホーセは内地の中央にある首府にして、珈琲の輸出甚だ多し、立法權は議會に屬し、行政權は大統領にあり。

#### (五) 西印度諸島

墨西哥灣口の東より、大西洋とカリッピアン海とを南北に分ちて、南米オリノコ河口の三角洲にかけ、大小一千有餘の島嶼を西印度諸島と稱す。分ちて大アンチール群島、小



アンチール群島、バハマ諸島とし、面積一萬六千方里、人口凡そ四百萬あり。

大アンチール群島は西經六十五度より、同八十五度の間に散在せる島嶼にして、キューバ、ヘーチ、ジャマイカ、ポルト、リコ等を大島とす。○小アンチール群島はポルト、リコ島の東より、南に曲り南米の北岸に沿ひ、西經六十度より、同七十度の間に散在し、更に下風諸島、向風諸島、ヴェネチヅエラ諸島に小分す。○バハマ諸島はキューバ島の北、フロリダ半島の東南に散在せる、六百有餘の珊瑚島にして、無人の境多し。

地勢はバハマ諸島は珊瑚質より成れども、その他は、花崗質の山岳多く、熱帯の森林深く繁茂す、殊に小アンチール群島は火山質に屬し、今尙噴煙する者あり。氣候は大部熱帯に横はれども、海風能く炎熱を殺ぎ、年中乾、濕の二期に分かれ、雨

量豊かなるを以て、地肥の植物の發育を助く、物産はカカオ、蘇木、桃花心木、烏木コウカより、甘蔗、珈琲、綿、煙草、藍、椰子等を出だし、殊にハヴァナの巻煙草は名聲世界に高く、砂糖は地球上第一に位す、外に、海綿、珊瑚、綠龜等の海産物あり。○住民はコロムブスが發見せしより以前は、アラワックと稱する順良なる種族と、クリップと稱する獍猛なる蠻族ありしが、已に絶滅し、今は、インヂャン族、黑人最も多く、外に、混合種、西班牙人、佛人等ありて、多くは農を事とす。宗教は耶教舊教盛んに行はれ、土人は種々の蠻教を奉ず。○政體は唯ヘーチのみ二個の共和國に分かれ、西をヘーチ共和國、東をドミンゴ共和国と稱すれども、他は西班牙、英國、佛國、和蘭、丁抹等の諸國に



分屬す。

西班牙に屬する諸島をキューバ及びポルトリコとし、面積合せて七千五百餘方里、人口凡そ二百餘萬あり、キューバのハヴァナ、ポルトリコのサン、フアンはその内の大都なり、殊にキューバ島は砂糖、煙草を以て著はれ、鐵道を設け、電信を架し、西印度諸島中、最も開化せる所にして、先に本國に叛きて獨立せんとし、兵を動かせしと幾回なるを知らず、本國政府亦三十萬の兵と、戰艦十餘隻とを發し、許多の軍資を投じ、鎮壓に従事せしが、端なく合衆國と干戈を交へ、その結果一敗地に塗り、西班牙は漸く本島の獨立を承認するに至れり。

英國に屬する諸島を大アンチールのジャマイカ、小アンチールのトリニダッド、トバゴ、バルバドース、セント、ヴンセント、ドミニカ、セント、キッツ、チヴニス、グレナダ、セント、リュウシア、及びバハマ諸島とす、その内ジャマイカ島最大きく、スバニッシュ、タウニ、キングストン等の貿易港あり、又バハマ諸島のワットリング島は又サン、サルヴァドル、或はグワナハニと稱す。

し、コロンプスが最初に到着せし處なり。

佛國に屬する諸島を小アンチールのグワデローマ、マーチニク、及びセント、マーチンの一部等の小島とし、和蘭はヴェネツエラの北のクランア、アルバ、ボナイル及びセント、マーチン島の一部を領し、丁抹はヴァージン群島のサント、クルーズ、セント、ジョージ、セント、トーマス等の諸島を領す。

(六) グリーンランド

グリーンランド島は全土丁抹デンマルクに屬するを以て、又丁抹亞米利加と稱す、加奈多の東北より、全部北極圏内に横はり、四時氷雪を以て鎖すが故に、古來地理の探檢を了へたる者なく、南は北緯六十度を限れども、北は邊界未だ慥かならず、地體の構造亦不明にして、或は陸塊なりと云ひ、或は許多の氷原



高山一覽表																							
所在地	亞細亞洲			歐羅巴洲			亞米利加洲				大洋洲												
	エヴェレスト山	グプサン山	崑崙山	アララット山	レバノン山脈	新高山	富士山	キリマンジャロ山	モンブラン山	エトナ山	エルブルズ山	クツク山	アコンカグア山	サハマ山	ソラタ山	トリマ山	ボボカタトル山	ブラウン山	ペーカール山	ホイットニー山	キニバル山	オーエンスタンレー山	
日本尺	三万尺	三万五千尺	三万尺	二万五千尺	二万尺	一万五千尺	一万尺	五千尺															

### 新式萬國地理終

雪野の爲めに、互に連結せる者なりと稱し、面積七千七百九十方里と稱すれども、未だ定かならず、西曆千八百七十六年、英人チャース氏は北緯八十三度二十分に至り、同千八百八十三年、米國海軍軍人のグリーンリー氏は、八十三度二十四分に至りしを以て、人間の達せし極北點とせり、島中樹木なく、南岸僅かに夏期氷雪の融くるに當り、大麥、蔬菜、馬鈴薯を耕作し得るのみ、島民はエスキモー族の外、丁抹人西南岸に住み、合せて略一萬あり、皆漁業を事とし、海豹に衣食す、物産は鯨、海豹、馴鹿、鯨油等を輸出す。



### 大島一覽表

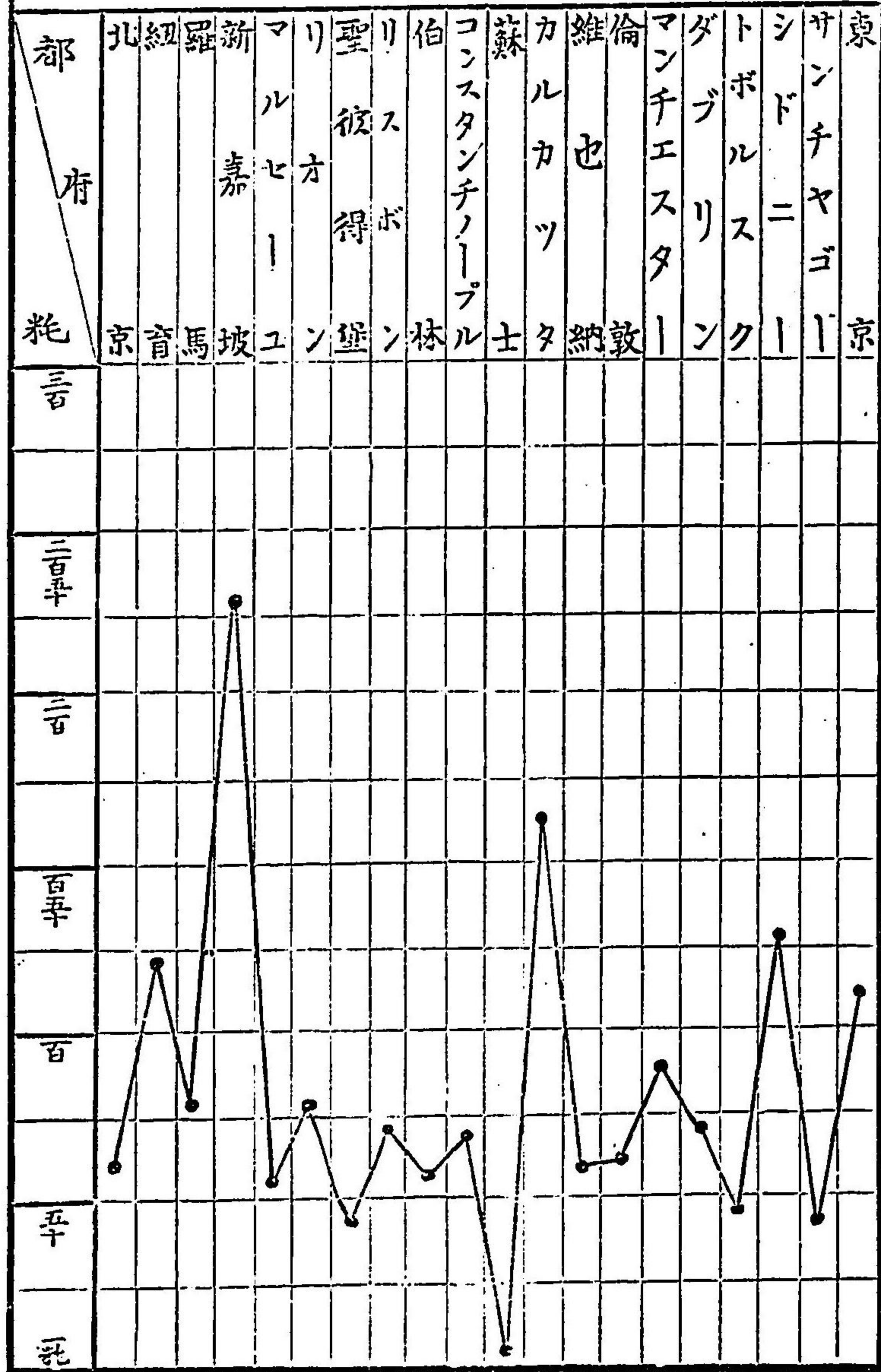
島名	面積	人口
オーストラリア	491,200	3,768,300
ニューギニア	52,000	660,000
ボルネオ	47,900	850,000
マダガスカル	38,000	3,500,000
日本	270,623	41,873,000
スマトラ	23,000	2,900,000
ニュージーランド	17,470	626,000
大ブリテン	14,800	39,500,000
日本本州	14,577	32,745,000
セレベス	12,000	925,000
ジャバ	8,500	24,650,000
グリーンランド	7,790	10,000
ニュフオンドランド	7,000	202,040
キューバ	6,950	1,640,000
呂宋	6,670	—
氷州	6,500	70,000
愛蘭	5,400	4,500,000
北海道	5,062	567,000
樺太	4,900	26,600

### 大河一覽表

河名	延長	里
亞細亞 揚子江	4,800	4800
エニセイ河	4,100	4100
レナ河	4,000	4000
細黒龍江	3,900	3900
オビ河	3,700	3700
亞黃河	3,600	3600
アマゾン河	3,500	3500
印度河	3,400	3400
洲メコン河	3,300	3300
ガンジス河	3,200	3200
歐羅巴 ヴォルガ河	3,100	3100
ダニユブ河	3,000	3000
亞非利加 ナイル河	2,900	2900
タイヤル河	2,800	2800
洲コンゴ河	2,700	2700
亞米利加 ミシシッピ河	2,600	2600
アマゾン河	2,500	2500
ミツリ河	2,400	2400
アツケツ河	2,300	2300
セトリス河	2,200	2200
洲 アスカツエ河	2,100	2100
日本里	1,000	1000



### 年内雨量一覽表



### 年内温度比較一覽表

